

第五十回帝國議會 衆議院 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出) 外二件

製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出) 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)政府提出

委員會會議錄(速記) 第一回

委員會成立

本委員ハ大正十五年三月十八日(木曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

- 加藤政之助君 飯塚春太郎君
- 橋本 喜造君 戶澤民十郎君
- 永田善三郎君 奧村 千藏君
- 大里廣次郎君 森 恪君
- 山本条太郎君 小野 義一君
- 廣瀬 爲久君 中村 巍君
- 坂梨 哲君 櫻内 幸雄君
- 牧山 耕藏君 金光 庸夫君
- 岩切 重雄君 佐々木平次郎君

出席政府委員左ノ如シ

- 朝鮮總督府事務官 山本 犀藏君
- 大藏參與官 三木 武吉君
- 商工參與官 野村 嘉六君
- 商工書記官候爵 木戶 幸一君
- 商工技師 野田 鶴雄君
- 委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
- 商工省鑛山局長 三井 米松君
- 製鐵所長官 中井 勵作君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)
製鐵所特別會計法案(政府提出)
大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出)

加藤投票管理者 只今ヨリ製鐵業獎勵法改正法律案外二件ノ委員會ヲ開ク爲ニ、役員選舉ニ移ラウト思フノデスガ、私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理ノ任ニ當リマス、選舉ノ方法ニ付テ御發議ヲ願ヒマス

森委員 此際加藤政之助君ニ委員長ニナツテ戴キマシテ、他ノ役員ハ委員長御指名ニシテ戴キタイ

會議

出席國務大臣左ノ如シ

- 商工大臣 片岡 直溫君

ガ委員長ノ席ヲ汚シマス、就キマシテハ只今ノ御發議ノ通り、理事三名ノ指名ヲ致シマス、森恪君、岩切重雄君、奧村千藏君、此三名ニ理事ヲ御願シタイト思ヒマス、ソレカラ此案ハ成ベク至急ニ審査シテ吳レト云フ政府ノ要求デアリマスカラ、是ヨリ會議ヲ繼續シタイト思ヒマス、御異存アリマセヌカ

野村政府委員 大體ニ於キマシテ製鐵業獎勵法案並ニ製鐵所特別會計法案ノ理由ヲ述ベマシテ、尙ホ大臣ニ御質疑ノ點ハ、今大臣ガ急用デ他ニ居リマスカラ、其點ハ大臣ノ出席アリ次第ニ御質問ヲ願フコトニ致シマシテ、内容ニ互テ各條、各事項ノ御質問ハ、政府委員ガ居リマスカラ引續キ御願シタイ、議事ノ進行上其順序ニ御運ビテ願ヒタイノデゴザイマス、第一ニ製鐵業獎勵法改正ノ理由ハ、本邦製鐵業ハ歐洲大戰ニ際シマシテ頓ニ勃興シ、事業ノ新設、擴張セラルルモノガ相踵ギマシテ、其生産額ニ於テモ、大戰前ニ較ベスマスルト三倍以上ニ達シテ居リマス、併ナガラ大戰ガ終了致シマシテカラ、極ク安イ外國品ノ再ビ輸入セララルヤ、本邦製鐵業ハ甚シキ打撃ヲ受ケマ

シテ、其將來ノ發展ニ付キ非常ナル不安ヲ感ズルヤウニ至リマシタノデアリマス、政府ハ是ガ對策ト致シマシテ關稅ノ引上、其他ノ方策ヲ講ジツツアリマスガ、尙ホ諸般ノ狀況ヲ調査致シマシタル結果、本邦製鐵業ヲ最モ經濟的ナル基礎ノ上ニ立タシメテ、以テ將來ノ發展ヲ期スル爲メ、製鐵業獎勵法ノ改正ヲ爲スヲ適當ト認ムルニ至ツタ次第デアリマス、今改正ノ主ナル點ニ付キマシテ其大體ヲ説明致シマスレバ、第一ニハ現行法ニ於キマシテハ、銑鐵ノ製造又ハ鋼鐵ノ製造ノ何レカ一方ノミヲ行フ製鐵業ニ對シマシテモ、獎勵法ヲ適用シツツアッタノデアリマス、併シスノ如キ一方的設備ニ依ル作業ハ、熱經濟ノ點ニ於キマシテ非常ナル不利益ガアルノミナラズ、勞賃、雜費等ニ於キマシテモ、比較的多額ヲ要シマシテ、安イ外國品ニ對抗スルコトハ、洵ニ至難デアアルノデアリマス、就キマシテハ今後ハ、銑鐵ノ製造ヨリ鋼材ノ製造ニ至ルマデ、一貫的作業ヲ以テ本邦製鐵業ノ基礎トスル必要ヲ感ジタノデアリマ

ス、此ニ於キマシテ本改正法ニ於テハ、一貫設備ヲ獎勵スルコトトシタ次第デアリマス、尙ホ是ガ保護ノ手段トシテモ、從來ノ土地ノ收用及諸稅ノ免除ノ外ニ、今回新ニ相當ノ獎勵金ヲ交付ス

ルコトト致シタノデアリマス、第二ニハ、現行法ニ於テハ獎勵法ノ適用ヲ受クル能力ノ單位ハ、土地收用法ノ適用及輸入税ノ免除ニ付キマシテハ、一年三萬五千兩以上デアアルガ、營業税及所得税ノ免除ニ付テハ、原則トシテ一年五千二百五十兩デアアルノデアリマスケレドモ、製鐵業ノ如ク大規模ノ經營ヲ有利トスル事業ニ付テハ、普通ノ場合ニ於テハ、少クトモ一年三萬五千兩以上ノ能力アル設備ヲ以テスルコトヲ必要ト致シマシテ、之ヲ實際ノ事情ニ徵スルモ、特殊ノ場合ノ外ハ、現ニ作業ヲ營ミツツアルモノノ殆ド總テガ一年三萬五千兩以上ノ能力ヲ以テ營ミツツアルヲ以テ、營業税及所得税ノ免除ニ付テモ、土地ノ收用又ハ輸入税ノ場合ト同様、一年三萬五千兩ノ設備ヲ有スルモノニ對シ獎勵ヲ適用スルコトニ改メタ次第デアリマス、第三ニハ又從來事業濫設ノ弊ガナカッタデモナカッタノデアリマス、之ヲ防ギ、斯業ノ健全ナル發達ヲ期スル爲メ、改正法ニ於テハ獎勵法ノ適用ヲ受ケントスル者ハ、原則トシテ主管大臣ノ認可ヲ受ケルコトニ致シタノデアリマス、第四ニハ現行法ニ於テハ營業税、所得税及輸入税等ノ免除期間ハ十年ナルモ、改正法ニ於テハ能力ノ單位ヲ増加シ、且ツ一貫設備ヲ有スルコトヲ原則ト致シマシタ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、此免除期間ヲ五年延バシマシテ、十五箇年ト致シタ次第

デアリマス、第五ニハ現行法ノ適用ヲ受クル者ニ對シテハ、現行法ニ依ル保護ヲ繼續スルコトハ勿論デアリマスガ、輸入税ノ免除ハ明年八月ヲ以テ滿了致シマス、又營業税及所得税ノ免除ニ付キマシテモ、大部分ノ製鐵所ニ在リマシテハ、二三年内ニ滿了セント致シテ居リマス、之ニ對シマシテ何等ノ措置ヲ講ジマセヌ時ニ於テハ、現ニ非常ナル苦境ヲ忍ンデ作業ヲ繼續シツツアル製鐵事業者ガ、關稅ノ改正其他ノ方策ト相俟テ、正ニ事業ノ基礎ヲ確立セントシツツアル時ニ際シマシテ、到底堪ヘ得ザル所デアリマス、ソコデ是等ノ點ヲ考慮致シマシテ、免除期間ヲ尙ホ五箇年延長致シタ次第デアリマス、以上ハ改正案ノ重要ナ點デアリマスガ、尙ホ詳細ニ互リマシテハ、其都度説明致シマスカラ、ドウカ速ニ御協賛アラシコトヲ希望致ス次第デアリマス、製鐵所特別會計法制定ノ理由ハ、是ハ製鐵所ノ作業ヲ最モ適切ニ經營センニハ、常ニ斯業ノ狀態ニ順應致シマシテ、ソレニ應ジテ是ガ擴張改良ヲ行ハナケレバナリマセヌ、然ルニ現在ノ如キ作業會計ノ組織ニ於キマシテハ、其資本ノ擴張改良ハ一般會計ノ負擔ノ下ニ行ハレマスカラシテ、一般財政計畫ノ影響ヲ蒙ル爲ニ、是ガ施設ハ斯業ノ發達ニ順應セザルノ憾ヲ生ズルコトガ無イトハ言ヘナイノデアリマス、此ニ於キマシテ其資本ノ増加ハ製鐵所特別

會計自身ノ負擔ニ於テ行ハシメマシテ、原則トシテ其益金ヲ以テ擴張改良ノ資源ニ充當シマシテ、必要已ムヲ得ザル場合ニ於テ其元利ノ償還ヲ製鐵所自ラノ負擔ニ於テスル公債、又ハ借入金ニ依ラセタ時ニハ、適切機宜ノ施設ヲ行フニ利便ガ少クナイト信ジマス、是ガ目的ヲ達成スル爲ニハ、製鐵所ノ經理ヲ獨立會計組織ニ致スヲ以テ最モ妥當ダト認メマス、加之、製鐵所ノ事業ハ他ノ作業會計ニ於ケル作業ト其趣ヲ異ニシマシテ、法律上民間ノ當業者ト全ク同一ノ地位ニ立チマシテ、市場ニ其製品ヲ供給スルノ地位ニ立ツモノデアリマスカラ、其會計方式ノ如キモ民間當業者ニ近カラシメ、隨テ固定資産ニ付テハ明確ニ減價償却ヲ行ヒマシテ、過去及將來ノ借入資産ニ對シマシテハ、是ガ元利ノ償還ヲ負擔セシムル等ノ方法ニ依テ是ガ損益計算ヲ的確明瞭ナラシメマシテ、從業者ヲシテ其精勵ノ效果ヲ自覺セシムルノ結果ハ、直ニ其緊張努力ヲ促シ、隨テ其經理狀態ヲ良好ナラシメ、由テ生ジタル益金ハ以テ更ニ有利ナル設備ノ擴張改良ヲ遂行スルコトヲ得セシムベク、又之ニ依テ製鐵所ノ損益計算ヲ明ニ致シマシテ、其事業成績ヲ彼此比較セントスル民間ノ同業者ノ要望ニ應ズルコトガ出來ララウト思ヒマス、然レドモ一舉ニ民間同業者ト全然同一ノ方式ニ依ル純然タル獨立會計ノ制ヲ設クルハ、多

少ノ支障アリト考ヘラレマス、仍テ成ベク其理想ニ近キ制度ト爲ス爲ニ、茲ニ大正十六年度ヨリ實行スル意味ニ於キマシテ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス

○加藤委員長 ソレデハ是カラ通告順ニ依テ質問ヲ許シマスガ、森君何カアリマスカ

○森委員 會期ノ切迫致シテ居リマス折柄、今日議題トナッテ居リマスル案ニ付テ吾々ノ満足スル程度ノ質問ヲヤツタナラバ、餘程時間ヲ要スルト思フノデアリマス、殊ニ本會議デ吾々ガ質問致シマシタニ對シテ、主管國務大臣ノ御答辯ハ、非常ニ形式ハ御深切ナル御答辯デアッタノデアリマスガ、吾々ヲ以テ致シマスルト、ドウモ要領ヲ得ナイ、更ニ満足スルヤウニ質問シテ行キマシタナラバ、到底短時間デハ出來ナイト思ヒマス、併ナガラ案自體ハ吾々モ極メテ重大ナル案ダト思フノデアリマス、ソレデ場合ニ依リマシテハ改善、三善、四善ノ案ニナルカモ知レマセヌガ、之ヲ成立サスニハ或ハ已ムヲ得ナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ凡ソドノ位ノ時間デ之ヲ議了スベキカラ豫メ御方針ヲ承ッテ置キマシテ、其中デ吾々ハ緩急輕重ヲ圖ッテ質問致シタイト思フノデアリマス、吾々ガ満足スルヤウナ質問ヲスル時間ガアレバ、是非非常ニ吾々ノ幸福トスル所デアリマスケレドモ、凡ソ委員長ニ於カレテ

ノ見込ヲ、參考ノ爲ニ御示シテ願ヒタ
イト思ヒマス

○野村政府委員 今森君ノ御説ノ通り
ニ、此問題ハ重要デアリマシテ、十分ニ
御審議ヲ爲サルニハ相當ノ日時ガ必要
デアラウト思ヒマス、併シ一面森君ノ
御話ノ通りニ此案ハ他ノ事ト相關聯シ
テ居ル案デアリマシテ、即チ關稅法律
案ト關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、
關稅法律案ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ貴
族院ニ送ラレテ今審議中デアリマス、
日ナラズ決了スルコトデアラウト思ヒ
マス、隨ヒマシテ此案ハソレ等ノ關係
上、最モ急速ニ御審議ヲ願ヒタイノデ
アリマス、就キマシテ政府ト致シマシ
テハ、出來得ル限り御精勵ヲ願フテ、實
ハ本日役員ノ御選舉ニ引續イテ御審議
ヲ願フテ、成ベクナラバドウカ時間ガ掛
リマシテモ、今日午後中ニ此委員會ノ
御決了ヲ願ヒタイ考デアリマス、若シ
ソレガドウシテモ出來ナケレバ、明日
ハ本會議デアリマスカラ、明日ノ午前
カラ午後ニ引續イテ、本會議ノ議事
中ニ此質問ヲ終了シテ、緊急上程ヲシテ
明日中ニ本會議ヲ通過サシテ戴キタ
イ、是ハ政府ノ希望デアリマス、併ナガ
ラ私ガ斯ク申シタ所デ、決シテ御審議
ノ御邪魔ヲスルト云フ意味デナイノデ
アリマシテ、唯他ノ案ト違ヒマシテ、外
ニ關係ヲ有シテ審議ヲ急グ必要ガアリ
マスカラシテ、政府ノ希望ヲ茲ニ申上
ゲテ置キマス

○加藤委員長 政府當局者ノ希望ガ右
ノ通りデアリマスカラ、成ベク一ツ審
議ノ早く進ムヤウニ、諸君ニ御考ヲ願
ヒタイト存ジマス、是ヨリ通告順ニ依
テ質問ヲ御許シ致シマス、永田君

○永田委員 私ハ商工大臣ノ御出席ノ
上デ質問ヲ一ツシテ見テ見タイト思ヒ
マス、他ノ方デモ宜シウゴザイマスガ、
御話下サルコトガ或ハ出來マイト思ヒ
マスカラ……

○加藤委員長 ソレデハ山本君
○山本委員 私人御尋スルコトモ矢張
大臣ノ御出席ヲ求メタイト思ヒマス
ガ、兎ニ角參與官ノ御承知ノ事デア
ナラバ、伺ッテモ宜シウゴザイマス、又
私人御尋スル中デ、大臣デナケレバ御
答辯ノ出來ヌ事モアリマセウシ、或ハ
當局ノ方デ御話ノ出來ルコトモアラウ
ト思ヒマス、私人御尋シタイノハ、第一
此案ニ依リマス、ドウ云ウモノニ對
シテドレダケノ保護ヲ與ヘヤウト云ウ
コトガ此案ニハ明記シテ居ナイノデア
リマス、此案ハ色々商工大臣ノ御辯明
モアリマシタケレドモ、事實ニ於テハ
是ハ關稅ニ代ハル性質ノモノデアリマ
ス、關稅ノ方ニ於テハ明確ニ百斤ニ付
キ或ル種類ノモノハ何程デアアル、若ク
ハ從價ニ對シテ幾ラト云フコトガ明確
ニ示サレテ居リマスカラ、吾々ハ之ヲ
審議スルニ當ッテ、是ダケノ程度デア
ルナラバ此仕事ガ完全ニ發達スルト云フ
見込モ立チ、意見モ附スルコトガ出來

ルノデアリマス、然ルニ此獎勵法ノ骨
子ト認ムベキ獎勵保護ノ率ガ、茲ニハ
明記サレテ居ナイノデアリマス、關稅
ノ委員會デモ申述ベタ通り、鐵ノ世界
ニ於ケル大體ノ現狀ハ、實ニ革命的變
化——大陸ノ鐵ガ英米ノ鐵ニ對シテ優
勢ノ位置ニナリ、更ニ印度ノ製鐵ノ如
キハ此數年間ニ現ハレタ新事實ナノデ
アル、更ニ極ク最近ニ於ケル實例ハ、昨
日本會議ニ於テ森君ガ述ベラレタ通
リ、亞米利加カラ「レール」ヲ八十五圓
デ賣ッテ來タノハ、蓋シ鐵ノ歴史始ッテ
以來ノ新價值ト認メテ差支ナイ茲ニ現
出シタル事實ガアルノデアリマス、左様
ナ混亂狀態、左様ナ殆ド革命ト云フベ
キ鐵界ニ於ケル變動ノアル時期ニ際シ
テ、製鐵ニ對スル日本ノ國策ノ一ツト
シテ之ヲ保護シ、之ヲ發達セシメケレ
バナラヌト云フ場合ニ、ドレダケノ補
助ヲ與ヘレバ鐵ハ成立ツカ、ドレダ
ケノ補助ヲ與ヘレバ鋼鐵ガ獨立シ、自
立シテ國ノ事業ガ發達スルト云フコト
ノ御見込ガナケレバ——勿論當局ニ於
テモ十分ニ御審查ニナッタノデアラウ
ト思ヒマスガ、此案ヲ議スルニ當ッテ其
率ノ御示シガナケレバナラヌト思フ、
吾々ハ之ヲ唯一一括シテ製鐵及鐵鋼ヲ
補助スルト云フダケノ案デアルト思ッ
テ居ル、ドノ程度ノ補助ヲスルト云フ
コトハ一ツモ明記シテ居ナイノデアリ
マス、此業ヲ議スルニ先ダッテ、私ハ其
骨子トナルベキ補助ノ率ヲ秘密會デモ

宜シウゴザイマス、御意向デモ宜シウ
ゴザイマス、斯ウ云フ場合ニハ是ダケ
ノ補助ヲスル積リデアルト云フコトノ
御示シテ是非願ヒタイト、斯ウ思フノ
デアリマス、先ヅ第一ニ此事ヲ御尋シ
マス

○野村政府委員 只今ノ山本君ノ御質
問ハ御尤デアリマシテ、此點ハ私カラ
一ツ答辯致シマス、製鐵業獎勵法ノ案
文ハ其點ニ觸レテ居リマセヌ、御説ノ
通りニドノ割合ト云フコトハ記載シテ
アリマセヌ、サウシテ此割合ニ關スル
コトハ勅令ニ讓ル考デアリマス、即チ
茲ニ製鐵業獎勵法ノ第八條ニハ「政府
ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製鐵事業
者ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得」
ト云フ、「政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依
リ」ト云フノハ即チ勅令ニ讓ルト云フ
考カラ起ッテ譯デアリマス、儲サウ致シ
マス、此勅令ノ内容ハドウ云フ組立
ニスル政府ハ考デアルカ、是ハ本案ヲ
審議スル上ニ於テ最モ必要ナル事項デ
アリマス、其内容、即チ追ッテ發表シマ
ス勅令ニ對スル其具體的ノ内容ヲ茲ニ申
上ゲル考デアリマス、本案ハ鐵鋼一
貫主義、即チ鐵鋼カラ鋼鐵ヲ一貫シテ
製造スル者ニ對スル獎勵金ヲ下付スル
考デアルト云フコトハ、本會議デ大臣
ガ述ベラレタ通り、又此案ノ條文ニシ
テ明記シテアル次第デアリマス、ソ
レデアリマスカラシテ、此意味合カラ
出發致シマシテ、サウシテ大體ニ於キ

マシテ銑鐵カラ鋼鐵ヲ一貫シテ作業シ、ソレヲ完了スル者ニ對シマシテハ一應ニ付テ六圓交付スル考デアリマス、尙ホ區別シテ申シマス、最後ノ目的ハ銑鐵カラ鋼鐵ニ結末ヲ付ケマスガ、併シ人ニ因リマシテ銑鐵ダケヲ造リ、或ハ鋼鐵ダケヲ造ッテ居ル所ノ製鐵業者モ居リマス、此場合ニ於キマシテハ銑鐵ダケノ目的デ鋼鐵ニソレヲ仕上グルト云フコトデナクテモ、假令事業者ガ違ッテ居リマシテモ、最後ノ目的ガ鋼鐵ニ仕上グルト云フコトニナリマスレバ、是等ニ對シテハ此意味ニ付キマシテ獎勵金ヲ下付スル考デアリマス、今一ツハ鋼鐵ヲ造ル目的ニ非ズシテ、銑鐵ダケヲ造ッテ、サウシテ事業ノ需要ヲ充ス、例ヘテ見マシタラ鑄物ノヤウナ場合ニ於テハ、三圓ヲ交付スル考デアリノデアリマス、是ハ追ッテ勅令ヲ發シマス時ノ其率ノ内容デアアルノデアリマス、序ニ申上ゲテ置キマスガ是ガ眼目デ、然ラバ何ガ故ニ大體サウ云フ率ノ定メ方ヲシタモノデアアル、是ハ山本君ノヤウニ此方ニ最モ達識ノ御方ハ十分御承知デ在ラセラルデアリマセウケレドモ、私ハ政府ノ立場トシテ此點ヲ申上ゲテ置キマス、何ガ故ニ斯ク區分スル意味合ニ於キマシテ勅令ヲ作ルカト申シマス、是ハ只今山本君モ鐵ニ付テハ殆ド革命的ノ進歩ヲ見、又進歩ヲシナケレバ日本ノ工業ノ發達ハ望メヌ、斯ウ云フ話デアリマシタ、ソレニ

付キマシテハ銑鋼一貫主義ガ、最モ今日マデ各國ノ經過ニ徴スルト效果ヲ擧ゲテ居ルト云フ話デアリマス、此ニ於テ政府ニ於キマシテモ、銑鋼一貫主義、此主義ヲ以テ獎勵スル意味ニ於キマシテ、此物ニ對シテハ今申ス如ク一應ニ六圓ト云フモノヲ補助交付スル考デアルノデアリマス、然ラバ其六圓ト云フモノノ、一體目安ハ何處ニ在ルカ、斯ウ云フ御質問ガ次イデ起ルデアラウト思ヒマスガ、其點ニ付キマシテハ是ハ總テ關稅、ソレカラ外國ノ鐵ノ値段、内地ノ生産高、ソレ等ヲ總テ考慮致シマシテ、サウシテ今日ノ場合ニ於キマシテ、先ヅ應ニ付キマシテ六圓ノ獎勵金ヲ下附シタナラバ妥當デアラウ、斯ウ信ジタ結果六圓ト云フ金額ヲ見積ッタ次第デアリマス、ソレカラ五圓ト云フノハドウデアアルカ、是モ次イデ起ル問題デアルト思ヒマスカラ大體簡單ニ述ベマスガ、只今申上ゲタ通りニ此獎勵法ハ銑鋼一貫主義、即チ銑鐵カラ鋼鐵ニ仕上ゲルマデ、此一貫主義ヲ徹底セシムレバ此鐵ノ發達ニ甚ダ見ルベキモノガアルデアラウ、各國ノ成績既ニ然リ、此見地カラ成ダケ製鐵業者ヲ銑鋼一貫主義ニ趨カシメマシテ、サウシテ此方針ヲ徹底セシムルト云フ政府ノ方針デアリマス、隨テ今第二段ニ申上ゲタ銑鐵ダケヲ作ル人、是ダケガ本業デ、是ダケニ限ッテ居ル人、斯ウ云フモノニ對シテハ五圓保護シタナラバ——將來銑鋼一貫

主義ノ前提トシテ、銑鋼一貫主義ノ方ニ進ム道程ト致シマシテ、サウシテ是モ總テノ點ヲ考慮參酌致シテ定メタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ三圓ト云フ口ニ致シマシテハ、是ハ鑄物ノヤウナモノデアリマシテ、此鑄物用モ亦必要ナモノデアリマスノデ、之ニ對シテハ大體鋼鐵ヲ製造スルノデナクシテ、銑鐵ダケニ止メテ、サウシテ鑄物用其他類似ノ物ニ使用スルモノニ三圓、斯ウ云フ風ナ定メ方ヲ致シタ次第デアリマス、併ナガラ此事例ハ單リ此獎勵法ニ於テ見ルベキノミナラズ、各國ニ於キマシテモ隨分此事例ニ類シタ鐵ノ保護政策ヲ執ッテ、サウシテソレガ實行サレツツアル國ガ多數アルヤウニ考ヘラレマス、大體是ダケ申上ゲマス

○山本委員 サウシマス銑鋼一貫シタル作業ニ對シテハ、應ニ六圓、銑鐵カラ鋼ニ分業シテ行クモノニ對シテハ五圓ト云フコトデアリマスガ、其銑鐵製造業者ガ其銑鐵ヲ製鋼業者ニ渡シタ場合ニ、即チ其營業者ガ異タル營業者デアッテモ、若クハ同一ナル營業者デアッテモ、銑鐵ヲ鋼鐵ニ渡シタ場合ニ五圓、是ハ銑鐵業者ニ行クノデアリマスカ——保護サレルノデアリマスガ、若クハ製鋼業者ニ保護サレルノデアリマスガ、其點ヲ承リタイ、ソレカラ銑鋼一貫シタモノニ對シテ六圓ト云フコトハ、一ツノ工場ガ銑鐵ヲ造ル、ソレト同時ニ鋼ヲ造ル、即チ鐵ヲ銑鐵ニスル爲ニ

冷却シテ、熱ノ經濟ノ爲ニ其事業ヲ一貫シテ行クコトガアル、其物ニ對シテ經濟的施設デアルト云フ意味カラ一應六圓ト云フコトニ御決メニナッタヤウナ御話デアリマス、一方ニハ銑鐵ヲ造ッテ、其冷エタ、即チ銑鐵ニ成立ッタモノガ、同一工場若クハ他人ノ經營シテ居ル場合、サウ云フ工場ノアッタ場合ハ五圓ヲ遣ル、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シウゴザイマスガ、此場合ニ此五圓ハ銑鐵業者ニ保護サレルノデアリマスカ、製鐵業者ニ保護サレルノデアリマスカ

○野村政府委員 是ハ銑鐵業者ニ保護サレルノデアリマス、ソレハ申スマデモアリマセヌ、此銑鋼一貫主義ノ下ニ於テ銑鐵業ニ保護シマシタナラバ、即チ、其結果製鋼業者モ有利ナ立場ニナルシ、ソレカラ銑鐵業者ニ保護、シタ結果銑鋼一貫ノ最大理想ノ目的ニ到達スルモノデアルト斯ウ考ヘマス

○山本委員 此六圓、五圓、三圓ト云フコトヲ決メラレタノハ、只今ノ御趣意デ分リマシタガ、銑鐵ニ對シテ三圓ト云フ此三ツノ比例、即チ六圓、五圓、三圓ト云フ差ヲ御付ケニナッタノデアリマスガ、銑鐵ハ是ハ委員會デ申上ゲマシタ通り、近來印度ノ競争ヲ受ケ、日本ノ銑鐵業者ガ非常ナル困難ナ位置ニ——種々ナ事情カラデモアリマスケレトモ、主トシテ印度ノ激烈ナル競争ノ爲ニ銑鐵業ガ萎靡シテ居ル、此銑鐵ニ對

シテ單ニ銑鐵ダケデ鋼ヲ入レナイ、銑鐵ニ對シテ、越三圓ト云フ保護ハ、私共ガ承知シテ居ル點デハ、商工大臣ガ初メニ御考ニナツタ率ガ越七圓ト云フコトニ承知シテ居ル、現在ノ率デハ百斤ニ付十錢、一噸ニ付一圓六十八錢、ソレヲ七圓ト云フコトニ認メラレテ御提案ニナツタヤウニ承知シテ居ル、若シ其御趣旨ナレバ三圓ト云フ銑鐵ノ率ハ、現在ノ輸入稅ノ一圓六十八錢ヲ加ヘテモ、僅ニ四圓六十八錢ニシカ過ギナイ、商工省デ初メニ御考ニナツタノトハ大變ニ率ガ下ツテ來タヤウニ考ヘル、輸入稅ト今度ノ三圓ト云フ率ヲ加ヘテモ七圓ト云フ原案ノ御趣旨デアッタノガ、此度ハ保護ト輸入稅トヲ加ヘテモ四圓六十八錢ニ過ギナイト云フ大キナ差ガアルノデアリマス、是ハ特別ノ事情ノ爲ニ斯ウ云フ差ガ起ッタノデアリマスカ、七圓ト云フコトハ、誰シモ其途ノ人ハ承知シテ、心得テ居ッタノデアリマス、其後特殊ノ理由ノ爲ニ七圓ガ四圓六十八錢ニ減ジタト云フコトデアリマス、尙ホ其點ヲ御尋致シマス

○野村政府委員 御答ヲ致シマス、山本君ハ商工案ガ七圓デアッタト云フコトヲ前提トシテ御質問ナサツタ、私ハ七圓デアッタト云フコトニ付キマシテハ、ドウモ政府ノ立場トシテハ七圓デアッタモノヲ山本君ノ御説ノヤウニ肯定シテ御答スルコトハ甚ダ困ル、大體申シマスノハ、色々協議スル上ニ於テ、其時ノ意見ハ或ハ五圓ト云ヒ、六圓七圓トモ云フヤウナコトノ協議ガアツテ、或ハ八圓ト申スノモアツタラウト思ヒマス、最モ力強イ、其時ノ所謂確定議ニ至ラザル意見ハ七圓ト云フ意見ガ當時勢力ヲ有シテ居ッタカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ兎モ角モ今日六圓ト云フコトニ確定致シマシテ、サウシテ茲ニ勅令ヲ發布スル時ニ、此程度ニ於テヤルト云フコトニ申上ゲマシタ以上ハ、先ヅ六圓ト云フモノハ確定シタモノトシテ、之ニ基イテ御答ヲシタ方ガ宜シイノデゴザイマス、サウシテ其六圓或ハ五圓、三圓、此大體ノ説明ハ曩ニ申上ゲタ通りデアリマスガ、併シ尙ホ進ンデ細カイ事ニ至リマス云フト、私モ十分ニハ分リマセヌノデ、幸ヒ製鐵所長官、ソレカラ此關係ノ技監ガ居リマスカラシテ、政府委員デハアリマセヌガ、御同意ヲ得テサウシテ御質問ニ御答シタラ如何カ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山本委員 此六圓、五圓、三圓、此率ヲ勅令ニ依テ御決メニナル御内意デアルト云フガ、私共ガ根本トシテ承リタイコトハ、是ダケノ獎勵ヲ與ヘレバ日本ノ製鐵業ガ假令十分ト行カザルマデモ、現狀ニ於テ外國ノ競争ニ堪ヘテ事業ガ成立ツテ行ク、多額ノ輸入ニ對シ漸次之ヲ防グコトガ出來ルト云フ成案ノ下ニ、恐ラク此率ガ割出サレタト云フコトハ、必ズ政府ニ於テモ御考デアラ

ウト思フ、然ル以上ハ今回御決メニナラウトスル此率、及ビ曩ニ衆議院ヲ通過シタ關稅ノ改正、此關稅ノ改正ニ付テ幾分カ鐵類ニ對スル輸入稅ガ現ハレタ、ソレト此法案ト相俟テ、日本ニ於ケル銑鐵及製鋼ノ事業ガ確實ニ成立ッテ行クト云フ御見込ガアツテ、ソレニ基イテ必ズ此保護ノ率ガ決メラレタノデアラウト信ズルノデアリマス、ソレヲ決メルノニハ申スマデモナク、所謂日本ニ現ニ最モ餘計這入ル所ノ國ノ生産費、及ビ我國ノ政府ノ營業デハナクシテ、民間ノ普通ノ資金ニ依テ營業シテ居リマス所ノ製鐵業、此兩者ノ生産費ノ比較對照、是ガ基礎デアラネバナラヌト考ヘルノデアリマス、此兩者ノ比較ノ差ヲ關稅若クハ保護案ニ依テ保護セラレテ行クト云フノガ、此稅ヲ決メル根本ノ基礎デアラネバナラヌ、是ハ最モ重大ナ事デアリマスガ、關稅委員會ニ於テ政府委員ニ承ツタ所デハ、大抵此邊ナラバ日本ノ製鐵ガ成立ッテ行クデアラウ、競争國ノ生産費ヲ明確ニ調査シテ比較スルコトハ困難デアルケレドモ、或ル期限ヲ定メテ、其期間中ニ於ケル平均値段ヲ以テ比較シテ行クト云フコトデアリマシタ、而シテ其期間ハ大正十一年乃至十二年ト云フノガ基準ニナツテ居ルト云フ御話デアリマシタ、私ガ考ヘルノニ、先刻モ申上ゲタ通り大正十一年以後ニ於ケル世界ノ製鐵界ノ形勢ハ、著シイ變化ヲ來シテ居ル、此

十一年カラ十二年ノ間ヲ捉ヘテソレヲ基準トスルコトガ、餘程危險ナ事ノヤウニ思フ、又甚ダ不安定ノ事ノヤウニ思フ、私共ハ其折ニモ申上ゲタル通り、歐洲大陸ノ鐵ガ英米ノ品物ニ變ッテ日本ニ著シク輸入スルコトハ、其最大原因ノ一トシテ、獨逸カラ賠償ノ代リニ石炭ヲ白耳義若クハ佛蘭西ガ多量ニ受取ツテ居ル、其石炭ガ製鐵所ニ殆ド普通ノ値段以外ノ安イ値段デ供給セラレテ居ル、或ハ佛蘭西ニ大戰中ニ行ツタ支那人ガ大部分殘ツテ、佛蘭西ノ製鐵工場ニ澤山使ハレテ居ル、ソレガ佛蘭西人ノ勞働工賃ヨリハ遙ニ安イ工賃デアアル、斯様ナ種々新シイ豫想シ得ザル大キナ出來事ガ起リ、而シテソレガ歐洲大陸ニ於ケル製鐵ノ値段ヲ、爲替相場ノ下落ト相俟テ動搖ヲ來サシメ、サウシテソレガ既ニ世界ノ製鐵市場ヲ動カシテ、現ニ日本ナドニ入ッテ來ル鐵ガ大部分ソレデアルト云フ事情デアル、是ハ決シテ一時的ノ現象デハナイ、必ズ永續的ノモノデアアル、左様ナ狀況デアリマスカラ、此際吾々ガ日本ノ鐵ヲ獎勵シ、之ヲ擴張シテ行カウト云フニハ、ドウシテモ是等ノ事情ヲ十分ニ參酌シ、サウシテ目標トシテ競争シナケレバナラヌノハ、銑鐵トシテハ印度、鋼鐵トシテハ歐洲大陸、此品物ニ對シテ此位ノ率ヲ定メタナラバ、大抵ヤツテ行ケルト云フコトガ根本デナケレバナラヌ、政府ガ豫テ關稅委員會ガ御話ニナリマシ

タル十一年十二年ノ標準ヲ捉ヘルト云フコトハ、私共ハ甚ダ其捉ヘル目標ニ過チガアルト云フ風ニ感ズルノデアリマス、更ニ鐵ノ競争ニ對シテハ曩ニ申上ゲタ通り、製鐵所ノ生産費ガ實際何程ニ付カカ分リマセヌガ、ツヒ四五日前ニ鐵道省ノ買入レタ五千七八百噸ノ「レール」ハ八十五圓、私共ノ承知スル所デハ、八幡ノ製鐵所デハ百十圓内外掛カル、此八十五圓ナドモ未ダ曾テ無イ状態デアアル、吾々ハ四五日前マデハ、鐵ニ對シテハ歐洲大陸ト闘ハナケレバナラヌト思ッテ、直接今ノ獨逸ノ「レバリユエーション」石炭ナドヲ問題ニ考ヘ、「スナイドル」ノ工場ガ支那人ヲ使ッテ行クコトヲ考ヘテ、先ヅ此位ノ程度ナラバ闘ヘル、此位ノ保護ヲ與ヘレバ宜イト思ッテ居ッタガ、先刻モ申上ゲル通り、洵ニ混戰状態デアアル、今日デハ亞米利加ノ生産品ハ恐ルルニ足ラヌ、日本ニ於ケル鋼鐵若クハ銑鐵ノ値段ハ「ピツツバーク」ノ値段ト較ベテ餘リ違ハヌ、亞米利加、英國ニ對シテハ、大抵切詰メテ行ッタナラバ、日本ノ生産品ヲ以テ之ニ相對スルコトガ出來ルト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、此四五日間ノ「ユトエス、スチール」ガ「レール」ヲ五千噸賣ッテ來タ値段ハ八十五圓デアアル、ソコデ只今御話ニナッテ居ルヤウナ率ヲ取り、先達テ衆議院ヲ通ッテ關稅ノ改正率ヲ基礎トシ、サウシテ今現ニ現レテ來ル亞米利加ノ競争、若クハ大陸ノ

競争ニ向ッテ、私共ハ此率デハドウシテモ日本ノ製鐵ハ立行クコトガ出來ヌト云フ考ガアルノデアリマス、ソコデ政府ガ御答ニナッテヤウナ、果シテ大正十一年乃至十二年、此二年間ノ値段ヲ基礎トシテ此率ヲ御定メニナッテスレバ、ソレハ唯一片ノ形式デアッテ、經濟上變化極マリナキ實際ノ狀況ニ最モ適切ナル獎勵法デナイヤウニ思フ、若シ此獎勵ノ率ガ此邊ノ事ヲ能ク具サニ究メテ、現狀ニ鑑ミテ定メラレタモノデアルトシタナラバ、私共ハ是ハ此率デハ到底競争シ得ルコトハムツカシイ、政府ガ理想ト爲サル所ノ折角此製鐵業ヲ獎勵サレルコトガ、恐ラクハ實現サレルコトガ困難デアリハセヌカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソコデ是ガ即チ獎勵法ノ骨子デアリ、根本デアアルノデアリマスカラ、私ハ政府ガ所謂吾々ノ競争國トシテ見ル所ノ大陸デモ宜シウゴザイマス、或ハ英米デモ宜シイ、先ヅ三箇國ニ對シテノ生産費ヲドノ基礎ノ下ニ御置キニナッテカト云フコトヲ御示シテ願ヒタイ、又銑鐵ニ對シテ、是モ印度ガ主タル競争國デアリマスカラ印度ニ於ケル生産費、之ニ對シテ我國ノ生産費ハ斯ウ云フ風ニナル、之ニ關稅ト今度ノ保護ヲ加ヘルト、此數字ノ上カラ明ニ競争出來ルト云フコトデアレバ、若シ出來レバ書類デ其内容ヲ御示シテ願ヒタイと思フノデアアル、吾々ノ承知スル所ニ依リマス、鐵ノ關

稅ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ居ル、世間デハ之ヲ皆知ッテ居ル、而シテ製鐵所長官モ御出デニナッテ居ルヤウデアリマスガ、然ラバアノ關稅ノ上ツタ爲ニ日本ノ鐵ノ相場ガ上ツタカ、是カラ六月先キニナリマスレバ、今日契約シタモノハ六月以後ニ入ッテ來マス、此六月カラ先キノ受渡シ、七月渡シ、八月渡シ、若クハ本年渡シト云フ鐵ノ契約ハ市中デハ澤山成立ッテ居リマス、最近ニ至ッテハ昨日モ一昨日モ、毎日ノヤウニ市中ノ商品デアリマスカラ、契約ガ出來テ居リマスガ、私共ノ承知スル所デハ、日本ノ關稅ニ依テ支那ト契約サレタ先物ノ相場ハ、少シモ變化サレテ居ラヌ、上ツテ居ラヌ、關稅ノ上ツタノニ少シモ拘ラズ、關稅ノ改正サレナイ前ノ値段デズン「契約ガ出來テ居ル、斯ウ云フヤウナ狀況デアアル、吾々ハ關稅ノ上ツタ爲ニ鐵ノ相場ガ上ッテ來ルダラウト思ッタ、所ガ之ニ競争シテ來ル各國ノ態度ハ左様ナモノデハナイ、御調べニナレバ直グ分リマスケレドモ、此關稅問題ガ起ッタ一箇月若クハ二箇月——アノ問題ガ可決シタ後ノ一週間乃至二週間ノ市中ニ賣ッテ居ル相場、若クハ先物相場ガドレダケノ影響ヲ來シタカト云ヘバ、何等影響ヲ來シテ居ラス、是ニ因ッテ之ヲ觀ルト、此獎勵案ガ假令通過致シマシテモ、外國ノ競争ガ私ハ此狀況ニ鑑ミテ見テ、是ダケノ保護デドレダケノ事ニナルカト云ヘバ、向フノ競争

スル態度ハ斯ンチモノニハ殆ド影響セヌヤウナモット強大ナル力、モット偉大ナル經濟力、生産力、生産費ガ安イ、過剩シタル生産品ヲ各國ニ向ッテ送ッテ來ル力ハ、到底此位ノ事デハ影響スルコトハ出來ナイ、隨テ日本ノ製鐵、日本ノ銑鐵ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、此率デハ到底ムツカシイヤウニ考ヘマス、殊ニ先達テ承ッタ所ニ依リマシテハ、此外國カラ輸入スル鐵ニ對シテノ諸掛リ、政府ガ横濱チリ神戸沖着ノ値段、ソレニ輸入稅ヲ加ヘ、陸揚賃ヲ加ヘ、解賃ヲ加ヘ、河岸揚ト云フヤウナ人夫賃、若クハ保險料、是等ヲ計算サレテ市中ノ賣値、所謂輸入品ニ對スル市中ノ賣價ト、内地工場造ッタル製品ガ同一市場デ賣ルマデノ生産費ノ基礎ノ計算、此計算ヲ承ッテ見マシタ所ガ、私共ガ現實ニ取調ベマシタ所ト政府ノ御調べニナツタル計算ノ基礎ニ大ナル相違ガアルヤウニ考ヘル、政府ハ輸入ノ鐵ニ對シテ横濱沖着後市場ニ賣出スマデヲ噸八圓掛カル、斯ウ云フ數字ガ現レテ居ル、私共ハ之ヲ四圓以内ニ見積ッテ居ル、是ハ押ヘ所ダケノ話デアアル、私共ノ調べニ依レバ、大正十三年ノ一月ニハ横濱カラ東京ヘ持ッテ來ル解賃ハ一噸三圓二十錢、今日デハ一圓カラ一圓五錢、ソレデアリマスカラ大正十三年ノ初メニ輸入シタ以後ノ鐵ニ對スル諸掛リヲ捉ヘテ、サウシテ輸入品ハ是ダケノ諸掛リヲ負ウテ市場ニ販賣セラレル、内地

カラ持ッテ來ルナラバソレ程掛ラヌ、此
差ガ即チ關稅ニ依テ保護サレルモノ、若
クハ獎勵法ニ依テ保護スベキモノデア
ルト云フ計算ヲ基準ニ置イテ捉ヘテア
リマスガ、若十二年一月ヲ御捉ヘニナ
テ私共ノ計算ト比較スルト、解賃ノミ
デスルモノ二回乃至二回數十錢ノ差ガア
ル、即チ百圓ニ對シテ二分ノ差ガアル、
銑鐵ノ如キ五十圓内外ノモノニ對シテ
ハ五分以上ノ差ガアル、是ハ必ズ政府
ガ此基礎ヲ御拵ヘニナル時ニ、或ル一
定ノ期間ガアル、若クハ或ル一定ノ掛
リニ對シテハ是ガ大抵繼續サレルモノ
デアラウ、斯ウ云フ基礎ニ於テサレテ
居ルノデアリマセウガ、私共カラ見ル
所ニ依ルト、現在ノ有様、而シテ其現在
ノ有様ガ假ニ歐米カラ輸入スル運賃ニ
致シマシテモ、先達テノ商工大臣ノ御
説明ニ依テモ、現在ニ於ケル運賃ハ值
段ガ安イノデアアル、常軌ヲ外レタル安
イ値段デアルト云フ風ノ御假定デアリ
マシタガ、私共ハ常軌ヲ外レテ居ルカ
居ラヌカ分リマセウガ、兎ニ角世界大
戰ニ際シテ各國ガ使ヒ切レナイ程餘計
ナ船ヲ造ツタ、今日デモ亞米利加ダケ
ニ千艘ダケノ船ガ繫イデアアル、英吉利
デモ何百艘ノ船ガ繫留サレテ居ル、此
世界ニ於ケル六百萬噸、八百萬噸ノ船
ガ消化サレルマデニ二十年掛カルカ、
十五年掛カルカ分ラヌ、運賃ノ上ル見
込ハナイト云フコトハ殆ド當業者ガ一
致シテ認メテ居ル、又歐洲ニ於ケル鐵

ノ生産品ノ如キモノモ、先刻申上ゲマ
シタ通り是ガ一時ニ出來タリ、運賃ノ
暴落ガ一時ニ出來タリ、不當廉賣ニ依
テ剩ツタル物ヲ外ヘ投ゲルト云フヤウ
ナ事デハナクシテ、確實ナル基礎ノ上
ニ立ッテ全ク生産費ガ安イ、運賃ガ安
イ、斯様ナ爲ニ輸入サレテ居ルノデア
リマスカラ、之ヲ一時的ノ現象トハ云
ハレナイ、溯ッテ何年カ前ノ唯平均値段
ヲ形式的ニ捉ヘテ來テ、之ヲ以テ日本
ノ生産費ハ之ニ對抗スルコトガ出來ル
ト斷定スルコトハ、甚ダ早計デアリ、大
ナル誤リデアラウト私共ハ考ヘルノデ
アリマス、彼我生産者ノ大小、是ハ如何
ニシテモ此問題ヲ議スルニ當ッテ根本
ノ問題デアリマスルノデ、政府ガ之ヲ
基調トシテ此率ヲ出シタト云フ其計算
ノ明細ヲ、冀クハ書類ニ依テ戴クコト
ガ出來レバ甚ダ仕合ダト思ッテ居リマ
ス、更ニ此獎勵法ノ規則ノ中デ、條文ニ
付テ二三點承ッテ見タイト思フ、第一條
ノ「一ノ場所ニ於テ一年三萬五千噸以
上ノ製銑能力及一年三萬五千噸以上ノ
製鋼能力ヲ有スル設備」是ハ大正六年
ニ御決メニナリマシタル現行獎勵法ニ
基イテ御決メニナッタノダト考ヘマス
ガ、此三萬五千噸ト云フ數字ヲ動カシ
テ之ヲ少クスルカ、若クハ制限ヲ無ク
ナスカ、更ニ之ヲ多クスルカ、必ズ三萬
五千噸ト御規定ニナッタモノヲ支持シ
ナケレバナラヌ、何カ理由ガ政府ニア
ルカドウカ、之ヲ承リタイ

○三井鑛山局長 第一御質問ニ付キ
マシテ御答致シマス、銑鐵ノ外國ニ
於ケル生産費、ソレカラ本邦ニ於ケ
ル生産費ノ差額ト云フコトニ付キマ
シテハ、過般山本委員ガ關稅調查會
ニ於キマシテ御述ニナリマシタヤウ
ニ、吾々ノ初メ調査致シマシタ時
ハ、一般ニハ基準期間ヲ、即チ大正十一
年ノ七月カラ大正十二年ノ六月ニ至ル
基準期間ヲ取ルノ原則トシテ居ルノ
デアリマスケレドモ、此銑鐵ニ付キマ
シテハ、其後種々ノ變化ガアリ、寧ロ非
常ナ變化ガアルヤウニ見受ケマシタノ
デ、更ニ十三年度ノ全體ノ平均價格モ
取ッテ見マシタ、ソレカラ尙ホ大正十四
年ノ上半期ノ平均價格モ取リマシタ、
ソレデ其結果ト致シマシテ、凡ソ七圓
位ノ差ガ出テ來ルト云フコトヲ算出致
シタノデアリマス、此點ニ付キマシテ
ハ山本サンノ御意見モ、凡ソ銑鐵ニ付
テハ七圓デ宜カラウト云フ御意見デア
リマシテ、此御意見ハ吾々ノ意見ト全
ク一致シテ居ルモノト存ジマス、ソレ
デ今回ノ獎勵法ニ依リマシテ、鋼材ヲ
造リマス銑鐵ニ對シテ噸當リ幾ラト云
フ金高ヲ、略只今參典官ヨリ申上ゲマ
シタ通り決メテ居リマス、結局此銑鐵
ノ關稅ニ相當スルモノヲ標準トシテ然
ルベキモノト思ヒマス、唯其中ニ六圓、
五圓、三圓ト云フ差ガ出テ居リマスル
ノハ、三圓ハ今日ノ製鐵業ノ「プロセ
ス」ト致シマシテ、ドウシテモ鑄物用ニ

適スルモノガ自カラ出テ來ル、之ヲ現
在市場デ賣ッテ居リマスルノハ、普通ノ
銑鐵ヨリモ約二圓位高ク賣レテ居ルノ
デアリマス、是ハ御承知ノコトト思ヒ
マス、ソレデ之ニ就キマシテハ、凡ソ三
圓ノ獎勵交付金ヲ與ヘルト約五圓ニ
ナル、ソレカラ銑鐵ヲ拵ヘマシテ、更ニ
鋼材ノ用ニ供スルト云フモノニ對シマ
シテハ、五圓ト云フコトニ致シテ居リ
マス、是ハ只今現在ノ關稅ヲ除キマシ
テ、其差額ヲ大體五圓デ宜カラウト云
フコトデヤッテ居ルノデアリマス、更ニ
一貫主義ニ基キマスル鋼鐵ニ費シマス
ル銑鐵ニ對シマシテハ、六圓ト致シマ
シタノハ一貫主義ト云フモノヲ獎勵致
シマス趣旨ニ基キマシテ、五圓ニ更ニ
二割ト云フモノヲ加ヘテ獎勵シタ方ガ
適當デアラウト云フ考ヘデ出テ居ルノ
デアリマス、此銑鐵ノ現在ノ關稅ガ低
イト云フコトカラシテ、色々起ッテ來マ
シタノデ、其差額ハ只今申上ゲマシタ
ヤウニ、凡ソ現在ノ關稅ヲ加ヘマシテ
七圓、現在ノ關稅ヲ除キマスルト五圓
ト云フコトデ、是ハ山本委員モ能ク御
了解下サルコトト思ヒマス、ソレカラ
製鋼ノ事ニ付キマシテ——鋼材ノ事ニ
付キマシテ只今御説ガゴザイマシタ
ガ、此點ニ付キマシテモ、政府ハ唯以前
ノ基準期間ヲ標準ト致シテ決メタバカ
リデハナイノデアリマス、是ハ關稅定
率法ノ委員會ニ於テモ御話申上ゲマシ
タヤウナ譯デ、近頃非常ニ沖着ノ價格

ニ變動ガゴザイマスルシ、爲替相場ノ變動モゴザイマスガ、吾ミノ見ル所ヲ以テ致シマシテモ、最近ノ例ヘバ本年二月ト云フモノヲ取リマシテ、其二月ノ沖着或ハ爲替相場ヲ以テ、關稅ノ基礎ノ各標準トスルコトハ少シ早計デア、總テ一般ノ關稅ノ調查ヲ致シマスル場合ニハ、相當ノ期間ノ平均ヲ取ルト云フコトヲ標準ト致シテ居リマス、少クトモ本年ノ二月ニ復活致シマシテモ、二月カラ遡リマシテ、先ヅ六箇月位ノ所ハ、平均ヲ取ッテ見ナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、色々御議論モアリマシタガ、此點ニ付キマシテモ更ニ調査ヲ致シテ見マシタ、所ガ矢張沖着ノ價格ハ大正十四年ノ九月カラ大正十五年二月マデト致シマシテ、平均ガ六磅十八志一片、斯ウ云フコトニナル、爲替ノ換算率モ平均ハ一志九片・〇一二ト斯ウナル、之ヲ邦貨ニ換算致シテモ約七十九圓ト云フコトニナルノデアリマス、是ナラバ現在ノ鋼材ト致シマシテ、十八圓ソコノ關稅ヲ高メマシタ所デ相當ナ利益ガ得ラレル、相當ナ保護ニナルモノト信ジテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテ山本サンノ御説デハゴザイマスルガ、政府ノ調ベテ居リマスル所ノ生産費、沖着輸入價格ト云フモノニ相當ノ差ガアル、自分等ノ山本サンノ御調査ニナッタ所トハ、ソレハ諸掛リニ於テ政府ハ八圓ト見テ居ルガ、山本サンハ是ハ高キニ失

シテ居ルト云フ御話デアリマシタ、此諸掛リニ付キマシテハ、陸揚費トカ、或ハ保險料デゴザイマス、或ハ金利デゴザイマス、又解賃デゴザイマストカ、手數料デゴザイマストカ、色々アルノデゴザイマス、此事ヲ最近尙ホ確メテ見タノデゴザイマス、所ガ不幸ニシテ山本サンノ御説ハ矢張違ヒマシテ、私共ノ調べガソナニ違ッテ居ナイト云フコトヲ承知致シタ、橫濱ノ陸揚ノ場合ニハ矢張殆ド八圓——七圓七八十錢掛ッタヤウデゴザイマス、ソレカラ更ニ東京ノ河岸マデ持ッテ參リマスル解賃ヲ加ヘマスト八圓ヲ超エル、是ハ神戸モ橫濱モ殆ド同ジデゴザイマス、諸掛リハ當業者ノ言フ所ニ依リマスト、此解賃ガ一時非常ニ高カッタモノガ、是ガ近頃安クナッテ居リマス、其點ニ付キマシテハ或ハ御調べノ點ガ根據シテ居ルノデアラウト思フノデアリマシタ、陸揚ト致シマシテハ金利ト、ソレカラ船内ノ人夫賃、保險料、ソレカラ解賃、ソレカラ陸揚手數料、斯ウ云フモノヲ加ヘマシテ殆ド矢張八圓ニナッテ居リマス、私共ノ調べタ所ニ大ナル誤リガナイト信ジテ居リマス、唯々現在ノ狀況ニ於キマシテハ、只今御説ノ通り非常ニ價格ガ變動致シテ居リマス、此變動ノ現在ノ狀態ヲ捉ヘマシテ、直ニソレヲ基準トスルコトハ甚ダ劍呑デアリマス、將來關稅調査會ノ常設ノ調査會モ出來ルサウデゴザイマスカラ、

常ニ是等ノ點ニ付テハ注意ヲ致スコトニナリマシセウシ、若シ鋼材ニ關シマスル關稅ガ現在ノ改正案デ以テ不足スルト云フ場合ニハ、又之ヲ高メルコトモ出來ルシ、又上ゲルコトガ出來ル、又引下ゲルコトモ出來マセウシ、ソレハ將來ニ於テスルヨリ外ナイ、現在ノ所ニ於テハ政府提出ノ案ハ爾ク間違ッテ居ナイ積リデアリマス、其點ヲ一應御答ヲ致シテ置キマス

○山本委員 只今段々御話ガアリマシタガ、其彼我ノ生産費ノ比較ト云フコトニ對シテ只今ノ御話ヲ搔摘ンデ見マスト、本年ノ二月カラ溯ッテ六箇月間、大陸カラ輸入スル鐵ノ沖着ガ六磅十六志、ソレヲ爲替相場一志十六分ノ十一ト云フノニ換算シテ沖着値段ハ七十九圓デア、之ヲ基礎ニシテ計算スレバ、日本ノ製鋼所ハ今日ノ關稅ノ保護ニ依テ成立ツト云フ政府ノ御意向デアルト云フコトガ、彼我ノ生産費ノ對照ニ對スル結論ノヤウニ承リマシタ、爲替ノコトハ是ハ洵ニムツカシイ問題デ、今後如何ニ變リマスカ、國際貸借若クハ貿易ノ上カラ變動ガ參ルノデアリマシタ、先ヅ昨年以後ノ狀況ヲ以テ見マシタ、政府ガ僅カヅツデモ金ノ現送ヲシテ行クト云フヤウナ狀況デ、最近ニハ少シク反響ガアリマシタガ、先ヅ大響ニ於テ恢復シテ來ル趨勢ヲ辿リツツアルト吾ミハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此事モ此鐵ノ問題ヲ議スル時

ニ、重大ナル問題ノ一ツトシテ考慮ノ中ニ入レネバナラヌコト思フノデアリマス、吾ミハ變動ハアリマスルガ此趨勢ニ鑑ミ、又日本政府ノ執ラレテ居ル所ノ態度其他總テノ點カラ考ヘテ、此一志十六分ノ十一ト云フノガ、之ヲ基礎ニセラレタト云フノデアリマセヌケレドモ、此爲替ノ趨勢モ矢張考慮ノ中ニ加ヘンナラヌ、若シ此爲替ガ平價ニ復スルトセバ、直ニ一割ハ其原價ニ影響スルト云フコトニ相成ルカラ、最モ無論加ヘナケレバナラヌ、又七十九圓デ相當ニ利益ガアルト云フ——日本ノ製鋼所ガ相當ノ利益ガアルト云フ此計算モ、是モ製鋼所ノ利益ガアルト云フ點カラ考ヘマシテ餘程計算ノムツカシイ問題デア、相當ノ金利モ認メ、相當ノ工場銷却モ認メ、税金モ認メ、種ナルコトヲ矢張計算ノ中ニ入レテセナケレバナラヌガ、私共ハ當業者カラ承ツタ所デハ、此値段デハ只今御話ニナリマシタヤウナ相當ノ利益ガアルト云フ計算ニハ相成ラヌト、異口同音ノ答ヲ得テ居ルノデアリマス、隨テ只今御話ニナリマシタ政府ノ諸掛リノ基礎、是モ計算ノ仕方ニ依ルノデアリマシテ、解賃、船内人夫賃、陸揚費ト云フヤウナモノハ勿論、金利ノ如キ、手數料ノ如キ、商賣人ダカラはダケノ手數料ハ取ッテ居ルダラウ、二分五厘ヤ五分ハ取ッテ居ルダラウ、金利モ六箇月ノ金利ハ見ル、六箇月——此爲替手形ヲ引イ

シテ居ルト云フ御話デアリマシタ、此諸掛リニ付キマシテハ、陸揚費トカ、或ハ保險料デゴザイマス、或ハ金利デゴザイマス、又解賃デゴザイマストカ、手數料デゴザイマストカ、色々アルノデゴザイマス、此事ヲ最近尙ホ確メテ見タノデゴザイマス、所ガ不幸ニシテ山本サンノ御説ハ矢張違ヒマシテ、私共ノ調べガソナニ違ッテ居ナイト云フコトヲ承知致シタ、橫濱ノ陸揚ノ場合ニハ矢張殆ド八圓——七圓七八十錢掛ッタヤウデゴザイマス、ソレカラ更ニ東京ノ河岸マデ持ッテ參リマスル解賃ヲ加ヘマスト八圓ヲ超エル、是ハ神戸モ橫濱モ殆ド同ジデゴザイマス、諸掛リハ當業者ノ言フ所ニ依リマスト、此解賃ガ一時非常ニ高カッタモノガ、是ガ近頃安クナッテ居リマス、其點ニ付キマシテハ或ハ御調べノ點ガ根據シテ居ルノデアラウト思フノデアリマシタ、陸揚ト致シマシテハ金利ト、ソレカラ船内ノ人夫賃、保險料、ソレカラ解賃、ソレカラ陸揚手數料、斯ウ云フモノヲ加ヘマシテ殆ド矢張八圓ニナッテ居リマス、私共ノ調べタ所ニ大ナル誤リガナイト信ジテ居リマス、唯々現在ノ狀況ニ於キマシテハ、只今御説ノ通り非常ニ價格ガ變動致シテ居リマス、此變動ノ現在ノ狀態ヲ捉ヘマシテ、直ニソレヲ基準トスルコトハ甚ダ劍呑デアリマス、將來關稅調査會ノ常設ノ調査會モ出來ルサウデゴザイマスカラ、

常ニ是等ノ點ニ付テハ注意ヲ致スコトニナリマシセウシ、若シ鋼材ニ關シマスル關稅ガ現在ノ改正案デ以テ不足スルト云フ場合ニハ、又之ヲ高メルコトモ出來ルシ、又上ゲルコトガ出來ル、又引下ゲルコトモ出來マセウシ、ソレハ將來ニ於テスルヨリ外ナイ、現在ノ所ニ於テハ政府提出ノ案ハ爾ク間違ッテ居ナイ積リデアリマス、其點ヲ一應御答ヲ致シテ置キマス

○山本委員 只今段々御話ガアリマシタガ、其彼我ノ生産費ノ比較ト云フコトニ對シテ只今ノ御話ヲ搔摘ンデ見マスト、本年ノ二月カラ溯ッテ六箇月間、大陸カラ輸入スル鐵ノ沖着ガ六磅十六志、ソレヲ爲替相場一志十六分ノ十一ト云フノニ換算シテ沖着値段ハ七十九圓デア、之ヲ基礎ニシテ計算スレバ、日本ノ製鋼所ハ今日ノ關稅ノ保護ニ依テ成立ツト云フ政府ノ御意向デアルト云フコトガ、彼我ノ生産費ノ對照ニ對スル結論ノヤウニ承リマシタ、爲替ノコトハ是ハ洵ニムツカシイ問題デ、今後如何ニ變リマスカ、國際貸借若クハ貿易ノ上カラ變動ガ參ルノデアリマシタ、先ヅ昨年以後ノ狀況ヲ以テ見マシタ、政府ガ僅カヅツデモ金ノ現送ヲシテ行クト云フヤウナ狀況デ、最近ニハ少シク反響ガアリマシタガ、先ヅ大響ニ於テ恢復シテ來ル趨勢ヲ辿リツツアルト吾ミハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ此事モ此鐵ノ問題ヲ議スル時

テ來ルノダカラ六箇月ハ見テ居ル、是ハ其基礎ニ依リマスルガ、私共ハ現實ニ自由競争ニナツテ居ル場合ニハ、隨分ヒドイ薄イ口錢デスシナモノハ取扱ッテ居リマス、金利ナドモ非常ニ切詰メラレタル計算デヤツテ居リマスノデ、是等ノ見積方ニ依テハ、只今ノ御話ニナリマシタノト、私共ガ眞實ニ闘ニ臨ンデ競争ヲシテ居リマス計算トハ、大分差ガ起ルト思ヒマスルガ、ソレハ假ニ仰セノ通りニ行クト致シマシテ、根本問題ハ彼我ノ生産費、即チ沖着値段、只今御話ニナリマシタ値段ノ標準トシテモ、如何ニシテモ日本ノ現在ノ工場ハ、相當ノ利益ヲ得ルト云フマデニ至ラヌト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ一體此獎勵案ガ出マシタ趣旨ニ付テ、色々ノ御説明ガ大臣始メ各位カラアリマシタガ、銑鐵ノ——印

度ニ對スル銑鐵ノ稅デ、關稅ノ國際的面倒ナ事ヲ起スト云フコトニ基イテ居ル、ソコデ私共ハソレナラバ此他ノ鋼デアレバ斯ウ、若クハ製鋼ナラバ斯ウ、銑鐵デアレバ斯ウデアルト云フコトニセズニ、鋼ニ對シテハ關稅ニ依テハツキリト之ヲ保護シ、而シテ印度ノ事ヲ爾ク神經的ニ苦慮セラルルノデアレバ、左様ニ表面ノ御話ガ無イニ致シマシテモ、其意義ガ參酌サレテ居ルト云コトハ是ハ私共能ク認メテ居ル、政府ノ當局者モ認メラレテ居ルノデアアルガ、銑鐵一噸ニ對シテ五圓ナリ六圓ナリノ保護ト云フコトニ、ハツキリ爲サレタ方ガ徹底的ノ獎勵法ニナリヤセヌカト云フコトノ見方ヲ致シテ居ルノデアリマス、成程大臣カラモ御説ガアツタ通り、段々新シイ世界ノ經營ノ方法ハ、銑鐵カラ直ニ煉鐵ニ廻ハスト云フコトハ、是ハ到ル所世界ノ中ニ行ハレテ居リマス、併シ若モ政府ガ之ヲ獎勵シ御面倒ヲ見ラレヌデモ、苟モ算盤ノ合ハヌコトデアアルナラバ、商賣人ハ黙ッテ居ッテモ此位ノ方法ハヤルノデアアリマス、紡績ノ發達ニ鑑ミ其他ノ工業ノ發達ニ鑑ミテモ、保護法ノ上ニ於テ故ラニ銑鐵一貫ト云フヤウナコトヲ、事實ヲ變ヘテマデヤラヌデモ、苟モ算盤ニ合ハヌコトデアツタナラバ、吾々モ經濟界ニ關係致シテ居ルケレドモ、ソコマデオヤリニナラヌデモ、勿論算盤ノ趣ク

所、利ノ趨ク所、商賣人ナドハ其機ヲ捉ヘルニ遺漏ハナイノデアリマスカラ、私ハ寧ろ是ハ此三様ニ分ツテノ保護案ト云フヨリモ、ハツキリ銑鐵一噸ニ對シテ幾ラト云フヤウニ、單純ニ徹底シタ政策ニ出ラレル方ガ、此趣意ハ表面ニ發表セラレザルマデモ、此案ノ起ツタル趣旨ニ鑑ミマシテモ、ソレガ徹底シタル政策デアリヤセヌカト云フヤウニ考ヘマスルガ、左様ナコトニ付テ御考慮ヲ煩シタコトハナイノデアリマスカ、此點ヲ承ツテ置キマス

○野田政府委員 私カラ只今ノ御問ニ御答致シマス、前ニ御質疑ノアリマシタ此第一條ノ三萬五千噸ト云フコトニシテ居リマス理由カラ申上ゲマス、ソレデ宜シウゴザイマスカ——鋼ヲ拵ヘテ居リマス工場ノ最小限度ト申シマセウカ、例ヘバ或ル「ローリングミル」ノ棒ヲ造ツテ居リマストカ、普通一般鋼材ヲ造ツテ居リマス、此「ローリングミル」ヲ一年ニ造リマス設備ト申スモノハ、約三萬五千噸乃至四萬噸程度ト見テ居ルノデアリマス、一方日本ノ如ク屑鋼「スクラップ」ノアリマセヌ國デハ、其銑鐵ヲ以テ材料トシナケレバナラヌノデアリマスガ、獨逸ノ如キハ近頃非常ニ安イモノヲ送ツテ參リマスノハ、戰時中ニ色々廢物ニナリマシタ「スクラップ」ガ非常ニアル爲ニ、先程山本サンガ仰シヤイマシタ以外ニ、マダ佛蘭西、白耳義、獨逸アタリデハ「スクラップ」ノ利益ガアルト云フコトヲ見遁スコトハ出來ナイガ、不幸ニシテ日本デハソレモナイノデアリマス、ソレデ銑鐵ヲ以テヤツテ行カナケレバナラヌ、丁度一日三萬五千噸乃至四萬噸ノ製品ヲ造ツテ參リマスノニ、銑鐵ヲ三萬五千噸位持ッテ行ケバ宜イ、サウシマスルト百噸位ノ熔鑪「フラストフアトネス」ヲ建テマス、丁度年三萬五千噸位ヅツ出來テ參リマス、ソレガ此三萬五千噸ニ最小限度ヲ決メタ理由デアリマス、其百噸位ハ、果シテソレデ宜イカト云フコトニナリマスルト、ソレヨリモ小サナル爐ニ比較シマスルト、百噸爐ヲ一基建

テマスノト、五十噸爐ヲ二基建テマスノト殆ド五割、或物ニ依リマシテハ六七割高イ設備費ガ掛カルノデアリマス、又之ニ要シマスル骸炭ノ設備ニ致シマシテモ、丁度三萬五千噸位年ニ造リマス、骸炭ノ設備ガ先ヅ最小限度ト見テ宜カラウト思ヒマス、製品モ年二百噸位出シマス爐ノ方ガ、小サイ爐ヨリモ製品ガ一定シテ居リマス、骸炭ヲ爐デ使用シマスニモ、丁度百噸位ノ方ガ、小サイ爐ヨリハ燃料ガ少シヅツデ宜イノデアリマス、其他色々ナ附屬ノ設備ナドモ、或ハ勞力費ナドモ減ルノデ、大キケレバ大キイ程利益ナノデアリマス、ソレカラ又本邦ノ現狀ヲ見マシテモ、現在本邦ニハ四十基ノ爐ガアリマシテ、其中百噸以上ノ爐ガ十七基デゴザイマス、其中現ニ十三基ハ今日此苦境ニ立ツテ働イテ居ルノデアリマス、他ノ百噸未滿ノ二十三基ハ全部休ンデ居リマス、先ヅ百噸程度ヲ以テ爐ノ最小限度ト致シマシテ、一年ニ三萬五千噸ノ製銑設備トスルト云フコトニスルノガ至當ト政府ハ見テ居リマス、同時ニ之ヲ鋼ニ致シマス爐ニ付テモ、色々攻究致シマシタ結果、一回ノ製鋼カラ平爐ノ製鋼量ガ二十五噸ト唱ヘル位ノモノガ、先ヅ日本ノ職工ノ體力カラ申シマシテモ、ソレ位ヲ限度ニスルノガ適當カト思フノデアリマス、丁度二十五噸爐ニ二基ヲ以テ、約三萬五千噸ノ鋼ヲ造ルコトガ出來ルノデアリマス、五十噸

爐一基デモ宜イノデアリマスガ、單位ハ先ヅ二十五噸トスルコトヲ、政府ハ獎勵シテ行キタイト思フノデゴザイマス、之ヲ外國ノ例ニ徵シマシテモ、獨逸デハ二百基アリマス中ニ、二十五噸以下ノ爐ハ三十一基シカゴザイマセヌンレモ「コンマ」シヤルスチール、銑鋼材ヲ造ツテ居ルノデアリマセヌデ、鑄物デアルトカ、鍛鋼物デアルトカ云フモノヲ造ツテ居リマス、英國ハ二百三十基アリマス中、六基ダケガ二十五噸以下デ、後ハ全部二十五噸以上デアリマス、米國デハ三百八十四基ノ中、僅ニ八十基シカ二十五噸以下ヲ持ッテ居リマセヌ、本邦ハ七十三基ノ中、六十七基ハ二十五噸デアリマス、丁度外國ノ二十五噸爐ヲ最低ノ度ト致シマス、普通鋼材ヲ造ツテ參リマス方ガ、先ヅ經濟的ニ外國ト相當ノ競争ヲシテ行ケルモノデハナイカト思ッテ居リマス、ソレガ三萬五千噸ト決メマシタ理由デゴザイマス、ソレカラ只今獎勵法ノ交付致ス金額ヲ三段ニ分ケテ居リマス理由ガ、甚ダ銑ト云フコトニ對シテ徹底シテ居ラヌヤウニ見受ケルト云フヤウナ御説ヲ伺ヒマシタガ、是ハ參與官ノ述ベラレマシタコトヲ、モウ少シ技術的ニ申上ゲマス、三萬五千噸ノ設備ヲ持チマシタ製鐵所デ、自分ノ銑銑ヲ詰リ銑鑪爐カラ出マシタ度ニ於テ、銑鐵ヲ製鋼平爐ニ入レマシテ、或ハ製鋼轉爐ニ入レマシテ、其處デ鋼ニ直シマス、サウシ

マシタ場合ニ、其鋼ニ使ヒマシタ中ノ銑鐵ニ對シテ六圓ツツ交付スルト云フコトナンデス、鐵ハ二ツノ會社ガアリマシテ、繼續的ニ約束ヲシマシテ、一方ノ銑鑪ノミヲ持チマシタ會社カラ、銑銑ヲ平爐或ハ轉爐ノミヲ造リマシタ會社ニ送ツテ、鋼ヲ造ツタ場合ニハ、兩方ノ會社ニ使ヒマシタ銑鐵ニ對シテ六圓ツツ交付スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ銑鑪爐デ銑銑ト致シマセズニ冷シテ固メテシマヒマス、サウシマシタ場合ニハ——各製鋼所ガ買ッテ使ヒマシタ場合、其製鋼所ガ是ダケノモノヲ何處カラ買ッテ使ヒマシタト云フ證明ガアリマシタ場合ニハ、其銑鐵ヲ引去リマシテ、其製鋼所ニ出來上リマシタ銑鐵總額ノ中カラ使ッタル銑鐵ノ量ヲ引去リマシテ、更ニ冷銑トシテ製鋼所ニ賣ッタル銑鐵ノ量ヲ引去リマシテ、殘ッタルモノハ如何ニナリマスカ、或ハ「ストツク」ニナルノデアリマス、此ニツノ會社ニ其銑鐵ニ對シテ三圓ツツヲ交付スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ政府ハ何處マデモ鋼ニ使フ銑鐵ヲ獎勵スルト云フコトニナツタノデアリマス

○永田委員 大事ナコトデスカラハッキリ第二ノモウ一遍……
○野田政府委員 ソレデハモウ一遍申上ゲマス、甚ダ複雑シテ居リマスカラ——政府ハ何處マデモ鋼ヲ造リマシテ、一遍銑石ヲ銑鑪爐デ銑カシテ銑鐵ニシタ以上ハ、製品ニナル迄ソレヲ冷シタクナイ、是ガ最モ經濟的ダト考ヘテ居リマス、ソレデ其銑銑ヲ銑ケタ儘平爐ニ入レタ場合ニハ、銑ケタ銑鐵ノ目方ニ對シテ適當リ六圓ツツ、交付スル、第二ノコトハ、ソレヲ一ノ會社デナクテモ宜イノデアリマス、例ヘバ甲ノ會社ト乙ノ會社トアリマシテ、甲ノ會社ハ銑鐵バカリ造ツテ居ル、乙ノ會社ハ鋼ノ設備シカ持ッテ居ラヌ、サウ云フ場合ニ、ソレガ近イ所ノ工場デアレバ、互ニ繼續的ニ約束ヲシマシテ、甲ノ會社ノ銑鐵ヲ、銑ケタ儘乙ノ會社ヘ持テ來テ使フト云フコトニナレバ、其資本ハ一ツデハアリマセヌケレドモ、政府ノ目的ハ達セラレマスカラ、ソレニハ矢張六圓ヲ與ヘル、併シ一方固マツテシマツタモノ、遠イ所ヘ送ルモノ、或ハ近クテモ冷タイノヲ買ッテ使フ場合ニハ、政府ノ目的トハ少シ外レテ居リマスカ、ソレモ先ヅ印度アタリカラ入ッテ來マス所ノモノト競争シテ賣ラナケレバナリマセヌカラ、ソレノ差額ガ七圓トシ、其内一圓六十七錢ハ關稅デ課セラレテ居リマスカラ、五圓ヲ銑鐵屋ノ方ニ與ヘルノデアリマス、殘リマシタノハ、是ハ本當ヲ申シマスレバ冷シテハ損デアリマス、冷シマスレバ冷シテハ既ニ鑄物ニ適當スルモノニナルノデアリマス、鑄物ニ適當スル銑鐵ハ普通ノモノヨリ二三圓高ク賣レマス、併シ冷シタモノヲ鋼ニスルト云フコトハ國ト

シテハ損デアリマス、デ英國デ申シマスルト「アイアン、エンド、スチール」此兩方ヲ造ツテ居リマス大工場ナラバ、銑鑪爐カラ出マス銑鐵ハ「ミキサ」混銑爐ト申シテ居リマスガ、ソレニ入レテ一定ノ品質ニシ、ソレヲ更ニ鋼ノ爐ニ流シ込ムノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ本邦ニハ八幡製鐵所以外ニハサウ云フ設備ハアリマセヌ、ソレガ爲ニ冷ヤシテ使ハナケレバナラヌ場合モアル、冷ヤシタモノハ自然一定ノモノデナクナル、鋼ニ適スルモノモアリ又適セヌモノモ出ル、即チ鑄物ニ適スルモノモ出來ル、鋼カラ申セバソレハ副生物的ノモノデアリマス、其鑄物ニ適スル銑鐵ヲ無視シテハ矢張鋼ノ方モ進歩シナイ、併シ其方ハ幾ラカ高ク賣レルト云フコトモアリマスカラ、之ニハ三圓ダケ交付シヤウト云フコトニシタノデアリマス

○永田委員 今ノ第二ノ所、一ノ會社カラ他ノ會社ヘ銑鐵ヲ送ル場合ニハ六圓與ヘルト云フコト、是ハ東洋製鐵會社ガ八幡ニ送ツテ居ル場合ガソレデアルト思ヒマスガ、其他ニモ例ガアリマスカ、ドウ云フ場合デスカ、會社ニ就テ適切ニ御説明ヲ願ヒマス

○野田政府委員 只今デハ東洋製鐵ノ八幡ニアリマス官立ノ製鐵所ガ使ッテ居ルノデアリマスガ、實際ハ八幡製鐵所ノモノニナツテ居リマスカラ、本邦ニハ未ダサウ云フ例ハナイノデアリマ

ス、アリマセヌガ實際ノ例デ申シマス
ト、輪西ノ製鐵所ト室蘭ニアリマス日
本製鐵所ハ、只今ハ一ノ資本ノ下ニ纏
メラレマシタケレドモ、アレガ一ノ資
本デナイ時ガアツタ、ソレデ今日ハ輪西
カラ室蘭マデ二十分間バカリデ銑銑ヲ
運ブトガ出來ル設備ニナツテ居リマ
ス、又鶴見ニ出來マシタ淺野造船所ノ
百五十噸銑銑爐ハ、マダ火ハ入レテア
リマセヌガ、近々火ヲ入レルコトニナ
ルダラウト思ヒマス、此淺野造船所ハ
自身ニマダ製鐵所ヲ持ツテ居ラナイノ
デアリマス、サウ云フ場合ニ私共ガ技
術的ニ考ヘマスルト、彼處ニ日本鋼管
會社ト申シマシテ二十五噸爐ヲ九臺位
持ツテ居ル大キナ製鐵所ガアリマス、ソ
レニ銑銑ヲ送ルコトニ致シマスレバ、
國家的ニハ非常ニ經濟デアルト思ヒマ
ス、サウ云フ場合ヲ豫想シタノデス

御示シテ願フテ置イタ方ガ、鐵事業獎勵
ト云フ根本目的ヲ達成スル上ニ於テ、
極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマ
ス、ソレハ成程政府ノ今日ニ於ケル御
說明ハ、政府ノ立場トセラレマシテハ
一應御尤デアアルカモ知リマセヌガ、吾
吾ノ立場カラ實際問題ニ付テ算盤ヲ取
ツテ見マス、政府ノ御指定ニナツタヤ
ウナ數字ニハ一致致サナイデアリマ
ス、殊ニ山本条太郎君ヨリ縷々申述ベ
ラレマシタ通り、此製鐵事業ノ世界的
減少ト云フモノハ、非常ナ經濟的關係
ニ於テ波瀾ガアルト思ヒマス、今日膠
着シタル一ツノ數字ニ依ツテ發達ヲ期
待致スト云フコトハ、困難ト思ヒマス、
若シ茲ニ基礎數字ガ出來テ居リマシタ
ナラバ、其基礎數字ガ時ノ事情デ非常
ニ變化ガアルト云フコトガ發見サレタ
場合ニ於テハ、茲ニ又再ビ獎勵ノ目的
ヲ達スル機會ヲ作ルコトニナリマスカ
ラ、私ハ今此基礎數字ヲ多少御不便ガ
アラレマシテモ、大膽ニ一ツ吾々ニ書
面ヲ以テ御渡シ下サル方ガ、眞實此鐵
事業ノ發達ノ爲ニ相成ルカト思ヒマス
ガ故ニ、私ハ此基礎數字ノ當ツテ居ルト
カ、當ツテ居ラナイト云フ點ハ、茲ニ餘
リ追窮致シマセヌ、次ニ私ハ一ツノ疑
ヲ持チマスノハ、一體此法案ハ幾多ノ
機會ニ述ベラレテ居リマス通り、政府
御自身モ餘リ理想案トハ御考ニナツテ
居ラナイ、吾々ハ固ヨリ左様ニ信ジマ
セヌ、殊ニ御獎勵ニナリマス數字ガ、實

際トノ間ニ極メテ「マージン」ガ薄イ、
幅ガ極ク狭イノデアリマス、少シ事情
ガ變テ來ルト、獎勵ノ根本目的ヲ達ス
ルコトガ出來ナイノデハナイカト云フ
心配ガアルノデアリマス、此法案ノ眞
心目的ヲ達スル其方法ハ、法案自體ニ
依ラズシテ、殆ド行政官廳ノ自由手腕
ニ依ツテ、如何ニ此法ヲ適用サレルカト
云フコトニ依テ、其目的ガ達セラレル、
即チ行政官ノ手心ニ依ル幅ガ非常ニ大
キイト考ヘテ居ル、即チ私共ノ考デハ、
我國ノ現在ノ製鐵所ノ中デ、此法案通
リノ適用ヲ致シマシタナラバ、幾ツノ
製鐵所ガ此法案ノ恩惠ニ浴スルカト考
ヘテ見マス、私ハ殆ド無カラウト思
フ、殊ニ參考書類トシテ御渡シ下サイ
マシタ銑鋼一貫主義ノ下ニ此恩惠ニ浴
スル會社ハ、僅ニ三ツデアアル、此三ツノ
内容ヲ見マス、極メテ貧弱ナモノデ
アル、之ヲ成ベク廣ク恩惠ニ浴セシム
ルト云フコトハ、一ニ行政官ノ手心ニ在
ルト云フコトニナルノデアリマス、左
様ナ事ガ私ノ大體ノ觀察デアリマス、
ソコデ問題トナルノハ、銑鋼一貫主義
ト云フモノハ、日本ノ今日ノ事情ニ合
ハナイ、成程各國ハ銑鋼一貫主義デ効
果ヲ現ハシテ居ルガ、我國製鐵事業ノ
現狀ハ、其理想ニハ遠イ、私共ハ一體銑
鐵ニ重キヲ置ク、或ハモウ一步進ミマ
スト銑石ニ重キヲ置ク、原料ニ重キヲ
置クト云フコトガ、實際製鐵事業發達
ノ骨子デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居

ルノデアリマスカラ、以上ノ點ヲ申述
ベタノデアリマス、時間ガ許シマシタ
ナラバ、以上私ノ指摘致シマシタ點ニ
付テ、詳細ニ御答辯ヲ促シタイノデア
リマスガ、斯様ナ場合デアアルカラ、一々
御答辯ヲ願フコトヲ省略致シマス、併
ナガラ其意思ハ茲ニ明ニ致シテ置クノ
デアリマス、結論ト致シマシテハ、山本
条太郎君ガ申述ベマシタ通り、銑石ニ
對シテハ幾ラヲ補助スル、銑鐵ニ對シ
テハ幾ラヲ補助スル、鋼ニ對シテ幾ラ
ヲ補助スルト云フコトヲ、ハッキリ數字
ヲ上ゲテ法律デ以テ御規定ニナルコト
ガ、寧ロ事業關係者ニ取ツテハ便利デア
ル、言葉ハ甚ダ宜シクナイカ知リマセ
ヌガ、廻リ諄イ獎勵ノ仕方ハ、此目的ニ
副ハナイ嫌ガアルノデナイカト思フノ
デアリマス、併シ此點ニ付テハ既ニ政
府ノ方カラ吾々ノ期待スルヤウナ答デ
ハアリマセヌケレドモ、御説明ガアリ
マシタカラ、是モ意思表示ニ止メテ置
キマス、次ニ質問ニ移リマスガ、本會議
デモ商工大臣ニ私ハ御尋ヲ致シマシタ
原料關係ニ付テ、政府ハドウ云フ御方
針ヲ執ツテ居ラレルノデアアルカ、私共ノ
立場カラ言ヒマス、原料關係ハ之ヲ
實際問題ニ當嵌メテ見マス、甚ダ不
安ナル狀態ニアル、殊ニ其中デ銑石、
滿俺、此二點ニ付テハ非常ニ不安ナル
狀態ニ在ルト思フノデアリマス、此點
ニ對シマシテ一應大體斯ウ云フ方針デ
居ル、斯ウ云フ方面ニ斯ウ云フ數字ヲ

午後零時十七分休憩

午後一時二十分開議

○加藤委員長 午前ニ引續イテ製鐵業
獎勵法改正法律案ノ委員會ヲ開キマス
森君

○森委員 私ハ午前ニ同僚山本条太郎
君ヨリ指摘セラレマシタ六圓、五圓、三
圓ト云フ數字ノ由ツテ來ル基礎數字ヲ、
此際ドウシテモ相成ベクハ書類デ明ニ

際トノ間ニ極メテ「マージン」ガ薄イ、
幅ガ極ク狭イノデアリマス、少シ事情
ガ變テ來ルト、獎勵ノ根本目的ヲ達ス
ルコトガ出來ナイノデハナイカト云フ
心配ガアルノデアリマス、此法案ノ眞
心目的ヲ達スル其方法ハ、法案自體ニ
依ラズシテ、殆ド行政官廳ノ自由手腕
ニ依ツテ、如何ニ此法ヲ適用サレルカト
云フコトニ依テ、其目的ガ達セラレル、
即チ行政官ノ手心ニ依ル幅ガ非常ニ大
キイト考ヘテ居ル、即チ私共ノ考デハ、
我國ノ現在ノ製鐵所ノ中デ、此法案通
リノ適用ヲ致シマシタナラバ、幾ツノ
製鐵所ガ此法案ノ恩惠ニ浴スルカト考
ヘテ見マス、私ハ殆ド無カラウト思
フ、殊ニ參考書類トシテ御渡シ下サイ
マシタ銑鋼一貫主義ノ下ニ此恩惠ニ浴
スル會社ハ、僅ニ三ツデアアル、此三ツノ
内容ヲ見マス、極メテ貧弱ナモノデ
アル、之ヲ成ベク廣ク恩惠ニ浴セシム
ルト云フコトハ、一ニ行政官ノ手心ニ在
ルト云フコトニナルノデアリマス、左
様ナ事ガ私ノ大體ノ觀察デアリマス、
ソコデ問題トナルノハ、銑鋼一貫主義
ト云フモノハ、日本ノ今日ノ事情ニ合
ハナイ、成程各國ハ銑鋼一貫主義デ効
果ヲ現ハシテ居ルガ、我國製鐵事業ノ
現狀ハ、其理想ニハ遠イ、私共ハ一體銑
鐵ニ重キヲ置ク、或ハモウ一步進ミマ
スト銑石ニ重キヲ置ク、原料ニ重キヲ
置クト云フコトガ、實際製鐵事業發達
ノ骨子デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居

際トノ間ニ極メテ「マージン」ガ薄イ、
幅ガ極ク狭イノデアリマス、少シ事情
ガ變テ來ルト、獎勵ノ根本目的ヲ達ス
ルコトガ出來ナイノデハナイカト云フ
心配ガアルノデアリマス、此法案ノ眞
心目的ヲ達スル其方法ハ、法案自體ニ
依ラズシテ、殆ド行政官廳ノ自由手腕
ニ依ツテ、如何ニ此法ヲ適用サレルカト
云フコトニ依テ、其目的ガ達セラレル、
即チ行政官ノ手心ニ依ル幅ガ非常ニ大
キイト考ヘテ居ル、即チ私共ノ考デハ、
我國ノ現在ノ製鐵所ノ中デ、此法案通
リノ適用ヲ致シマシタナラバ、幾ツノ
製鐵所ガ此法案ノ恩惠ニ浴スルカト考
ヘテ見マス、私ハ殆ド無カラウト思
フ、殊ニ參考書類トシテ御渡シ下サイ
マシタ銑鋼一貫主義ノ下ニ此恩惠ニ浴
スル會社ハ、僅ニ三ツデアアル、此三ツノ
内容ヲ見マス、極メテ貧弱ナモノデ
アル、之ヲ成ベク廣ク恩惠ニ浴セシム
ルト云フコトハ、一ニ行政官ノ手心ニ在
ルト云フコトニナルノデアリマス、左
様ナ事ガ私ノ大體ノ觀察デアリマス、
ソコデ問題トナルノハ、銑鋼一貫主義
ト云フモノハ、日本ノ今日ノ事情ニ合
ハナイ、成程各國ハ銑鋼一貫主義デ効
果ヲ現ハシテ居ルガ、我國製鐵事業ノ
現狀ハ、其理想ニハ遠イ、私共ハ一體銑
鐵ニ重キヲ置ク、或ハモウ一步進ミマ
スト銑石ニ重キヲ置ク、原料ニ重キヲ
置クト云フコトガ、實際製鐵事業發達
ノ骨子デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居

際トノ間ニ極メテ「マージン」ガ薄イ、
幅ガ極ク狭イノデアリマス、少シ事情
ガ變テ來ルト、獎勵ノ根本目的ヲ達ス
ルコトガ出來ナイノデハナイカト云フ
心配ガアルノデアリマス、此法案ノ眞
心目的ヲ達スル其方法ハ、法案自體ニ
依ラズシテ、殆ド行政官廳ノ自由手腕
ニ依ツテ、如何ニ此法ヲ適用サレルカト
云フコトニ依テ、其目的ガ達セラレル、
即チ行政官ノ手心ニ依ル幅ガ非常ニ大
キイト考ヘテ居ル、即チ私共ノ考デハ、
我國ノ現在ノ製鐵所ノ中デ、此法案通
リノ適用ヲ致シマシタナラバ、幾ツノ
製鐵所ガ此法案ノ恩惠ニ浴スルカト考
ヘテ見マス、私ハ殆ド無カラウト思
フ、殊ニ參考書類トシテ御渡シ下サイ
マシタ銑鋼一貫主義ノ下ニ此恩惠ニ浴
スル會社ハ、僅ニ三ツデアアル、此三ツノ
内容ヲ見マス、極メテ貧弱ナモノデ
アル、之ヲ成ベク廣ク恩惠ニ浴セシム
ルト云フコトハ、一ニ行政官ノ手心ニ在
ルト云フコトニナルノデアリマス、左
様ナ事ガ私ノ大體ノ觀察デアリマス、
ソコデ問題トナルノハ、銑鋼一貫主義
ト云フモノハ、日本ノ今日ノ事情ニ合
ハナイ、成程各國ハ銑鋼一貫主義デ効
果ヲ現ハシテ居ルガ、我國製鐵事業ノ
現狀ハ、其理想ニハ遠イ、私共ハ一體銑
鐵ニ重キヲ置ク、或ハモウ一步進ミマ
スト銑石ニ重キヲ置ク、原料ニ重キヲ
置クト云フコトガ、實際製鐵事業發達
ノ骨子デハナイカト云フ考ヲ持ツテ居

持ッテ居ルト云フコトヲ御示シテ願ヒ
 タイ、第二ニ既ニ日本ノ製鐵事業ノ現
 狀ハ、本案ヲ適用爲サル上ニ於テ餘リ
 ニ貧弱デアアル、不完全デアアル、之ヲ廣ク
 御適用ニナルトシマス、現在幾多ノ
 製鐵所ガ是カラ非常ナ事業ノ擴張ヲシ
 ナケレバナラヌ、或ハ設備ヲ完成シナ
 ケレバナラヌ、サウシナケレバ十分ノ
 補助ヲ得ラレナイト云フ結論ニナル、
 又政府ハソレヲ狙ッテ居ル、然ルニ今
 日資金不足、金利極メテ高イ世ノ中ニ、
 而モ獎勵ノ幅ガ極メテ狭イ此獎勵法ノ
 下ニ、各製鐵事業家ガ政府ノ期待スル
 ヤウナ設備ヲ是カラドシテ一殖ヤシテ
 行クトカ、或ハ立テ直シテ行クトカ云
 フコトニ付テハ、非常ナ困難ヲ感ジハ
 シナイカ、此程度ノ獎勵ノ範圍デハ、ソ
 レダケノ勇氣ヲ持ツ事業家ガ果シテア
 ルデアラウカト云フコトヲ私ハ疑フノ
 デス、其目的ヲ達スル爲ニハ、此際政
 府ハ進ンデ資金ヲ融通スル途ヲ講ゼラ
 レルトカ、設備ヲスル上ニ於ケル資金
 關係ニ於テ、特殊ノ御注意ヲ拂ハレマ
 シテ、其目的ヲ達スルコトガ甚ダ困難
 テアラウト思フノデアリマス、所ガ此
 資金關係ニ付テハ、法案自體ニ於テモ、
 又御説明ノ中ニモ、餘リ用意ノ拂ハレ
 テ居ルヤウナ點ノ御説明ヲ承ルコトガ
 出來ナカッタノデ、此際之ヲ御伺致シタ
 イ、先ヅ此二點ニ付キマシテ御答辯ヲ
 受ケタ上デ、更ニ私ハ申上ゲタイト思
 ヒマス

○野村政府委員 只今森君カラ御意見
 ノ發表ト、其外ニ大體方針ニ對スル御
 質問ガアッタノデアリマス、即チ鐵鑛ノ
 原料ニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテ居ル
 カ、ソレカラ又製鐵ニ必要ナル滿庵ニ
 對シテ、是亦ドウ云フ考ヲ持ッテ居ル
 カ、斯ウ云フ御質問ガ第一ニ出マシタ、
 是ハ御尤ナル御質問デアリマシテ、製
 鐵ノ原料ガ豊富デナケレバ、隨テ製鐵
 事業ノ發達ハ中々ムツカシイ、ソコデ
 我ガ内地ニ於テ此原料ガドウ云ウ關係
 ニナッテ居ルカト申シマス、森君モ御
 承知ノ通り、鐵鑛ノ原料ガ甚ダ乏シイ、
 又有リマシテモ「バーセンテ」ノ極
 ク少イモノデアリマシテ、言ウテ見レ
 バ品質ガ餘リ良クナイ、滿庵ニ至リマ
 シテモ同様甚ダ少イノデアリマス、之
 ニ對シテドウ云フ方法ヲ講ズルカト云
 フコトニ對シテハ、政府モ非常ニ注意
 致シテ居リマス、製鐵關係ニ於テ、原料
 調査ノ爲ニ色々ノ考慮ヲ拂ヒマシテ、
 一面ニハ原料ノ探鑛ニ付テ研究シ、又
 一面ニハ近時砂鐵ノ製法ガ發達致シマ
 シテ、果シテ是方普通ノ鐵ノ如ク效力
 ヲ發揮スルモノト致シマシタナラバ、
 此原料ハ御承知ノ通り東北方面ニハ非
 常ニ多イノデアリマス、是等ヲ攻究致
 シマシテ、果シテ普通ノ鐵ノ如キ效果
 ヲ舉ゲルト致シマシタナラバ、今迄ノ
 貧弱ナル鐵ノ立場ニ居ル我國モ、一躍
 シテ世界有數ナル鐵ノ原料產出國ニナ
 ルカモ知レマセヌ、是ハ一面ノ研究アリ

マスガ、森君御心配ノ通りニ、獨リ原料
 ニ對シテ探鑛シテ居ルノミナラズ、砂
 鐵ニ對シテモ、ドウシタナラバ良イ成
 績ヲ舉ゲルカト云フコトハ、是ハ豫算
 ニ計上シテ此試驗ヲシテ效績ヲ舉ゲル
 爲ニ、相當ナル豫算ノ協賛モ仰イダヤ
 ウナ次第デアリマス、窮スレバ通ズト
 カ、戰爭中ニ非常ニ鐵ノ高カッタ時分ニ
 ハ是ハ、詰リ生産ノ關係カラデアリマ
 セウガ、諸所探鑛致シマシテ、大正七年
 ノ如キハ相當ナル原石ヲ得ラ居ルヤウ
 ナ成績モアルノデアリマス、併ナガラ
 アノ時ニハ、輸入スル分量ガ少ナイノ
 ト、當時非常ニ價格ガ高カッタ關係上、
 生産的ニ探鑛シテ、原料ヲ得タヤウナ
 結果ヲ得タノデアラウト思ヒマス、併
 ナガラ此問題ハ大ニ考慮スベキ問題デ
 アリマスカラ、内地ニ於キマシテハ、今
 申シ上ゲマス通りニ砂鐵ノ製法、ソレ
 カラ探鑛是等ニ對シテ政府ニ於キマシ
 テハ其研究ヲ怠ラズヤッテ居ル次第デ
 アリマス、又外國ニ於キマシテハ、安イ
 豊富ナル原料ヲ得ル爲ニ、ソレノ研
 究シテ居リマス、是ハ森君モ昨日本會
 議ニ述ベラレマシタ通りニ、支那ノ楊
 子江方面ニ豊富ナル鑛石ガアルト云フ
 ヤウナ御話デアリマシタ、政府ニ於キ
 マシテモ、支那方面、南洋方面ニ對シテ
 成タケ鑛量ノ豊富ナル、サウシテ確實
 性ニ帶ビタル鑛石ヲ得ントシテ、ソレ
 研究申上ゲマス、第一

通リデ、御質問ノ御趣旨ハ政府モソレ
 ニ對シテ非常ニ考慮シテ、種々心配シ
 ツツ其實行ヲ期セントスルニ在ルノデ
 アリマス、ソレカラ第二ノ適用ノ範圍
 ヲ擴張シタラ宜イデハナイカ、此獎勵
 法ヲ今現實ニ出來テ居ル會社——或ハ
 工業者ト申シマスカ、製鐵業者ト申シ
 マスカ、此企業者ノヤッテ居ル仕事ニ
 適用シタナラバ、範圍ハ極ク僅カナモ
 ノデアナイカ、是ハ御尤デアリマス、併シ
 此事ハ中々困難ナ話デアリマシテ、既
 ニ算盤ガ取レナクテ止メテ居ル製鐵業
 者ヲシテ、ソレヲ起サシムルマデノ程
 度ニ獎勵スルト云フコトハ、是ハ中々
 少シ位ノ金デハ容易ニ運ビハ付キマセ
 ヌ、然ラバソレヲ拔キニシテ、新シク製
 鐵業者ヲ起サセル爲ニ獎勵シタラ宜イ
 デハナイカト云フ御意見モアルデアラ
 ウト思ヒマスガ、御承知ノ通り今日マ
 デ澤山ノ製鐵業者ハ在ッタノデアリマ
 ス、ソレガ段々衰微致シマシテ、遂ニ廢
 業ヲ致シ、約八十カラノ製鐵業者ガ僅
 ニ殘ッテ居ルモノハ四ツカ五ツニナッタ
 スウ云フ譯デ中ニハ跡形モ無イヤウナ
 モノモアルノデアリマス、ソレデ先ヅ
 今日ニ於キマシテハ、採算上損ハシテ
 モ、兎ニ角仕事ヲシテ居ル製鐵業者ニ
 保護ヲシテヤラセルト云フ程度ノ範圍
 ニ止メテ置カウト云フノデアリマス、
 希望ト致シマシテハモット——廣ク保
 護獎勵シタイ意思ハ持ッテ居リマスケ
 レドモ、如何センソレニ伴フ獎勵金等

ノ關係ニ於テ、餘儀ナイ次第ト御諒承
アリマス、第三ノ資金融通ノ問題デ
デモ當委員會デモ觸レテ居リマセヌ、
ト申シマスレバ、第二ノ御質問ノ延長
ト見テ宜シイト思ヒマス、獎勵金或ハ
其他ノソレトノ資金融通——私ノ調
ベタ所ニ依レバ、國ニ依テハ獎勵金、又
ハ低利ノ資本ヲ渡シテ居ル國モアルサ
ウデアリマスガ、今此御質問ニ對シマ
シテハ、マダ研究致シテ居リマセヌ、併
シ御尤ナ御尋デアリマスカラ、政府ト
致シマシテハ大ニ考慮スルコトニ致シ
マス

○森委員 私ノ質問ガ徹底シナカッタ
ノデ、甚ダ遺憾デアリマスガ、原料關係
ニ於テ率直ニ御尋致シマス、砂鐵ノ事
ヲ御研究ニナッテ居リ、其御研究ガ完成
シタ後ニハ、我國ガ非常ニ有利ナ立場
ニナルト云フコトハ同感デアリマス
ガ、是ハ兎ニ角將來ノモノデアリマス、
私ノ聽カントスル所ハ、現在實際ニヤッ
テ居ル製鐵事業ニ對シ、國家トシテ原
料供給關係ヲ如何ヤウニ按排スルカ、
政府ガ直接責任ノ衝ニ當ッテ居ルハ八幡
製鐵所ノ如キ、又ハ委任經營ヲシテ居
ラレマス東洋製鐵ノ如キ、其他ニ付テ、
商工大臣ガ或ハ共同買入手段ニ依テ按
排スルト云フヤウニ言ハレテ居リマス
ガ、要スルニ是ハ唯買フト云フ手續ヲ
比較の能率本位ニ組立テ直スト云フニ
過ギナイ、根本タル問題、何所カラドレ

ダケノ材料ヲ得テ、ドウ云フ計畫ノ下
ニ、今後數十年日本ノ製鐵業ノ基礎ヲ
造ルカ、之ヲ數字的ニ大體御示シテ願
ヒタイ、今迄ノ政府ニ於テモ、或ハ民間
ノ鐵關係事業家ニ於キマシテモ、此原
料ニ付テハ比較的ニ無頓着デアル、過
去ニ於テハ確ニ之ヲ示シテ居ル、ソレ
デ私ハ此御尋ヲ致スノデアリマス、一
例ヲ舉ゲテ見マス、政府ガ殆ド唯一
ノ原料鑛山トシテ居リマシタル支那ノ
大冶鐵山ノ如キ、數年前迄ハ無盡藏ト
唱ヘラレテ居ッタ、所ガ吾ミガ之ヲ研究
シテ見ルト、多ク見積ッテモ三千萬噸カ
四千萬噸位ノモノデナイカト思ッテ、數
年前屢政府ニ進言シタ、勿論之ハ現政
府ノ責任デハアリマセヌ、所ガ時ノ政
府ハ總テ之ヲ否定シテ頭ニ置カナイノ
ミナラズ、其大冶鐵山ヲ基礎ニシテ、日
本カラ莫大ナル資金ヲ支那ニ貸シテ、
サウシテ大キナ熔鑛爐ヲ築造シテ、其
熔鑛爐ガ出來タ時分ニ鐵山ヲ調ベテ見
ルト、案外其量ガ少カッタノデ非常ニ慌
テタト云フコトハ、是ハ僞ラザル事實
デアリマス、コンナ状態デハ、如何ニ工
場ノ發達ヲ企圖サレマシテモ、原料鑛
ガ不安デアッタナラバ、非常ニ危險ナモ
ノデアル、是ハ或ル程度マデ私共ノ安
心ノ行クヤウニ御説明ヲ願ヒタイノデ
アリマス

○中井製鐵所長官 只今ノ御尋ニ對シ
テハ、私御満足ナ御答ガ出來ナイカモ
知レマセヌカ、御承知ノ通り現在内地

ノ鐵ノ三分ノ二ヲ私ノ管理シテ居ル製
鐵所デヤッテ居リマス、ソレニ對ス
ル現在並ニ將來ノ原料鑛石ノ需給關係
ニ付テ申シマスレバ、現在ハ約鐵鑛石
ニ致シマシテ百萬噸ノ毎年ノ需要ガゴ
ザイマシテ、其六割五分ハ支那ノ揚子
江流域ニ於ケル鐵山ヨリ供給ヲ受ケテ
居リ、二割五分ハ南洋ノ「ジヨホール」
ヨリ供給ヲ受ケテ居リマス、残りノ約
一割ガ朝鮮ニ於ケル日本政府所有ノ鐵
山、又ハ民間ノ鐵山ヨリ供給ヲ受ケテ
居リマシテ、此數量ハ今後尙ホ數十年
續キ得ルヤウナ長期ノ契約ニ基イテ居
リマス、差當ッテノ現在ノ規模ノ有様
デ進メルニ付テハ、餘リ懸念ヲ持ッテ居
ナイノデアリマス、但シ八幡ノ製鐵所
ニ於キマシテモ、將來現在ノ規模ヲ擴
張致シマスル希望ヲ持ッテ居リマス、ソ
レカラ何日ドレダケニ増スカト云フコ
トハ、只今希望ニ過ギナイノデ、的確ニ
申上ゲルコトハ出來マセヌガ、其場合
ニ之ニ要スル原料ハ如何ニナルカト云
フコトガ、丁度御尋ノ事ニ觸レルト思
ヒマスガ、先ヅ今日マデ最モ能ク分ッテ
居リマスノハ、支那ノ揚子江流域ニ尙
ホ相當ノ鑛量ガアルト存ジテ居リマ
ス、尙ホ其外ニ御承知ノ通り朝鮮ニモ
マダ手ヲ着ケナイ鐵鑛ガ相當ニアリマ
スガ、是ハ今直ニ之ヲ採掘シテ算盤ガ
立ッカドウカト云フト、左様ノ見据ガ付
イテ居リマセヌ、尙ホ内地ニモ御承知
ノ通りアリマスガ、是モ採算上揚子江

流域ノモノト同ジ程度ニ採レルカドウ
カト云フコトニ付テハ、尙ホ攻究ヲ要
スルト思ヒマス、ソレカラ南洋方面ニ
於キマシテハ、量及質ニ於テ却テ揚子
江流域ノ鐵鑛ヨリモ良イモノガアルヤ
ウニ承知致シテ居リマス、ソレデ現ニ
只今ハ佛領印度ノ或ル場所ニ於テ、相
當ナ鑛量ノモノガアルト云フコトデ、
外務省ヨリ申シテ參ッテ居ルノガアリ
マシテ、ソレニ付テハ當業者モ大變希
望サレテ、近ク之ヲ調査ヲシヤウト云
フヤウナコトニ聞及ンデ居ルヤウニ承
知シテ居リマスガ、尙ホ其外ニ先刻參
與官ガ述ベラレマシタヤウナ砂鐵ノ事
モ、是モ餘リ私ハ遠キ將來デハナイノ
デハナイカト云フ位ニ研究ガ進ミアル
ト承知シテ居リマス、其外尙ホ茲ニ硫
化鐵鑛ヨリ硫酸肥料ヲ採リマシタ中、
硫酸ノ滓ニハ五十「パーセント」乃至六
十「パーセント」ノ鐵ヲ含ンデ居リマシ
テ、是ハ私ノ方デ一昨年來試驗ヲ致シ
マシタ結果ニ依リマス、原料トシテ
經濟的ニモ技術的ニ差支ナイガ、尤モ
此方ハ只今ノ所デハ多ク望メマセヌ
ガ、是モ將來ノ製鐵ノ原料トシテ見逃
スベカラザル一ツノ事柄デアルト存ズ
ルノデアリマス、要スルニ現在ニ於キ
マシテハ、製鐵所ト致シマシテハ、支那
ノ鑛石ニ最モ重キヲ置イテ居リマス、
尙ホ南洋ノ鑛石ニモ重キヲ置イテ居ル
ノデアリマスガ、將來擴張スル場合ニ
於

テ、一時非常ニ多量ニ所要スルト云フ場合ニハ兎モ角モトシテ、徐々ニ進シテ參リマスノニハ、甚シク困難ナ事ハ無イデハナイカト考ヘテ居リマス、之ニ直接關係ハアリマセヌガ、民間ノ方デモ只今ノ程度ノ銑鐵ノ製造ヲヤラレルノデ、徐々ニ擴張サレルト云フ場合ニハ、先ヅ以テ支那ノ方ハ楊子江筋ノ鐵礦ノ方ニ向ケラレテ居リマスガ、ソレト尙ホ進ンデ必要ナ場合ニハ、ドウシテモ南洋ノ方面ノ鐵礦モ今ヨリ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、昨年來私共モ一緒ニナリマシテ、製鐵業者ト種々協議ヲ致シマシタガ、其中ニハ是ハ誰デモ考ヘルノデアリマスガ、將來ノ製鐵業ノ爲ニハ、安心シテ原料ヲ得ルト云フコトガ最モ主ナル問題デアルト云フコトハ、誰モ考ヘテ居ルノデアリマス、其事ニ付テハ、場合ニ依テハ共同購入ヲシヤウト云フヤウナコトデ、新シク仕事ヲ始メヤウト云フ場合ニハ、少々ヅツ個々ノ人ガ原料ヲ得ルト云フコトハ、甚ダ困難デアリマスカラ、之ヲ共同シテ纏メテ原料ノ補足ニ努メルト云フコトデアレバ出來易イト云フコトヲ、頻リニ攻究致シテ居リマシタヤウナ次第デアリマスガ、只今精シイ數字ハ記憶致シマセヌケレドモ、之ヲ入レル方法等ニ付テハ、色々考慮ヲ要スルト思ヒマスガ、今後我國ノ製鐵業ヲ進メテ行キマスル上ニ於テ、漸次分量ヲ増スト云フコトニ付テハ、左程困難ヲ

感スル事ハ無イデハナイカト考ヘテ居リマスカラ、其點モ御參考マデニ申シテ置キマス、尙ホ滿庵ノ事ハ、是ハ實ハ鐵礦石以上ニ現在ノ狀態ヲ申シマス、供給ヲ受ケルニ困難ヲ致シテ居リマス、現在製鐵所デ毎年五萬噸ヅツ滿庵鐵石ヲ需要致シテ居ルノデアリマスカラ、其大部分ハ矢張支那ノ楊子江流域ヨリシテ、ソレカラ一部ハ南洋ノ「トレガ」ニ於テモ餘リ豐富デナイノデアリマスカラ、樂觀ヲ許サナイノデアリマス、併シ最近聞ク所ニ依ルト、從來私共ノ承知シナカタ方面ニ、滿庵ノ鐵量ヲ發見シタト云フコトデ、其方ハ是ヨリ調査ヲ致サウト思フテ居リマス、是ハ御承知ノ通り内地デモ餘リ纏ッテ居リマセヌガ、相當滿庵鐵石ガ在ルノデアリマス、之ニ付テハ今ノ所デハ運賃トカ費用ノ關係デ、私共ノ方デ海外ヨリ得テ居ルヨリモ幾ラカ高ク付キマスガ、是ハ海外ヨリ受ケルモノト同様ニ取レルヤウニ、只今考慮致シテ居リマスカラ、此方カラ多少ノ分量ヲ得ルコトハ、追々困難デナクナルヤウニ考ヘテ居リマス、有ルニハアリマスガ、何シロ纏ッテ居リマセヌノデ、割合ニ高ク付クコトヲ遺憾ト致シテ居リマス

○橋本委員 只今森君ノ原礦種ノ御問題ニ對シテノ長官ノ御辯明デアリマシタガ、同時ニ鐵ニ使フ「コトクス」ノ原料ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、長官ノ御説明ヲ簡單ニ伺ヒタイ
○中井製鐵所長官 橋本サンノ「コトクス」用ノ石炭ノコトニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ只今ノ所非常ニ餘力ガアルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、只今ノ現狀ヲ申上ゲルト、製鐵所デ毎年使ヒマスル「コトクス」用ノ炭ハ約百萬噸デアリマス、是ハ御承知ノ通り原料炭ニ配合炭ヲ混ゼテ「コトクス」ニ燒イテ居ルノデアリマスガ、此原料炭ノ全體ノ七割ノモノハ、内地ノ炭デ十分間ニ合ッテ居リマシテ、此點ニ付テハ少シモ心配ハゴザイマセヌ、配合致シマスル約三十萬ノ配合炭、是ハ今日ノ經過ヲ申シマス、一番初メニハ長崎ノ高島ノ炭ヲ主ニ使ッテ居リマシタ所ガ、ドウシテモ是ハ成分ノ關係ヨリ、固イ「コトクス」ガ出來ナイト云フコトデ困ッテ居リマス内ニ、支那ノ開平ノ炭ガ這入ルコトニナリマシテ、一時ハ兎ニ角開平ノ炭ヲ以テ充テ居リマシタ所ガ、是ダケデヤルト云フコトハ、種々ノ場合ニ故障ヲ生ジマスノデ、之ニ付テハドウ炭ヲ使ッたら宜シイカト云フコトヲ絶エズ色々ト研究シテ居リマス、最近ニハ長崎縣ノ松浦郡ニ製鐵所ガ炭坑ヲ買ヒマシテ、其炭及其附近ノ民營ノ炭ヲ買ッテ居リマスガ、是ハ開平ノ炭ト殆ド變ラナイ效用ヲ爲シテ居リマス、尤モ是ハ餘リ多ク採掘ノ出來ル狀態ニナッテ居ラナイノデ、只今製鐵所ノ鹿町ノ鐵區ノ採掘ニ依テ七萬噸ト民間カラ五

萬噸バカリ買ッテ居リマス、其他只今使ッテ居ルノデ一番宜シイノハ、滿洲本溪湖ノ炭ガ一番宜シイ、是ハ數年前カラ少シヅツ買入レテ居リマス、其他ニモ博山デアルトカ、大連方面カラモ買入レテ居リマスガ、尙ホ成ベク内地ノ炭モ「コトクス」ニ使ヒタイト云フノデ、御承知ノ通り矢張高島ノ炭、三池ノ炭等ハ「コトクス」ニナリマスノデ、之ヲ色々ニ配合致シマシテ、昨年アタリ開平ノ炭ノ供給ガ非常ニ困難デアリマシタカラ、其場合ニ三種位交ゼテ、高島ノ炭、三池ノ炭等ヲ使ッテ見マシタガ、是モドウニカ鑄鐵爐ニ使フノニ使ヘマス、尙ホ目下眼ニ着イテ居リマスノハ、北樺太ノ炭ハ大分製鐵用トシテ「コトクス」ニ適スルヤウデアリマスガ、是ハ併シ十分ノ分拆ハ私共ノ方デハシテ居リマセヌガ、他ノ方デ分拆サレタノハ、皆適當ナ物ト私共ノ方ノ技術者ハ認メテ居リマス、此方デ相當出炭ガアルヤウデアリマスカラ、是モ私ノ方ヘ供給ヲ受ケル一ツノモノデハナイカト考ヘテ居リマス

○森委員 只今ノ「コトクス」ノ點モ色々御伺ヒ致シタイト思フテ居ッテ點デアリマシテ、只今橋本君ノ御質問テ好都合デゴザイマシタ、大體只今長官ノ御説明ハ御尤ト考ヘマス、茲デ私ガ結論ニ入りマスノハ、兎ニ角八幡製鐵所ダケデモ、全鐵量ノ六割五分ト云フモノハ長江沿岸ニ於ケル原鐵ニ依賴シテ居

ルノデアリマス、滿庵ノ如キハ餘程困難ナ状態デ、是ハ決シテ看過スベカラサル重大事件ト私ハ思フテ居ルノデアリマス、所ガ支那カラ受ケル所ノ原料ガ、成程現在ハ無事ニ這入ッテ居リマスルケレドモ、最近日露戰爭以後ニ於ケル日本ノ政府ガ支那ニ對スル注意ヲ怠ッテ居ッテ結果トシテ、先日本會議デモ申シマシタ通り、殆ド支那ガ國有主義ノ下ニ禁止的態度デ進ンデ來テ居ルノデアリマス、其結果支那ノ鐵鑛山ノ開發ト云フコトガ、最モ不便ニナッテ來タノデアリマス、ソレカラ又日本ノ政府ニ於テハ、大冶鐵山ト關係ヲ結ビマス當時ハ、其當時日本デ勢力家ト見做サレテ居ッテ政治家伊藤博文公ノ如キハ、自ラ當時旅行困難デアッタ漢口マデ行キマシテ、サウシテ大冶鐵山トノ契約ヲ取決メラレタト云フ大キナ手數ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、過去ニソレダケ重大ナ歴史ガアリマス、然ルニ最近政府ハ之ニ餘リ重キヲ置イテ居ラナイ、隨テ支那ニ於ケル鐵山ノ如キハ、自國政府ノ制肘ヲ受ケ、資金供給ノ困難ト云フ點カラ、皆經營困難ニ陥ッテ居ル、實際鐵石ノ需要者ハ日本ノ各製鐵業者デアリマスカラ、輸出ハ致シテ居リマスガ、其實全ク氣息奄々タルモノデアル、之ヲ將來放任シテ置ケバ、無事ニ末永ク鑛石ガ來ルデアラウカト云フ點ニ付テハ安心ガ出來ナイ、ソレノ論ヨリ證據ハ大冶鑛山デアリマシテ、大

冶鑛山ニ對シ、日本ハ巨額ノ資金ヲ投ジテ、大冶鑛山ノ銑鐵原料トシテ日本ハ使ッテ居リマスガ、其大冶ノ山ノ原料炭、萍鄉炭ガ殆ド共産的ニ工夫ノ經營參加ト云フ變態状態ヲ呈シテ居ル爲メ、殆ド「コークス」ガ出來テ來ナイ、其結果大冶鑛山關係ノ鑛鑛爐ハ、安イ日本トノ契約銑鐵ノ供給ガ契約通り行カナイ、此形勢ガ懸テハ鑛石ノ積出困難ニ陥ルト云フ虞ガアル、斯ウ云フ形勢ハ總テノ他ノ山ニモ感染スルモノト思フ、之ニハ又正シイ理由ガアル、ソレデ之ヲ約言スレバ、政治的拘束ヲ受ケタコトガ一つ、ソレカラ此鐵山ニ重大ナ關係ヲ持ッテ居ル日本ノ政府或ハ營業者ガ、資金關係ニ於テ是ハ非常ナ援助ヲ與ヘヌコトニナリハシナイカ、此二ツノ困難カラ、經營困難ニ陥ッテ居ル有様デアル、翻テ内地ヲ見レバ、矢張朝鮮銀行或ハ臺灣銀行、或ハ對支借款ノ與業銀行ニ對シ、五千萬圓、一億圓トドン政府ガ補助ヲスル、然ルニ製鐵ノ如キ非常ニ困難ナモノニ補助ヲシナイト云フノハ、緩急輕重ヲ誤ッテ居ルノデアル、ソレデアリマスカラ、此二ツノ點ニ付テ私ハ機會アル毎ニ政府御關係ノ方ノ注意ヲ促シテ居ルノデアリマス、ドウ云フモノカ外務省ニ於テモ、亦大藏當局ニ於テモ、餘リ之ニ重キヲ置カレナイ、是ハ決シテ一黨一派ノ問題デハナイ、事務的ニ之ヲ考ヘテモ、日本國家ノ重大ナ問題デアリマスカラ、此機

會ニ政府委員方ハ、外務省ナリ、或ハ大藏省ナリニ特別ノ注意ヲ喚起セラレマシテ、國論トシテ支那ノ鐵山ノ經營、又支那ノ鑛石ヲ無事ニ日本ノ製鐵關係者ニ供給サレル途ヲ開ク爲ニ補助モシ、又資金關係ニ於テモ十分融通ノ途ヲ開カレルヤウニ、一ツ御盡力アラシコトヲ希望的ニ申シテ置キマス、ソレニ付テハ御答ヲ得テモ致方ナイノデアリマス、唯私ノ申上ゲタ所ハ動スベカラザルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質問ハ此程度ニ止メマス

○永田委員 大藏省ノ政府委員ト商工省ノ參與官ガ居ラレマスカラ、此際政府ノ御意嚮ヲ承リタイ、先般關稅委員會ニ於テ大體承ッタコトデアリマスガ、當時ハ懇談デアリ、又此案ガ出ナイ時デアリマシタカラ、公開デハ困ルト云フノデ、筆記ニモ留メルコトナシニ終ッヲ得タイト思フノデアリマス、第一ハ、日本ノ製鐵自給策ヲ圖ルニハ、滿洲ニ在ル本溪湖、鞍山製鐵所ヲ除外スルコトハ出來ナイト思フガドウカト云フコトヲ御尋ネシタ所ガ、之ニ對シテ、其通リデアル、本溪湖並ニ鞍山ノ製鐵所ヲ除外シテハ、日本ノ鐵ノ自給策ハ立タナイ、政府ニ於テハ其點ヲ同一ニ見テ居ルト云フ御返答デアッタ、ソコデ第二ノ質問ト致シマシテハ、之ヲ全ク内地ト同一ニ見テ居ラレルナラバ、ソレニ對シテハドウ云フ方法ヲ御執リニナル

御考カト申シマシタ所ガ、ソレハハッキリ申上ゲル譯ニハ行カヌガ、大體ニ於テ内地ノ製鐵業者ガ立行クヤウニシタ以上ハ、矢張本溪湖並ニ鞍山ノ製鐵所モ立行クヤウニシナケレバナラヌ、唯ソレニ付テ困難ナノハ、滿洲ノ事ハ法律關係ガ違フ、日本ノ法律ヲ適用スルコトハ出來ナイ、別ナ法律デヤル、併シ内容ニ於テハ製鐵自給策ノ範圍ニ入ルモノト思ウテ居ルカラ、ソレニ適當スル方法ヲ執ルト云フ御話デアッタノデアリマス、此點ニ付キマシテ野村參與官ノ御答辯ヲ承リタイ

○野村政府委員 永田君ノ御質問ニ對シテハ、先達關稅委員會ニ於テ大臣カラ答辯致シマシタ通りデアリマシテ、本溪湖、鞍山ノ銑鐵製造ニ關シマシテ、内地ト同様ナル獎勵ニ浴セシムルト云フコトハ、其趣旨ニ於テハ同ジ事デアル、併ナガラ兎モ角外國デアリマスカラ、法律ノ及ブ關係ニ於キマシテモ、内地ダケノ法律ノ關係トハ違ッタ關係ヲ持ツノデアリマス、例ヘテ申シマス、ト、國外ノ滿洲ニ於ケル製鐵業者ニ獎勵ヲシタ、其獎勵ノ方法ノ遣リ口ニ依テハ、他ノ外國ガ最惠國條款ノ恩典ニ浴スルヤウナ場合モ想像サレヌデハナイノデアリマス、又一面向フカラ來ル銑鐵ニ對シテ、現在ノ二圓以上ニ一噸ニ對シテ六圓ナラ六圓ノ關稅ヲ加ヘルモノト致シマシタナラバ、ソレダケ高ク向フカラ鐵ガ這入ルト云フコトニナルト、

向フノ銑鐵業者ガソレダケ重イ負擔ヲ負ハナケレバナラヌト云フ採算上ノ結論ニ陷ルノデアリマスガ、銑鐵ニ對シテハ關稅據置ト云フコトニナリマス爲ニ、ソレダケノ負擔ヲ免レ得ル、是モ一ツノ見方デアリマスガ、ソレナラバ獎勵ノ具體的方法ヲドウスルカト申シマス、何分事外國ニ關スル關係ガアリマスカラ、決意ニ於キマシテハ、内地ト同一ナル獎勵ノ目的ヲ達成セシメルト云フノデアリマスケレドモ、其方法ニ付キマシテハ、攻究中ニ屬シテ居ル次第デアリマス、ソレナラバ先達關稅委員會ガ聽イタコトト同ジ事ニナルデハナイカト云フ御叱リヲ受ケルカ知レマセヌガ、實ノ所ハ内地ト違ヒマシテ、外國ニ關スル事デスカラ、ドウカ政府ノ決意ノ點ニ於テ御了解ヲ下サイマシテ其方法ニ付キマシテハ、事情サウ云フ次第デアリマスカラ、是レ以上申上ゲルト云フコトハ、一寸困ル次第デアリマス、商工省トシテハ是ダケ申シテ置キマス

○永田委員 只今野村君ノ御話デハ、關稅ヲ増徴スレバ、ソレダケ滿洲ノ銑鐵ガ内地ニ這入ルノガ困難ニナル、然ルニ關稅ヲ掛ケナカッタラ、ソレダケ損ガ少イデヤナイカ、謂ハバサウ云フ譯ダカラ、深く突込デ助ケテヤラヌデモ宜イデヤナイカト云フヤウニ受取レル、是ハ大變ナ考違ヒデヤナイカ、尤モサウ云フ御意思デハナイカモ知リマ

セヌガ、私ニハサウ聞エル、關稅ヲ掛ケタ場合ニハ、内地ノ鐵ガソレダケ高クナル故ニ向フカラ、持ッテ來テモ高ク賣レル、同ジ事デアアル、然ルニ補助ヲスルコトニナリマス、關稅ト反對ニ補助金額ダケハ製造ノ價格ハ下ルコトニナル、補助シタダケ下ルト云フノデハナイガ、兎ニ角下ル、故ニ是ハ本溪湖並ニ鞍山製鐵所カラ見レバ、關稅ヲ掛ケタ場合ニ於テモ、又補助金ヲ出シタ場合ニ於テモ、同ジ事ニナル、此點ハ能ク御了承ヲ御願シテ置キタイト思フ

○永田委員 諄イヤウブアリマスガ、

只今商工省ノ御意見ハ、大藏省ノ三木君ノ同意ヲ表セラレテ居ルノデアリマスガ、

○三木政府委員 今野村君ノ御話ノ通り、今度ノ製鐵助成ノ結果、滿洲ニ對シテ何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト云フコトダケハ、十分諒解シテ居ラス、其方法程度ハ未決デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○永田委員 商工省、大藏省ノ當局カラ致シマシテ、鞍山站並ニ本溪湖ノ製鐵ノ内地ノ製鐵ト同程度ノ保護ヲヤル、其事ハ決定シテ居ルガ、方法ニ付テハ研究中デアルト云フコトデアリマシテ、大體ニ於テ私ハ満足致ス者デアリマスガ、併シ前提ニ於テ日本ノ鐵ノ自給自足ガ基礎條件ノ一ツトナッテ居リマス以上ハ、一方内地ニ於ケルモノハ無論、先程野村政府委員ヨリ御話ノ通り、命令ノ内容迄モ大體ニ於テ極ッテ居ル、第一段ハ六圓、第二段ハ五圓、銑鐵専門ノモノニハ二圓ト、ハッキリ極ッテ居リマス、然ル以上ハ若シ其範圍ノ内ニ置カレテ居ル日本ニ特殊ノ關係ノアル兩製鐵所ニ對スル助成策ガ、何等今日具體的ニナッテ居ラナイト云フコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、先程森君カラ御話ノ如ク、漢治萍大治ニ對スル日本ノ色ミナ關係モ、隨分苦心慘憺ヲシテ得タ所ノ今日迄ノ經過ガアルノデアリマス、本溪湖ノ如キモ大倉組ノ仕事デアルト一口ニ言ッテ居リ

マスガ、決シテサウデナイ、是ハ支那ノ政府ト日本ノ政府トノ條約ノ下ニ出來タコトデ、個人ノ經營ヲ豫想シタノデナク、大倉組ニヤラセルノガ適當デアラウト云フノデヤラシタノデ、矢張非常ニ苦心ノ結果得タモノデアアル、滿鐵モ亦サウデアリマス、サウシテ一方ニ本溪湖ハ合辦デアアル、鞍山站モ、サウ言ヘバ合辦デアアル、鞍山站ノ鑛石ノ供給ト云フコトハ、日支合辦ノ會社ガ鑛石ヲ取ルト云フ名目ニナッテ居ル、故ニ本溪湖ニシテモ、鞍山站ニシテモ、支那側ニ供ヘタ金ハ營業稅見タヤウナモノデ決シテ是ガ利益ノ配當デナク、資本的ノ合辦ト云フモノデハナイ、唯サウ云フ形ニシナケレバ世間體ガ惡イ、支那ガ言フコトヲ聽カナイカ、サウヤッテ居ルノデ、實際ニ於テハ、惡イ言葉デ言ヘバ、誑マクラカシテ置イテ、小遣錢ヲヤルト云フ程度ノモノデアアル、斯様ナ次第デ、全ク日本ノ鐵ノ自給策ヲ初メカラ基調トシテ出發シテ居ルノデア

ル、此二ツノ製鐵事業ニ對シテ、而モ其供給ノ能力ハ本年ニ於テモ、内地ニ寄越スモノハ二十萬噸モアリセマウト思ヒマスガ、來年再來年ハ三十萬噸以上ニモナリマセウ、其大キナ分量ヲ有スルモノニ對シテ、内地ハ大體極マッタガ向フノ方ハ是カラ研究スルト云フコトデハ、片手落ちノヤウニモ思フ、餘リ理窟ヲ申シテ皆サンニ御迷惑デアリマスガ、海外發展ヲシナケレバナラヌトヤ

カマシク言ッテ居ル際、モウ少シ眞劍ニ御考ヲ願ヒタイ、サウデナケレバ幾分交付金ヲヤツテモ仕方ガナイ、又一方カラ言ハバ愚痴ノヤウデアリマスガ、滿鐵ハ大キナ金持デアルカラ、製鐵デ少シ計リ損ヲシテモ、他デ儲ケルカラ良イデハナイカト云フコトヲ言ッテ居ル、又大倉組モサウデアルト言フ、如何ニモ損ヲシテモ、他デ補ハ附キマセウガ、サウハ往カナイ、儲ケルトカ儲ケナイトカ云フコトデナイ、製鐵事業ヲシナケレバナラスト云フコトカラ出發シテ居ルノデアリマスカラ、幾ラ儲ケヤウトシテモ、儲ッタラオ前ノ會社ニハヤレナイト云フ譯ニハ往カナイ、此處ヲ御考ヘ下サルナラバ、私ハ此兩製鐵所ニ對スル具體的ノ案ヲ御決メナサツテ、吾ヲシテ安心セシメラルルヤウニ願ヒタイ、而シテ更ニ進ミマシテ、此方法ハドウ云フ風ナ形式デアル御考デアリマスカ、内容ハ只今ハ分ラナイト致シマシテモ、法律關係ニ於テヤル御考デアルカ、或ハ又他ノ契約ト云フヤウナ方式デ、豫算外國庫ノ負擔ト云フヤウナ方法デ御ヤリニナルノデアリマスガ、其邊ニ付テ御研究ガアリマスナラバ承リタイノデアリマス、私ヲシテ言ハシメラレマスレバ、一番良イ方法ハ、滿鐵トシテハ年々一千萬圓ニ近イ政府ニ對スル配當ヲシテ居リマス、其外ニ百何十萬圓カ英國公債ノ肩代リトシテ出シテ居ル、本年度ノモノガ計算ヲシテ大

藏省ノ收入ニナツテ居リマス、故ニ之ヲ差引ヲシテ戴ケバ、體裁良ク濟ムノデアリマス、現ニ向フカラサウ云フ差引計算モヤツテ居ルノデアリマス、故ニ先般商工大臣ノ御話デハ、十五年度ハマダ決ラヌガ、十六年度カラハ確立シタイ積リダト云フ御話デアリマシタガ、其十五年度ノ分ラ十六年度ニ貫ッテモ宜イト思フ、ドウセ十五年度ノ配當金ヲ十六年度ノ政府ノ收入ニ持ッテ來ルノデアリマスカラ、其十六年度ニ這入ルモノヲ返シテ貰ヘバ、結局十五年度カラ補助サレタ形ニナル、政府ノ豫算ノ上ニハ、滿鐵ノ十五年度ノ收入ト云フモノハ豫算ニ這入ッテ居ラヌノデアリマスカラ、是ハ都合好ク行クダラウト思フ、故ニ是等ノ點ニ付キマシテ、速ニ一ツ適當ナル御處置ヲ執ッテ戴キタイ、斯様ニ切ニ希望スル次第デアリマ

ス
○野村政府委員 只今永田君ノ御意見ニ對シマシテハ、深ク考慮致シマス、ソレカラ森君ノ先程ノ原石ノ御話、大體ノ方針ニ對シテハ、政府ニ於キマシテモ矢張是等ノ國策トシテ最モ重要ナル事ト信ジマスカラ、是亦深ク考慮致シマス
○戸澤委員 永田君ノ滿洲製鐵業ニ對スル助成方法ニ關スル御尋ニ對シテ、政府委員ノ御説明ガ極メテ婉曲デ、吾等ニ少シ分リ兼ヌル點ガアルノデ、斯ウ言ッテ承ッテ置キタイノデス、要スル

ニ内地同様ノ助成ヲシヤウト云フ決心ハ政府ニツイテ居ル、併シ其方法手段ニ付テハ、外國ト云フ關係モアルシ、隨テ内地ノ法律ヲ直接適用モ出來ナイ、又條約上ノ關係モアルカラ、適當ナ方法ヲ見出サナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、其最後ノ結論トシテハ、内地同様ノ程度ニ於テ、大正十六年度カラ助成ニ關スル的確ナル方法ヲ立テヤウト云フ御決心ガアルト云フコトニ承ッテ宜シイノデスナ
○三木政府委員 只今ノ戸澤君ノ御質問、寔ニ御尤デゴザイマスガ、内地同様ノ程度ト云フコトハ、ドウ云フ意味デ言ハレタノカ知レマセヌガ、内地ノ鐵ノ助成ハ、野村君カ誰カ言ハレタ、所謂「ホットメタルシステム」ト云フヤツヲ基礎ニシテ、助成ノ方法ヲ立テテ居ル、滿洲ノ鐵工業ニ對スル何等カノ方法ヲ講ズルト云フコトハ、此基礎ノ上ニハ同ジヤウニヤル譯ニハ行キマスマイ、隨テ同一ナル程度ニ於テト云フ意味ガ、同ジヤウニ何トカ保護ヲシナケレバナラヌト云フ意味ナラバ、其通りデ宜シウゴザイマスガ、同ジ程度ト云ウテ、程度ヲキチット切ッテ、何等ノ差別ナキ待遇ヲト云フ意味ナラバ、ソコニハ多少ノ差異ガアルヤウニ思ヒマス、隨テ其手段方法ハ目下考慮中デアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタ、同時ニ程度モ内地ト一分一厘變ラナイ程度ト云フナラバ、程度ニ付テモ考慮中ト申上ゲ

ルヨリ仕方ガナイト思ヒマス
○戸澤委員 其通りデ宜シウゴザイマス
○永田委員 私、三木サンノ今ノ御話ニ付テ一寸意外ニ思フ、ソレハ關稅委員會カラ此委員會ニ引續イテノ商工大臣ノ御説明モ、吾々モ洵ニ婉曲ニ聽イテ居ル、只今深ク突込ムコトハ、ドウモ政府ノ御趣意デナイヤウダカラ、婉曲ニ聽イテ居ルノデアリマス、御列席ノ諸君モ皆サウデアリマスガ、三木サンニハ「ホットメタルシステム」ヲ基調トシテト堅ク仰シヤツテ居リマスガ、ソレハ委員會ノ空氣ト相容レヌヤウニナツテ居ル、關稅委員會以來吾々ノ頭ニ映ジテ居ル空氣ハ、ソレハ名前ダケデ、ソレヲ基調トスル意味ハナイノデ、サウ云フ空氣ノ中ニ今日マデ來テ居ル、而シテ決シテ御答メ申シタリキツイコトヲ言フノデハナイガ、今迄ノ氣分ヲ一寸破ラレルヤウナ氣ガスル、單ニ「ホットメタルシステム」ヲ完成シヤウト云フコトト致シマス、是ハ餘程皆ノ考トハ違ッテ來ル、ソレハ單ニ名前ヲ藉リルノデ、關稅ニ依ル政策ガ執レナイ、何カ外國トノ關係ノ良イ方法ハナイカト云フ結果、段々考ヘテ此處ニ至ッタノダ、ソレハ名前ダケ、實質ニ於テハ關稅ヲ掛ケタト同ジヤウナ成績ヲ擧ゲタイ、併シソレガ餘リ露骨ニナツテハ困ルカラ、成ベク物價ヲ下ゲヤウト云フ言葉ヲ以テ行クト云フヤウニ、吾々ノ頭ニ

這入ッテ居ル、今ノ鞍山、竝ニ本溪湖ノ如キモ、向フニハ製鋼設備ガ無イ、故ニ「ホットメタルシテム」ニ合ハナイカラ、サウ云フモノニ對スル考方ハ、今ノ内地ノ製鐵ニ對スル考トハ自ラ違ッテ來ルト云フコトニナリマス、大分吾ノ考ト違ッテ來ル、故ニ其點ニ付テ餘リハッキリデナクテ宜シウゴザイマスタ、モウ一應簡單ニ御話ヲ願ヒタイ

○三木政府委員 私ノ申上ゲタノハ、内地ト一分一厘違ハスト云フ助成ヲスルト云フ意味ニ御取リニナルト、内地ノ助成ハ「ホットメタルシテム」ヲ基調ニシテ居ルノデアアルカラ、其通り適用シヤウトシテモ、恐ラクハ出來マスマイ、隨テ同ジヤウナ程度ト云フ意味ガ、一分一厘違ハヌヤウナ助成ヲスル意味ト了解シテ宜イカト言ハレタナラバ、ソレハサウデハナイト云フノデ申上ゲタノデアリマス

○永田委員 率ノ方ヲ問題ニシテデアリマスナ

○森委員 三木君ノ御言葉デハ、吾々了解ガ益困難ニナル、私共永田君ト恐ラクハ同一意味ダラウト思フノデスガ、「ホットメタルシSTEM」ト云フノハ唯理想デアアル、是ガ今日ノ所デハ、製鐵事業ノ發達ヲ期スルニハ、一番良イダラウト云フコトヲ當局ガ考ヘラレテ、此點ニ成タケ進メタイト云フ希望デアアル、嘗テ商工大臣ハ關稅委員會デ斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレル、法ノ形式カ

ラ言ヘバ鋼ヲ獎勵スルノデアアル、併ナガラ銑鐵ガ根柢ニナルノデアアルカラ、結局銑鐵ヲ獎勵スルノデアアルト言ッテ居ラレル、唯種々ナル關係ニ於テ、是ガ若シ關稅引上デ簡單ニヤレルナラバ、恐ラクハコンナ廻リ諄イ事ハ御ヤリニナラナカッタラウト思フ、併ナガラ種々ナ出來ナイ事情ガアッテ、斯ウ云フ方法ヲ御執リニナル、假ニ一步ヲ讓ッテ「ホットメタルシSTEM」ヲ理想トセラレテモ、假ニ滿洲デ滿鐵ガ鞍山站ニ於テ製鋼事業マデモ完成サレレバ、矢張同一補助ヲサレルノガ當リ前ト思フ、同様ニ鋼ニ行カナイニシマシテモ、銑鐵ダケニシマシテモ、矢張内地同様ノ補助ヲ御與ヘニナルコトハ、私ハ寧ロ當リ前デハナイカト思フ、是ガ所謂勅令ニ依テ六圓、五圓、三圓ト云フ數字ガ茲ニ明ニナッテ居レバ、其目的物ハ異ッテ居テモ、其數字ニ等シイモノヲ、矢張滿洲ニ於テモ同様ノ數字ノ金額ヲ助成スルト云フコトガ、當然ノヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、恐ラク永田君ノ御意思モ斯様デアラウト私ハ思ヒマス、此點ヲ一ツ確メテ置キタイ、是ハ非常ニ「デリケート」ナ問題デ、後ニ關係ノアル問題デアリマスカラ、相願クバ一ツ主務大臣ノ御臨席ヲ願ッテ、御言明ヲ願ッテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○三木政府委員 私ノ申上ゲタノハ、矢張所謂「ホットメタルシSTEM」ト云フモノヲ基調ニシテ、製鐵業ノ助成

案ト云フモノガ出來タノデ、其效果ガ銑鐵ノ助成ニナルカナラヌカト云フコトニ付テ、私ハ申上ゲテ居ルノデハナイ、今ノ助成法ノ基礎ガ此處ニ置イテ居ルト云フノデアアル、ソレカラ滿洲ノ銑鐵ヲ保護シナケレバナラヌト云フノハ、現在ノ狀態ニ於テハ、向フノ銑鐵ヲ此方ヘ持ッテ來テ、此方ノ製鐵業者ニ供給スルト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルノダカラ、此助成法ノ基調ヲ其儘滿洲ノ銑鐵業者ニ持ッテ行ッテ、適用シテヤラウト云フテモ、實際ハ無理デハナカラウカ、目的ハ滿洲ノ銑鐵業者ヲ保護スルヤウニ、何トカ方法ヲ講ズル必要ガアルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレニ付テノ方法ハ、目下政府デ攻究シテ居ルト申上ゲタノデ、是ハ私ノ言方ガ足りナイノカ、御聽達ガアルノカ知レマセヌガ、其邊ノ事ハトチラデモ宜イノデアリマス、サウ云フ風ニ御了解願ッタラ宜シウゴザイマス、ソレカラ此問題ニ付テ森君ガ主務大臣ニ出席ヲシテ言明ヲ求メタイト云フノハ、私ハ洵ニ御尤ト思ヒマス

○森委員 主務大臣御臨席ノ場合ニ申上ゲル方ガ宜イカモ知レマセヌガ、三木君ノ只今ノ御答辯デ、又新シク吾々ハ惑フノデアリマス、只今ノ御話デハ、滿洲ノ鐵ヲ獎勵スル其趣旨ハ、日本内地ニ銑鐵ヲ供給サスト云フ意味ニ於テ之ヲ獎勵スルノダト云フ風ニ御答辯ニナッタヤウニ思フ私共ハサウデハナイ、

單ニ滿洲ダケモ、製鐵事業ガ發達スル場合ハ之ヲ獎勵サレルト云フノガ、政府ノ御方針デハナイカト思ヒマス、現ニ滿洲ニ於テハ、滿鐵ノ如キハ、製鋼所マデモ計畫シテ居ルノミナラズ、一歩進ンデ色々ナ「メタル」マデモヤッテ居ル、例レバ「ガルバー」ナイズドアイヲ「」ノ如キモ獎勵シテ居ル、現ニ著手ニモナッテ居ルモノガアル、斯ウ云フモノモ助成シ獎勵シテ行カレルト云フコトガ必要デアアル、唯場所ガ違フトカ、習慣ガ違フ爲ニ、現ハス法律ノ形式ナリ、手續ヲ異ニサレルト云フ違ヒダケト私共ハ了解シテ居ッタガ、只今三木參與官ノ御説明ニ依ルト、從來私共ノ承知シテ居ルコトト餘程違フ、是ハ私ガ誤リデアアルカ、或ハ三木參與官ガ誤デアアルカハ存ジマセヌガ、要スルニ政府ハ何處ヘ狙ヒヲ付ケテ居ラレルカ、之ヲ明ニシテ戴キタイ

○戶澤委員 此問題ニ付テハ、商工大臣ガ見ユルヤウデアリマスカラ、其上デ意見ヲ交換シタイト思ヒマス

○金光委員 私ガ伺タイト思フ點ハ、丁度今問題ニナッテ居リマス所ニ多少觸レルカト思ヒマス、此問題ハ永田君其他ノ應答ヲ拜聽致シマス、議員側ノ方デハ關稅ノ保護ガ足りナイカラ、此獎勵法ニ依テ保護獎勵シヤウト考ヘテ居ルガ、政府ハ成ベクサウ云フ風ニ拵ヘタクナイト云フヤウナ事情ガアルヤウニ窺ハレルノデアリマス、此獎勵

法ノ内容ヲ見マスレバ、關稅ノ保護ノ不十分ナルガ故ニ此法ガ出來タノデア
ル、斯ウ云フ趣旨ガ含マレテ居ルト云
フコトハ爭ハレナイノデアリマス、或
ハ此獎勵法ノ立案ノ趣旨ガ、全部ガサ
ウデナクテモ、一部分含マレテ居ルト
云フコトハ御認メニナラレマスカ

○野村政府委員 金光君ノ御質問ハ、
此獎勵法ハ製鐵ヲ保護スルノデア
ルガ、其中ニ關稅ニ依テ保護サルベキ點
ヲモ包含サレタモノデアアルカ、斯ウ云
フ御質問ノヤウニ承リマシタ、是ハ先
程申上ゲマシタ通りニ、此法案ハ銑鋼
一貫主義デアアル、即チ各國ノ事績ニ鑑
ミマスト云フト銑鐵ノ液體ヲ直ニ鋼鐵
ニ仕上ゲル、サウスレバ生産費ヲ省イ
テ、事業ニ於テハ便利デアアル、發達ノ爲
ニ非常ニ宜シイノデ、此主義ノ下ニ本
案ガ出來マシタノデアリマス、サウシ
テ繰返シテ申シマスガ、獨逸ノ如キハ
全ク此主義ノ下ニ、遂ニ立派ナル鐵ノ
製作ノ結果ヲ得タト云フコトデアリマ
ス、是ガ主タル目的デアリマス、ソレデ
其目的ヲ達シマスレバ、隨テ需要者ニ
對シテ便利モ與ヘルデアリマセウ
シ、又鐵ノ同一種類ノ品物トノ間ノ競
爭ニ對シテモ利便ヲ與ヘルデアリマ
セウシ、或ハ其結果トシテ自然關稅ノ
調和ヲ得ルヤウナ結果ヲ得ルヤウナコ
トガ、自然ノ結果トシテ、其利便モ得ル
コトガアルダラウト思ヒマス、要スル
ニ本案ハ銑鋼一貫主義ガ目的デアリマ

シテ、其效果カラ申シマシタナラバ、關
稅ニ對スル調和劑ニモナルダラウト思
ヒマス、又需要者ニ對スル調和劑ニモ
ナルダラウト思ヒマス、有ユル方面ニ
對スル效果ガ發現サルベキモノダラ
ウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○金光委員 私ハマダ新法ト舊法トノ
比較對照モ十分ニ致シテ居リマセヌノ
デ少シ御尋致シマスコトガ迂遠デア
ルカト考ヘマスガ、今回ノ改正ハ銑鋼作
業一貫ノ分ノミニ付テ御改正ニナッ
モノデアリマスカ、新シキ改正法律案
ノ條文ヲ見マスレバ、銑鋼一貫主義以
外ノ條文ハ隨分澤山アリマスガ、是ハ
總テ舊法ニ屬スルモノノミデアリマス
カ、之ヲ伺ヒタイ

○野村政府委員 舊法ノ方カラ申上ゲ
マス、舊法ノ方デハ、保護シテアリマス
ノハ、大體此營業稅、所得稅、ソレカラ
土地收用ニ關スル關係、是等ヲ此製鐵
業者ニ對シテ免除シタノデアリマス、
是ダケガ舊法ニ於ケル先ヅ大體其效果
デアリマス、ソレカラ又此製鐵ヲ致シ
マス諸機械——外國カラ輸入致シマス
諸機械ニ對スル輸入稅ノ免除、是ダケ
ガ舊法ノ獎勵法ノ範圍デアリマス、サ
ウシテ此恩典ヲ受クベキモノハドウデ
アルカト申シマス、云フト、是ハ此法
律ト同シ事デ、年額三萬五千噸トカ、又
種類ニ依テ五千二百萬噸トカ、又電氣
製鐵ノ如キハ漸ク千二百萬噸トカ云
フ、此製鐵ノ數額ニ依テソレヲ定メテ

アル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、
ソレカラ、尙ホ序ニ申シテ置キマスガ、
是レ以外ニ船ニ使フ所ノ鋼鐵ニ對シテ
ハ、保護ヲ與ヘテ居リマス、是ハ全ク船
舶ニ使フ所ノ鋼材ダケデアリマス、今
度ノハドウデアアルカト申シマス、云フ
ト、今申上ゲマシタ營業稅——今回ノ
改正ニナリマシタ營業收益稅、ソレカ
ラ所得稅、ソレニ土地收用法、其外ニ新
シク六圓、五圓、三圓ト云フ割合ヲ以
テサウシテ今度ハ金ヲ交付シテ獎勵ス
ル、今度ノト前ノト違フ所ハ、今度ノハ
此前ニ加フルニ金ヲ以テ獎勵スル、是
ダケガ前ノヨリ違フ眼目デアリマス、
併ナガラ今申ス通りニ銑鋼一貫主義デ
アルカラシテ、此前ノハ銑鐵ダケデモ、
ソレダケノ特典ガアリマシタケレド
モ、今度ハ銑鋼一貫主義デアアルカラシ
テ、最後ノ目的ハ詰リ鋼塊、鋼材ニセナ
ケレバ此獎勵金ハ交付セヌ、此點ガ違
フ所ノ最モ主ナルモノデアリマス

○金光委員 サウ致シマス、殆ド今回
ノ改正ノ大部分ハ、銑鐵、鋼鐵ノ一貫作
業ヲ獎勵スルト云フ此御趣旨ノモノヤ
ウデアリマスガ、銑鐵ヲ直ニ鋼鐵ニ其
工場デセズニ、ソレヲ冷シテ他ニ賣ッテ
之ヲ鋼鐵ニスル場合ニハ、五圓ノ獎勵
金ヲ支給スルト云フコトニ致シマス、
云フト、其部分ノミニ付テハ銑鋼一貫
主義——此除外例ニナルモノト見ラレ
ルノデアリマスガ、左様デゴザイマセ
ウカ、又サウ云フモノガ大部分ヲ占メ

タ場合、殆ド皆設備ダケハ銑鋼一貫ノ
設備ヲシテ置キマシテ、何等カノ事情
ノ爲ニ、總テ其銑鐵ハ之ヲ他ノ工場ニ
持ッテ行ッテ賣却スルナリ致シマシテ、
サウシテ五圓シカ補給金ガ出ナイト云フ
ヤウナ場合ガ多クタクニハ、此改正
案ノ御趣旨ニ副ハナイコトニナルト思
ヒマスガ、此點ハ如何ナルモノデアリ
マス

○野村政府委員 今申上ゲマス通り
ニ、此銑鋼一貫主義デアリマスノデ、銑
鐵ダケヲ拵ヘテソレヲ鋼鐵ニ仕上ゲ
ヌ、此時ニハ五圓ハ當ラヌガ、詰リ其五
圓ガ賈ヘル、一應ニ付テ五圓交付スル、
矢張銑鐵カラ鋼鐵マデ仕上ゲルト云フ
目安デナサレバ、貫フコトガ出來ナイ
ノデアリマス、銑鐵ダケ仕上ゲテハ五
圓與レヌノデアリマス

○金光委員 サウ致シマス、此規定ニ
ハマラナイ所ノ、例ヘバ銑鐵ノミヲ三
萬五千噸以上製造スル工場モ段々ゴザ
イマスヤウデスガ、サウ云フモノハ若
シ此規定ナカリセバ、輸入品ニノミ對
抗スル場合ニハ、或ハ工業ガ成立テ行
クト云フヤウナ程度ニ回復スル場合ガ
アルカモ分ラヌ、其場合ニ於テモ此獎
勵法アルガ爲ニ、其輸入品ト對抗スル
ノミナラズ、内地品——此獎勵ヲ受ケ
ル製鋼場ノ製品ト對抗シナケレバナラ
ヌ、不利ノ地位ニ立ツ場合ガアルト思
フノデアリマス、何故カト申シマスレ
バ、此獎勵法ニ依テ政府ノ御考ニナッ

所ニ依レバ、輸入品ヨリモ幾ラカノ利益ヲ得フレル、輸入ノ價格以上ニ賣レル非常ナ利益ガアル、斯ウ云フ風ニ御考ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、此獎勵法ノ適用ヲ受ケナイ所ノ、何等ノ保護ヲ受ケナイ製鐵業ガ、輸入品ダケナラバ成立ツ場合ガアッテモ、此獎勵法ノ保護ヲ受ケルモノデアアルガ爲ニ、成立タナイ場合ガアルトスルト、此獎勵法ニ漏レタ者ニ對シテハ、氣ノ毒ナ感ジガ起ルノデアリマスガ、其點ハ如何御考ニナッテ居リマスカ

○野田政府委員 只今質問ノ三萬五千噸以上ノ製銑設備ヲ持ッテ居リマシテ、製鋼設備ヲ持ッテ居ラナイ場合ハ、將來其會社ガ製鋼設備ヲ造ルト云フコトヲ認可ヲ得テ居リマスレバ、其處ニモ矢張若シ其銑鐵ヲ——製銑ヲ他ノ工場ニ賣リマシテ、買ッテ工場ガ銅ニシマスレバ、一噸五圓宛貫フコトニナルノデゴザイマス、若シソレヲ鑄物ノ銑鐵デアリマストカ、或ハ其儘自分ノ所ニ溜メテ置キマシタ場合ニハ、ソレニ對シテ三圓宛貫フコトニナッテ居リマス

○金光委員 サウ致シマス設備ハ一貫シタル作業ノ設備ヲ持ッテ居ナクテモ、自分ノ工場デハ銑鐵ノ製造バカリノ設備ヲ持ッテ居ッテモ、其銑鐵ヲ他人ノ工場ニ持ッテ行ッテ銅鐵ニスルト云フコトニナレバ、甲ノ製造場ト乙ノ製造場ヲ繼ギ足シテ考ヘテ、サウシテ五圓ノ支給ヲ受ケラレルノデアリマセウ

カ、ソレナラバ救済ニナリマスガ、自分ノ工場ニ同一ノ設備ガナイノナラバ、イケスト云フコトニナレバ、矢張五圓ノ支給ヲ受ケルコトハ出來ヌコトニナルト思ヒマスガ、如何デアリマス

○野田政府委員 其銑鋼一貫ノ設備ヲ其工場ガ飽迄モシナイト云フヤウナ、何等カノ證明デモアリマスレバ、其工場ハ今度ノ獎勵法デ貫ヘナイコトニナリマス、併シ三萬五千噸以上ノ銑鐵ノ設備ヲ以テ、假ニ今茲ニ御話シニナッテヤウナ製鐵所ハ、將來政府ハソコデ鋼マデ拵ヘテ貫フコトヲ希望スルト云フノガ此法ノ精神デアリマス、ソレデ三萬五千噸以上ノ銑鐵ヲ作ッテ居リマス會社ガ、將來三萬五千噸以上ノ鋼ヲ拵ヘテ、一貫シタ作業ヲスルト云フコトノ計畫ヲ立テテ、其主務官廳ノ認可ヲ得テ居リマスレバ、ソレハ矢張交付サレルコトニナリマス

○金光委員 サウ致シマス三萬五千噸以下ノモノハ、今日デハ總テ救助ニナッテ居ル所ガ多イヤウデアリマスガ、ソレ等ハ總テ犠牲ニサレルト云フ御考デアルカ、先程私ハ伺ヒマシタ趣旨カラ申シマスレバ、此獎勵法ノ爲ニ、ヨリ以上ニ壓迫ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、三萬五千噸以下ハ總テ見殺シニナルト云フノデアリマスカ

下ノ熔鑪爐デ獨立シテ居ル會社ハ、今日殆ド二三軒位ニ止ッテ居ルノデアリマス、ソレモ殆ド最早外國ノ銑鐵ニ對シテモ、既ニ競争場裡ニ立テマセヌデ休ンデ居リマス、午前ニ申シマシタ通りノ百噸爐デナケレバ、到底將來ノ經濟界ニ乘リ出シテイケナイト見テ居ルノデアリマス

○金光委員 今休ンデ居ルノハ引合ハヌカラデアリマスカ、此工場助成法ガ出來ルト致シマスレバ、製造ノ復活ガ出來ルト思ヒマスガ、ソレ等ニ付テ何等御考慮ガ無カッタコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、之ニ付テ何か御救済ノ御考デモアルベキ筈ノモノト思ヒマスガ、銑鋼一貫主義ト云フコトハ、殆ド改正法ノ趣旨目的デアルヤウニ伺ヒマス、ソレナラバ現在銑鋼一貫作業ノ設備ヲ爲シテ居ル工場ハ、合計七ツ程アルヤウニ思ヒマス、然ルニ之ヲ三萬五千噸ト御制限ニナッタ爲ニ、僅ニ——僅デモアリマセヌガ、量カラ言ヘバ多クアリマスガ、會社ノ數カラ言ヘバ僅ニ釜石ト室蘭、兼二浦ノ三社ノガ之ニ該當スルノデアリマス、尙ホ將來此獎勵法ガ出來タ爲ニ、此規定ニ適應スルヤウナ設備ヲセントスル鶴見ノ淺野工場ガ一ツ、合計四箇所デアリマス、其他三箇所ニ、可ナリ有力ニ認メラレル銑鋼一貫ノモノガアリマス、ソレハ神戸鐵鋼所、是ガ一年間ニ製銑設備ガ一萬五

百噸、製鋼設備ガ十一萬噸、ソレカラ日

本鋼管會社川崎工場、是レノ製銑設備ガ約一萬四千噸、此製鋼設備ガ約二十萬噸、ソレカラ淺野ノ小倉製鋼所ニ於テハ、製銑ノ設備ガ約一萬四千噸、製鋼設備ガ約七萬五千噸、大體ニ於テ斯ウ云フ數字ヲ現ハシテ居リマス、是等ノ工場ハ、何レモ銅鐵ニ於テ十萬噸以上ニナッテ居リマスシ、銑鐵ノ方デモ一萬四五千噸ト云フ所デ、可ナリナ設備ニナッテ居リマス、是等ガ三萬五千噸ト云フ制限ガアル爲ニ、何レモ獎勵法ノ恩典ニ浴シナイコトニナルノデアリマス、而カモ是等ハ何レモ政府ガ特ニ力ヲ御用イニナル所ノ銑鋼一貫主義ニ合シテ居ラ設備デアアルノデアリマス、所ガ餘リ設備ガ小サイト、比較的建設費ガ多ク要ルト云フ御話デアリマスケレドモ、建設費ハ既ニ掛ケテシマッテ居ルカラ、之ヲ此儘放任シテ、此獎勵法ノ範圍外ニ置クコトニナリマス、永久トマデイカヌデモ、近キ將來ニ於テ到底復活サレル見込ハナイノデアリマス、然ルニ此獎勵法ヲ適用サレルコトニナレバ、是等ハ相當有力ナ工場デ、經營者モ相當ナモノデアリマスカラ、必ズ是ハ復活シ得ルト思ヒマス、又一萬噸ノ工場ヨリモ、三萬噸ノ工場ノ方ハ建設費ガ割合ニ少ナクナルト云フコトハ、爭ハレナイコトデアアルケレドモ、既ニ出來テ居ルノデアアル、ソレヲ利用シ得ザルコトニ依テ、其固定資本ヲゼロニスルヨリモ、之ヲ活カシテ使フト云フ

百噸、製鋼設備ガ十一萬噸、ソレカラ日

百噸、製鋼設備ガ十一萬噸、ソレカラ日

○野田政府委員 三萬五千噸ト申シマス、先程申シマシタヤウニ、百噸ノ熔鑪爐ヲ持ッテ居ル所デアリマス、ソレ以

下ノ熔鑪爐デ獨立シテ居ル會社ハ、今日殆ド二三軒位ニ止ッテ居ルノデアリマス、ソレモ殆ド最早外國ノ銑鐵ニ對シテモ、既ニ競争場裡ニ立テマセヌデ休ンデ居リマス、午前ニ申シマシタ通りノ百噸爐デナケレバ、到底將來ノ經濟界ニ乘リ出シテイケナイト見テ居ルノデアリマス

○金光委員 今休ンデ居ルノハ引合ハヌカラデアリマスカ、此工場助成法ガ出來ルト致シマスレバ、製造ノ復活ガ出來ルト思ヒマスガ、ソレ等ニ付テ何等御考慮ガ無カッタコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、之ニ付テ何か御救済ノ御考デモアルベキ筈ノモノト思ヒマスガ、銑鋼一貫主義ト云フコトハ、殆ド改正法ノ趣旨目的デアルヤウニ伺ヒマス、ソレナラバ現在銑鋼一貫作業ノ設備ヲ爲シテ居ル工場ハ、合計七ツ程アルヤウニ思ヒマス、然ルニ之ヲ三萬五千噸ト御制限ニナッタ爲ニ、僅ニ——僅デモアリマセヌガ、量カラ言ヘバ多クアリマスガ、會社ノ數カラ言ヘバ僅ニ釜石ト室蘭、兼二浦ノ三社ノガ之ニ該當スルノデアリマス、尙ホ將來此獎勵法ガ出來タ爲ニ、此規定ニ適應スルヤウナ設備ヲセントスル鶴見ノ淺野工場ガ一ツ、合計四箇所デアリマス、其他三箇所ニ、可ナリ有力ニ認メラレル銑鋼一貫ノモノガアリマス、ソレハ神戸鐵鋼所、是ガ一年間ニ製銑設備ガ一萬五

百噸、製鋼設備ガ十一萬噸、ソレカラ日

コトガ有益ナコトト思ヒマス、隨テ其設備ニ多少掛ッテモ、生産費ニ於テ相償フコトト信ジマスカラ、之ヲ復活スルコトハ政府ノ國策ノ上ニ必要ト思ヒマス、ソレカラ先程ノ御答デハ、五十廬ノ鑛爐ヨリ百廬ノ鑛爐ノ方ガ「コトクス」ガ割合ニ少ナク、經濟的ニ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、私ノ承テ居ル所デハサウ云フコトハナイ、小サイ方ガ却テ精巧ニヤリ得ルト思フ、ソレカラ大キナ鑛爐ノ方ガ、小サイノヨリモ一定シテ宜イト云フ御話デアリマシタガ、是モサウデハナイ、寧ロ反對デアアル、小サイ方ガ精巧ニ行ケルノデアアル、例ヘバ人ヲ多ク使フトカ、他ノ經濟的生產費ノ損失ハ別トシテ、私ハ其道ノ人カラ聞イタノデアリマスケレドモ、私ハ素人デ、製鐵所ノ方ハ經濟ノアル方デアアルカラ、其點ハ此所デ争ヒマセヌガ、兎モ角モ設備ノコトハ計算シナクテモ、私ハ復活スル途ガアレバ、復活サシタ方ガ宜イト思ヒマス、現ニ神戸ノ製鐵所ニ於ケル能力ノ如キモ、今申上ゲタヤウニ、一萬五百廬、日本鋼管會社ガ約一萬四千廬、小倉製鐵所ハ一萬四千廬トスレバ、合計三萬八千五百廬ニナルノデアリマス、此三ツノモノヲ寄セルト、丁度資格アル一ツノモノ位ニ該當スルノデアリマスカラ、強チ取ルニ足ラスト云フ程ノモノデハナイト思ヒマス、假ニ三萬五千廬ト云フ制限ヲ、一萬廬ト云フコトニ低下スルト、

此三ツノ工場ガ何レモ鋼鐵ヲ製造スルノデアリマスカラ、其原料ノ銑鐵ノ幾分ノ自給ガ出來マス、サウシテ一方ニ於テ製鐵ノ生産費ヲ減ズルコトガ出來ル、サウシテ經濟的作業ヲ圓滑ニ行フコトガ出來ル、又他方ニ於テハソレガ爲ニ銑鐵ノ輸入ヲ防遏スルコトガ出來ル、其金額ガ約八十五萬圓ニ達スルノデアリマシテ、大キナ數量ノ前ニ大シタ數字デナイカ存ジマセヌガ、可ナリ相當ノ數字ニ上ルモノト思ハレル、又之ヲ段々擴張シテ行クモノモ出來マス、併ナガラ今直ニ之ヲ三萬五千廬ノ設備ニシタト云ッテモ、今日ノ資本ノ程度デハ不可ナルコト、思フ、ソコデ全ク休ンデ居ル資本ヲ起シテ働カセルト云フコトハ、確ニ此製鐵獎勵策ノ目的ノ一ツデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ政府ハ三萬五千廬以上ノ製銑能力ト云フコトヲ、一萬廬ト云フコトニ御低下ニナッテドウカ、サウシテ製銑能力ハ三萬五千廬デモ宜シイ、併シサウスルト一方ハ一萬廬、一方ハ三萬五千廬ト云フコトナレバ、銑鐵一貫ト云フ作業ノ趣旨ニ合致シナイデヤナイカト云フ疑モアリマセウガ、ソレナラバ双方共一萬廬以上トシテモ宜イノデアリマス、併ナガラ只今ノ状態カラ及マスレバ、銑鐵一貫ノ作業ヲ爲シ得ル設備ヲ有スル會社ハ、此規定ニ漏レル所ノモノハ三ツシカナイ、其三ツノモノハ十萬廬内外ノ力ヲ持ッテ居リマ

スカラ、此制度ハ第一條ノ制限デ差支ナイ、唯、其原料タル銑鐵ヲ製造スルト云フ數量ヲ三萬五千廬ヲ一萬廬ニ低下シテモ、他ニ抵觸スルコトハナイ、失フ所少クシテ得ル所ハ多イト思ヒマス、之ニ對スル政府ノ御考ヲ伺ヒタ

リマス、日本鋼管、淺野鐵工等モゴザイマスガ、是ハ現在デハ採算ガ取レナイカラ、仕事ヲシテ居ラナイ、斯ウ云フモノハ、將來共當業者ガ自ラヤラウト云フ意思ガ無イト聽イテ居リマス、將來本當ニ製鐵業ト云フ商賣ノ出來ル設備ヲシヤウトスレバ、三萬五千廬以上ノ設備ニ變ルコト、ナルト思ヒマス、ソレデ特ニ斯様ナモノニ對シマシテ、獎勵法ニ依テ獎勵シテ行クト云フ程ノ價値ノ無イモノト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス、唯、ソレデモ現行法ニ何年カノ餘裕ガアリマスカラ、其間相當ニ恩典ニ浴スルノデアリマスガ、單ニ設備ハ同ジデアッテ、又現ニ事業ヲヤラナイデ、又採算上經濟的ニ行カナイト云フコトヲ自覺シテ居ル状態デアリマスカラ、將來ニ向ッテ此能力ノ單位ヲ何處マデカ引下ゲテ行クカト云フコトハ、是ハ我國ニ於ケル製鐵業ノ爲ニハ寧ロ面白クナイコト、思ッテ居リマス、矢張三萬五千廬ト云フコトヲ至當ト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス

○三井鑛山局長 御答致シマス、先刻三萬五千廬ノ製銑能力ヲ持ッテ居ルトノミニ付テ御質問ガゴサイマシテ、他ノ政府委員ヨリ御答ガアリマシタガ、尙ホ私ヨリ一言補足致シテ置キマ

以テ將來製鐵事業ヲ營ミマスモノハ、現ニ現行法ノ規程ノ下ニヤッテ居リマシタモノハ、尙ホ今後營業稅免除トカ、所得稅ノ免除トカ、或ハ土地收用法トカ、輸入稅等ノ點ニ於テ、尙ホ五年間ダケノ猶豫ガアルノデアリマス、併ナガラ若シモ此改正案ガ法律ニナリマシタ場合ニ、三萬五千廬ノ製銑能力ノミデ、何等他ニ計畫スル所ハナイ、三萬五千廬以上ノ製銑能力ハ全然持タナイト云フ場合ニハ、現在ノ法規ニ依テ五年間ノ恩典ニ浴シマス外ハ、改正法ニ於テハ獎勵金其他ノ恩典ヲ受クルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ前カラ申シマシタヤウニ、銑鐵一貫主義ノ改正カラ自然起ッテ來ル結果デアリマス、只今御質問ニナリマシタ小倉、神戸等ニ一萬何千廬ノ製銑能力ヲ持テ居ルモノガ現ニアルデアナイカト云フ御尋デア

○金光委員 今ノ御話ハ、實ハ私ハ意外ニ伺ヒマシタ、引合ハナイカラ廢メテ居ル所ハサウデアリマセウ、併ナガラ引合ハナイカラ廢メテ居ル、廢メテハ此製鐵業ガ進歩シナイカラ、ソレデ獎勵シテ進歩サセヤウト云フ主義デハナイノデスカ、今相當固定資本ヲ入レテモ、引合ズ休ンデ居ル者、之ヲ呼ビ起シテヤラセルト云フコトハ、新タ

リマス、日本鋼管、淺野鐵工等モゴザイマスガ、是ハ現在デハ採算ガ取レナイカラ、仕事ヲシテ居ラナイ、斯ウ云フモノハ、將來共當業者ガ自ラヤラウト云フ意思ガ無イト聽イテ居リマス、將來本當ニ製鐵業ト云フ商賣ノ出來ル設備ヲシヤウトスレバ、三萬五千廬以上ノ設備ニ變ルコト、ナルト思ヒマス、ソレデ特ニ斯様ナモノニ對シマシテ、獎勵法ニ依テ獎勵シテ行クト云フ程ノ價値ノ無イモノト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス、唯、ソレデモ現行法ニ何年カノ餘裕ガアリマスカラ、其間相當ニ恩典ニ浴スルノデアリマスガ、單ニ設備ハ同ジデアッテ、又現ニ事業ヲヤラナイデ、又採算上經濟的ニ行カナイト云フコトヲ自覺シテ居ル状態デアリマスカラ、將來ニ向ッテ此能力ノ單位ヲ何處マデカ引下ゲテ行クカト云フコトハ、是ハ我國ニ於ケル製鐵業ノ爲ニハ寧ロ面白クナイコト、思ッテ居リマス、矢張三萬五千廬ト云フコトヲ至當ト吾々ハ認メテ居ルノデアリマス

第五類第二十三號 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第一回 大正十五年三月十九日

第五類第二十三號 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第一回 大正十五年三月十九日

第五類第二十三號 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第一回 大正十五年三月十九日

第五類第二十三號 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第一回 大正十五年三月十九日

ニ設備ヲスルヨリ遙ニ有望デアリマス、一萬圓ナラバ絕對ニ經濟ガ取レヌカト云フト、サウデハナイ、唯一萬圓ノ銑鐵ノミヲヤレバ經濟ガ取レヌカ知レマセヌガ、政府ノ御趣旨ニ全然合致シタル銑鋼一貫ノ作業ノ設備ヲシテ居ルノデアリマス、殊ニ鋼鐵ノ方ハ遙ニ大ナル設備ヲシテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ獎勵法ガ實施サレルコトニ依テ、是ハ回復スルコトガ出來ルノデアリマス、又現ニソレヲ希望シテ居ルノデアリマス、委員ノ方ノ御手許へ差上ゲタモノハ、希望シテ居ル者ガ書イタモノデアリマス、此獎勵法ヲ一萬圓ト云フコトニ低下シテ吳レレバ、今ノ設備ヲ復活シテモ宜シト云フコトデアリマスカラ、明カニ政府ノ御考ガ違フト思ヒマス、全然無價値ニナッテ居ル設備ヲ活スコトデ、是ハ手取り早イ蘇生方法デアリマス、之カラ新タニ製鐵事業ヲ起サウトシテモ、今日ノ經濟狀態デハ中ミ手ヲ染メル者ハ無イト見ナケレバナラヌ、然ルニ辛カ不幸カ茲ニ休ンデ居ル工場ガアルノデアリマス、之ヲ此獎勵法ト云フ氣付藥ニ依テ息ヲ吹キ返スコトガ出來ルナラバ、相當ノ金ヲ出シテモ宜イ、氣付藥ト云フノハ相當ノ國費ガ要ルノデアリマスガ、此法ニ依テ復活サセルコトガ出來ルナラバ、之ヨリ都合ノ好イ事ハ無イト思ヒマス、併シソレハ事業ヲシテナイ、休ンデ居ルノデアアルカラ、サウ云フモノハ

獎勵スル價値ガ無イト云フコトデ、一言ノ下ニ吐キ棄テル態度ヲ執ルト云フコトハ、甚ダ私ハ宜シカラザル御態度デアルト思フ、併シサウ云ウコトヲ申セバ、質問デナクナッテ意見ニナルノデアリマスカラ、ソレハ他日ニ控ヘマスガ、之ニ付テ更ニ考慮ノ餘地ハ無イカ、ソレトモ別段ニ斯ウ云フモノヲ一纏メニシテ御考ニナル餘地アリヤト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、是ハ大臣カラ伺ッテモ、野村政府委員カラ伺ッテモ宜シイ、全然サウ云フモノヲ見殺シニナサル御考デアアルカ、ソレトモ斯ウ云フ獎勵法ヲモウ一遍御考ニナッテ見ル御意思ハ無イカ、他ニ御考ニナッテ見ヤウト云フ御意思ガアルカ、此點ヲ伺ッテ置キタイ

○野村政府委員 私ハ技術上ノ事ハ分リマセヌガ、兎モ角熔鑪爐ヲ拵ヘル金、人ヲ使フ費用、其他ノ設備ノ費用、ソレカラ出來上ッタ品物ノ販賣、是等ノ點ニ付テ相當ナル歲月ノ間ヲ考慮シテ、總テノ點ヲ常識的ニ判斷シテ、之ニ技術的ノ考ヲ入レマシテ、三萬五千圓以上デナケレバ算盤ガ探レヌト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、サウ致シマレバ、基礎ヲ致シマシテ、ソレニ對スル獎勵ノ方法ヲ講ズルト云フ立前ニナッテ居ルノデアリマス、併シ今金光君ノ御説ノ通りニ、ソレヨリ下ゲテ銑鋼一貫

主義デ、一萬圓ノ銑ト一萬圓ノ鋼ヲヤツテ居ルナラバ、是ハ銑鋼一貫主義デハナイカ、唯數ガ少イダケデアアル、然ラバ其方モ獎勵ヲシテ差支ナイデハナイカ、ソレガ却テ宜イデハナカト云フ御意見デアリマスガ、是モ御尤デアリマスケレドモ、國家ノ大局カラ申シマシタナラバ、先ヅ大體ニ於テ常識ニ於テ、又技術者ノ意見ニ於テ水準線ヲ設ケマシテ、ソレ以上ト云フ基調ノ上ニ立ッテ獎勵スル方ガ、確實デアッテ宜サウニ考ヘル、併ナガラ獎勵金デモ澤山アルトカ、幾ラデモ保護スル、多々益辯ズルト云フヤウナコトデアリマシタナラバ、御説ノ通り百圓ノ生産ヲスルモノデモ、銑鋼一貫スルモノナラバ補助シタ方ガ宜シイカ知レマセヌケレドモ、現在ニ於キマシテハ三萬五千圓以下ノモノハ、實際ニ於テ廢メテシマッテ居ルト云フ御話デアリマス、其廢メタ原因ハ色ミアリマセウガ、先ヅ是デハ連モ算盤ガ探レヌト云フコトデアラウト思フ、戰爭當時ノ如ク價格ガ今日ノ三四倍モシタ時ハ兎ニ角、アア云フ經濟狀態ト云フモノハ、一時的デアアル、常態ニ復シテ永久ノ事ヲ考ヘマシタナラバ、アア云フ變態的ノ狀態ヲ以テ律スルコトモ出來ヌト思ヒマス、兎ニ角今日ニ於テ操業シテ居ラヌト云フノハ、引合ハヌト云フ證據デアルト思ヒマス、併ナガラソレニシテモ應ニ六圓トカ、五圓トカ、三圓トカ云フモノヲ加味

シタナラバ、引合フコトニナルト云フ御意見ガ出ルデアラウト思ヒマス、又當業者トシテハ一遍ヤッタノデアアルカラ、何トカシテ其事業ヲ興シタイ、少シデモ繁ガル草デモ木デモアレバ繁ガリタイト云フノハ人情ノ然ラシムル所デアアル、又獎勵ノ恩典ニ浴シタイト云フノハ、企業者トシテ製鐵業者トシテ尤ノ事デアアル、併ナガラ大體ノ根本ニ於キマシテ、今ノ六圓トカ、五圓トカ、三圓トカ云フダケデハ、連モ三萬五千圓以下ノモノハ算盤ガ探レヌト云フ風ナ目安ノ下ニ出來上ッテ居ルノデアリマスカラ、三萬五千圓以下ノモノニ對シテハ氣ノ毒デアリマスガ、今ノ所デハ三萬五千圓以上ノモノニ向ッテ獎勵スルト云フノデアリマス、第二段トシテ之ニ考ヲ及ボサヌカト云フ御話デアリマスガ、今金光君ノ御説ヲ聽キマシテ、又當業者ノ意見モ十分ニ徵シマシテ、相當ノ考慮ハ拂フ積リデ居リマス

○金光委員 御答辯ヲ承ッテ見マスト、引合フカ、引合ハヌカト云フ爭ニナルヤウニ思ヒマス、所ガ私ガ考ヘルノニ、此獎勵法ナルモノハ新ニ拵ヘテモ引合フ程度ニ獎勵シタモノト考ヘルヨリ外ハナイ、新ニ相當ノ固定資本ヲ投ジテ引合フモノトスルナラバ、製造能力ガ少ナイ爲ニ、多少經濟的ニ不利益ノ地位ニ立ッテ居ルモノデモ、又一面ニハ固定資本ナルモノヲ全額——全額デナクテモ相當ニ計上シテ、之ニ對スル相當

シタナラバ、引合フコトニナルト云フ御意見ガ出ルデアラウト思ヒマス、又當業者トシテハ一遍ヤッタノデアアルカラ、何トカシテ其事業ヲ興シタイ、少シデモ繁ガル草デモ木デモアレバ繁ガリタイト云フノハ人情ノ然ラシムル所デアアル、又獎勵ノ恩典ニ浴シタイト云フノハ、企業者トシテ製鐵業者トシテ尤ノ事デアアル、併ナガラ大體ノ根本ニ於キマシテ、今ノ六圓トカ、五圓トカ、三圓トカ云フダケデハ、連モ三萬五千圓以下ノモノハ算盤ガ探レヌト云フ風ナ目安ノ下ニ出來上ッテ居ルノデアリマスカラ、三萬五千圓以下ノモノニ對シテハ氣ノ毒デアリマスガ、今ノ所デハ三萬五千圓以上ノモノニ向ッテ獎勵スルト云フノデアリマス、第二段トシテ之ニ考ヲ及ボサヌカト云フ御話デアリマスガ、今金光君ノ御説ヲ聽キマシテ、又當業者ノ意見モ十分ニ徵シマシテ、相當ノ考慮ハ拂フ積リデ居リマス

○金光委員 御答辯ヲ承ッテ見マスト、引合フカ、引合ハヌカト云フ爭ニナルヤウニ思ヒマス、所ガ私ガ考ヘルノニ、此獎勵法ナルモノハ新ニ拵ヘテモ引合フ程度ニ獎勵シタモノト考ヘルヨリ外ハナイ、新ニ相當ノ固定資本ヲ投ジテ引合フモノトスルナラバ、製造能力ガ少ナイ爲ニ、多少經濟的ニ不利益ノ地位ニ立ッテ居ルモノデモ、又一面ニハ固定資本ナルモノヲ全額——全額デナクテモ相當ニ計上シテ、之ニ對スル相當

ノ利潤ヲ得ラレト云フコトハ今日考ヘテ居ナイ、殆ド無價值同様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、先ツ固定資本ガ大部分要ラナイモノト見テ計算ヲ探ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、今後新ニ興スコトカラ考ヘレバ、今アルモノヲ取壊シテモ殆ド價值ノ無イモノト思フ、然ルニ政府ノ御考ニ於テハ、全然見込ガ無イカラ抛ッテ居ルト云フ御話デアリマスガ、全然見込ガ無イモノナラバ抛ッテ置ク譯ハナイ、其設備ヲ取壊シテ、其土地ヲ有利ニ利用スルトカ、機械類ヲ潰シニシテ賣ルトカ、何トカ換價ノ方法ガアリサウナモノデアアルニ、之ヲ潰サズシテ其工場ヲ生カシテ置クト云フコトハ、適當ノ時機ガ其タナラバ恢復スル途モ付カウト云フ一縷ノ望カラ、時機ニ望ヲ囑シテ居ルノデアラウト思ヒマス、然ルニ千載一遇ノ斯ウ云フ獎勵方法ガ設ケラレト云フ此機會ニ於テ復活シヤウト思フ矢先ニ、ソレモ除外サレルコトニナルト、未

來永劫復活スル時機ハナイノデアリマスカラ、是ハ取壊スコトニナリマセウ、サウスレバ全然無價值ノモノニナル、殆ド無價值同様ノモノニナル、其無價值同様ノモノニナルコトヲ考ヘマシレバ、其資本ト云フモノハ餘程切下ゲテ計算シテモ宜イ譯デアリマス、サウスレバ今新シク茲ニ一千万圓ノ資本ヲ投ジテヤル所ノ會社ハ、一千万圓ノ資本ニ對スル利子ヲ見ナケレバナラヌ、一

方ハ假ニ一千万圓ノ固定資本ヲ掛ケテアツテモ、之ヲ取壊スコトニ依テ、百萬圓トカニ百萬圓トカ云フモノニナッテシマッタナラバ、取壊シタ値段同様百萬圓、二百萬圓ト見テ宜シイノデアリマスカラ、其所ニ固定資本ニ對シテ非常ナ相違ガ來ル、此固定資本ノ相違ト云フモノガ生産費ノ上ニ非常ナ力ヲ持ツモノデアラウト思フ、其點ヲモ政府ハ十分ニ御調査下サツテ、是ハ到底引合ハヌト御考ニナッタノデアリマセウカ、其點ヲ調ベテナイト云フコトデアリマスナラバ、ドウカ今晩ニデモ御調ベ下サツテ、明日ノ委員會ニ御提出ニナッテ戴キタイト思ヒマス

於テ見マスト、ソレハ經濟的ニ行カナイ、偶々自分ガ持ッテ居ルノヲ使フト云フノヲ妨グル譯デアリマセヌガ、サウスレバ不經濟ノ製鉄設備ヲ持ッテ居ルモノヲ補助スルコトニナルト、補助ノアル間ハ事業ヲヤツテ行クコトガ出來マセウガ、補助ガ無クナルト引合ハナイカラ止メルコトニナル、サウスレバ經濟的ニ成立タナイヤウナ設備ニ對シテ、政府ハ獎勵シテ行クコトハ面白クナイ、少クトモ製鉄能力三萬五千噸、百噸爐ヲ持ッテ居ラナケレバ將來製鐵事業界ニ立ッテ競争シテ行カレナイ、今日ノ狀態ニ於テハ、製鐵事業ヲ守立テラヌ、サウスレバ獎勵金ニ依テ發育シテ行ケバ、將來一本立ニナッテ行ケル、ソレダケノ能力ナルモノヲ保護スルト云フノデアリマスカラ、ソレ以下ノ製鉄能力デハ、補助ガ無クナルト直グニ事業ガ成立タヌト云フコトニナル、サウスレバモノニ對シテハ獎勵金ヲヤルコトハナカラウト云フノデス

○野村政府委員 一ツ十分調査致シマセウ

○森委員 今ノ金光君ノ御質問ニ關聯シテ少シク兩方ノ質問應答ニ誤解ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ伺ヒマスガ、茲ニ百噸爐ガアル、其百噸爐カラ出ル百噸ノ中五十噸ヲ製鋼會社ニ供給シ、殘ル五十噸ハ「ビグ」トシテ使フ、サウスレバ五十噸ノ方ハ獎勵法ニ依テ獎勵サレル、サウスレバ一方ニ於テ五十噸爐ガアル、ソレハ製鋼會社ノ所屬デアアル、其爐ハ「ビグ」レハ引合ナ

○森委員 ドウモ私モ金光君ト同様ニ今ノ政府委員ノ御答辯ニハ満足スルコトガ出來マセヌ、私ハモウ一步進ンデ御尋致シマスガ、一體百噸爐ト云フモノハ何ヲ基準トシテ居ルノデアリマスカ、單ニ百噸爐ト申シマシテモ、ソレハ技術的ニハ意味ヲナサナイト思フ、現ニ鑽石ノ鹽梅其他ノ關係デ百五十噸爐ト稱スルモノデモ、百噸モ出ナイコト

○三井鑛山局長 今ノ森サンノ御質問ニ御答致シマス、百噸爐ノ全設備ヲ持ッテ居ルモノガ、五十噸ノ「ビグ」ヲ鋼材ニ用ヒ、他ノ五十噸ヲ其儘鑄物ニ使フ場合ハドウカト云フコトデアリマス、百噸爐ハ丁度三萬五千噸ノ製鉄能力ヲ持ッテ居ルコトニナルノデアリマス、其三萬五千噸以上ノ製鉄能力ヲ持ッテ居リマスモノガ、其中ノ五十噸ヲ製鋼ニ用キマシタ時ニハ、無論ソレニ對スル獎勵金ガ貰ヘル譯デアリマス、アノ五十噸ヲ他ノ方面ニ賣ッタト云フ場合ニハ、ソレハ矢張五圓若クハ三圓ノ獎勵金ヲ貰フコトニナルノデアリマス、其場合ニ若シ他ノ場合ヲ考ヘテ見マシテ、一方ニ自分ハ五十噸ノ製鉄能力ヲ持ッテ居テ、一方ニハ三萬五千噸以上ノ製鉄能力ヲ持ッテ居ル、此場合ハドウカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ先刻カラ野田政府委員カラモ御話申上ゲタヤウニ、五十噸ノ製鉄能力ヲ持ッテ居ッテ、將來經濟的ニ銑鐵ヲ製造シテ行ケルカト云フト、今日ノ技術ノ程度ニ

○森委員 今ノ金光君ノ御質問ニ關聯シテ少シク兩方ノ質問應答ニ誤解ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ伺ヒマスガ、茲ニ百噸爐ガアル、其百噸爐カラ出ル百噸ノ中五十噸ヲ製鋼會社ニ供給シ、殘ル五十噸ハ「ビグ」トシテ使フ、サウスレバ五十噸ノ方ハ獎勵法ニ依テ獎勵サレル、サウスレバ一方ニ於テ五十噸爐ガアル、ソレハ製鋼會社ノ所屬デアアル、其爐ハ「ビグ」レハ引合ナ

○森委員 今ノ金光君ノ御質問ニ關聯シテ少シク兩方ノ質問應答ニ誤解ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ伺ヒマスガ、茲ニ百噸爐ガアル、其百噸爐カラ出ル百噸ノ中五十噸ヲ製鋼會社ニ供給シ、殘ル五十噸ハ「ビグ」トシテ使フ、サウスレバ五十噸ノ方ハ獎勵法ニ依テ獎勵サレル、サウスレバ一方ニ於テ五十噸爐ガアル、ソレハ製鋼會社ノ所屬デアアル、其爐ハ「ビグ」レハ引合ナ

○森委員 今ノ金光君ノ御質問ニ關聯シテ少シク兩方ノ質問應答ニ誤解ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ伺ヒマスガ、茲ニ百噸爐ガアル、其百噸爐カラ出ル百噸ノ中五十噸ヲ製鋼會社ニ供給シ、殘ル五十噸ハ「ビグ」トシテ使フ、サウスレバ五十噸ノ方ハ獎勵法ニ依テ獎勵サレル、サウスレバ一方ニ於テ五十噸爐ガアル、ソレハ製鋼會社ノ所屬デアアル、其爐ハ「ビグ」レハ引合ナ

ガアル、所ガソレガ一寸シタ事カラ研
究ガ出來テ、百三十噸モ百七十噸モ出
タト云フ實例ハ幾ラモアル、東洋製鋼
ノ熔鑛爐ハソレデアル、然ルニ百噸爐
ト云ツテ非常ニ數字ヲ嚴格ニ置カレル
ト云フコトハ、實際上ニ意味ヲナサナ
イ、茲ニ三萬五千噸以上ノ製鋼能力ア
ル工場ガ、偶々自分ノ所ニ七八十噸或
ハ九十噸ト云フ所謂百噸未滿ノ爐ガア
ル、而モ自分ノ所デハソレヲ利用シテ
銑鐵ヲ造リ、足ラナイダケヲ大キナ製
銑工場カラ買フ、其分ニ對シテハ補助
ガアルガ、自分ノ所ノ大部分ノモノニ
ハ補助ガナイト云フ結果ヲ來スノデア
ル、ドウシテモ此百噸爐ト云フコトニ
基調ヲ置カレタコトガ意味ヲナサナイ
ト思フ、其點ハ如何デスカ

○野田政府委員 只今森サンノ御話ノ
通り、熔鑛爐ト申シマスモノハ鑛石ノ
工合デアルトカ、燃料デアルトカ、「コ
トクス」デアルトカ、其地方ノ空氣ノ濕
度デアルトカ、色々ノ原因ニ依リマシ
テ同一ノ大キサノモノデモ同ジ噸數ヲ
出スト云フコトハアリマセヌ、ソレデ
此度商工省即チ主務官廳ガ認許スル設
備ヲ豫メ調ベルト申シマスコトモ、ソ
レ等ノ細カイコトヲ相當考慮致シマシ
テ、一方デハ百噸爐ト云フモノデモ百
噸出ナイカモ知レヌ、百噸爐以下ノモ
ノデモ百噸以上出ルコトガアルカモ知
レマセヌ、ソレハ一寸寸法ナリ其他ノ
方法デ調ベナケレバナラヌト思ヒマ

ス、ソレデ何故百噸トシタカト申シマ
スレバ、御承知ノ通りニ「コトクス」ガ
鑛石一噸ニ一噸要ル、一例ヲ申シマス
ト、製鐵所ノ二百十八噸出マス爐デ一
年平均「コトクス」ガ鑛石一爐ニ付テ
〇、九八、約一噸要ルヤウニナツテ居リ
マス、ソレガ二十噸爐ニ致シマス「コ
トクス」ガ一・八噸、殆ド倍要ルヤウニ
ナツテ居リマス、ソレデ小サイ爐ハ損ダ
ト云フコトガ直グニ分ルコトデアリマ
ス、ソレデハ何故百噸爐ヲ本ニシタカ
ト申シマス、ト「コトクス」ヲ一日ニ百
噸以上使ツテ居ルト、「コトクス」製造ノ
設備上、ソレカラ副産物ヲ取ル、サウシ
ナケレバ安クナリマセヌ、一例ヲ申シ
マス、ト、副産物ヲ取ラナイト「コトク
ス」一噸二十三、四圓ニナリマス、所ガ
副産物ヲ取ルト十七八圓デ済ム、サウ
云フ設備モ、是ハ殆ド熔鑛爐自體ト關
聯シタモノデハ「コトクス」ノコトヲ論
ゼズニ熔鑛爐ノ話ハ出來ナイ、先ヅ一
日百噸ノ銑鐵ヲ造ル爲ニ熔鑛爐モソレ
位ナ程度トシ、ソレニ毎日必要デアリ
マス「コトクス」ノ設備モソレ位ノ程度
ノモノヲ最モ經濟的ノ最低單位ニ當
局ハ見タノデアリマス

○戸澤委員 今森君ノ御尋ガアリマシ
タガ、私考ヘテ見ルト餘リ議論サレル
必要ハナイト思フ、法律ノ規定ハ一箇
年三萬五千噸トアツテ、大體ノ目安ヲ百
噸爐ト云フモノニ置イタノデアアルカ
ラ、是ハ九十八噸デアラウト百噸デア

ラウト、餘リ嚴密ニ追窮サレル必要ハ
ナイト思フ、左様ニ御了解下サルト餘
程議事ガ進行シテ宜イト思ヒマス

○森委員 只今議事進行ヲ御發議ニナ
リマシタガ、私ハ是非非常ナ誤リデア
ルト思フ、若シサウシマスト爐ノ工合
ト云フモノハ御天氣ノ都合デ非常ニ違
フ、假ニ三萬五千噸トナツテ居ルカラ宜
イガ、一年ニ三萬五千噸出ナカッタ場合
ニハドウシマスカ、必ズ出ナイ場合ガ
アリ得ル其場合ニ之ニ向ツテ補助金ヲ
出シテ居ッタモノハドウスルカ、其責任
ハ何處ニ歸著スル、私ノ考デハ百噸爐
一年三萬五千噸デアルト云フ嚴密ナ數
字ヲ茲ニ規定シテ、ソレヲ基準ニシテ
補助金ヲ交付スル、シナイト云フノハ
不備デアルト私共ハ思フ、殊ニ金光君
ノ御述ニナツタコトハ、製鐵事業ノ能率
ヲ發揮シテ損ヲシナイ點ニ於テ極メテ
重要ナコトト思フ、更ニ此處デ申シマ
スレバ、製鋼所ガ自分ノ所ノ熔鑛爐ヲ
七八十噸ト致シマスガ、其熔鑛爐カラ
熱ヲ冷サズニ「ズク」ヲ使ヒ、又「ビッグ」
ノ冷シタモノヲ買ツテ來ルト云フコト
ニナレバ、其工場ハ私ハ非常ニ經濟上
有利デアルト思フ、幸ニ此點ハ條項ノ
中ニハッキリシテ居ラヌノデアアルカ
ラ、勅令ヲ以テ補助金額ヲ決メルノデ
アリマスカラ、是ハ實情ニ照シテ一ツ
御考慮ニナルコトガ正當ダト思フ、即
チ出來上ツテ居ル所ノ「ズク」工場デ、之
ニ附隨シテ製鋼工場ニ利用シ得ルヤウ

ナモノガアツタナラバ、假令ソレガ小規
模デアリマシテモ、之ニ相當ノ助成金
ヲ御出シニナルト云フコトハ國家經濟
ノ上ニ於テ利益デアルト思フ、其點ヲ
考ヘテ唯一年三萬五千噸、或ハ百噸爐
デアルト云フ數字ヲ基調ニシテ御遣リ
ニナツタナラバ、幾多ノ矛盾ガ起ルト思
フ

○金光委員 先程私ノ申シマシタコト
ヲ補ツテ置キマスガ、此獎勵法ニ依テ將
來新タニ計畫ヲスル事業デアラナラ
バ、新タニ固定資本ガ要ル、現在アル所
ノ三會社ガ之ヲ廢メルコトニナル、價
格ヲ固定資本ト見テモ差支ナイノデア
リマスカラ、ソレヲ比較研究シテ引合
フカ、引合ハヌカト云フコトヲ御調ヲ
願ヒタイト申シタノデアリマス、其材
料ヲ御出シヲ願ヒタイ、ソレカラ將來
三萬五千噸ノモノナラバ引合フト云フ
ガ現在ノ設備ナラバドノ程度カ存ジマ
セヌガ、二萬噸デアアルカ、三萬五千噸デ
アルカ、三萬五千噸ヨリモ少ナイ設備
デモ其資本金ノ利子ガ違フカラ、其差
ダケハ引合フト云フコトニナル、ソレ
ヲ立案當時ハ考慮ニ入レテ居ナイコト
ハ明デアアル、ソレヲ考慮ニ入レルト云
フコトニスレバドウスレバ宜イカト云
フト、現ニ銑鋼一貫作業ノ設備ヲ有ス
ルモノハ何萬噸マデハ宜イ、斯ウ云フ
除外例ヲ設ケテ宜イ、先ヅ素人ノ考デ
ハ二萬噸デ宜クハナイカト思フケレド
モ、二萬噸ニシテモ適用スルモノハナ

イノデアアル、ソレデ之ヲ銑鐵ニ限ッテ銑鐵一貫ノ作業ノ設備ヲ有スルモノハ一萬廻トスト云フヤウニ、三萬五千廻ノ所ニ除外例ヲ設ケタラ、一萬廻位ノモノヲ獎勵スルコトニナルト困ルト云フ點ダケハ除キ得ルト思フ、サウ云フ除外例ヲ設ケルト云フコトハ如何ニ御考ニナリマスカ、モウ一應御調べ下サル餘地ガアルト思ヒマス

○野村政府委員 今ノ御説ニ對シテハ一ツ考究致シマス

○永田委員 金光君ノ御尋ハ結局斯ウ言フ點ニ歸著セヌカト思フ、詰リ製鋼モヤツテ居ル、其製鋼ハ十萬廻出來ルガ銑鐵ハ一萬廻シカ出來ナイ、其一萬廻ハ「ホットメタル、シムテム」ニナルノダガ、是ガ「ホットメタル、シムテム」ニ適合シテモ第一號ト申シマスカ、此七圓ノ補助金ガ貰ヘナイ、サウシテ後九萬廻ハ餘所カラ買ッテ來ル、一遍冷シタル鋼鐵ニスル、之ニハ六圓補助スル、斯ウ云フコトニナル、餘所カラ來タノハ六圓ノ補助ヲ貰ヒ、自分ノ家デ造ッタモノハ一錢モ補助金ガ貰ヘナイ、サウナルト「ツク」ダケ拵ヘテ之ヲ鑄物ニシタルノモ三圓吳レルニ拘ラズ、全ク理想ノ作業デ一萬廻モヤツテ居ルノニ六圓ハ愚カ、五圓モ吳レナイ、三圓モ吳レナイ、何モ補助ガ無クナッテシマフ、斯ウナルト一萬廻ノ製銑設備、「ホットメタル、シムテム」ノ作業ヲシテ居ルニ拘ラズ、一錢ノ補助金ノ恩典ニ與ラヌト

云フコトニナル、金光君ノ御意見ハ斯ウ云フコトニナルト思フ、政府ノ答辯ハ第一號、第二號、第三號ノ補助ニ當ルガ一ツモ與ヘヌコトニナル、ソレデハ實際政府ノ理想トシテ居ル「ホットメタル、シムテム」ノ製造ガ無クナル、是ハドウモ金光君ノ御聞ニナルコトハ御尤デアッテ、大分オカシイコトニナリハセヌカ、何カ政府ハ十分ニ御調査ニナッタデアリマスカ、銑鐵専門ノ三圓ニ當ルモノモ吳レナイ、他所カラ買ッテ來テヤルナラバ五圓貰ヘルガ、家デ拵ヘタルモノハ一錢モ貰ヘヌト云フノデハ問題ダラウト思ヒマス

○野村政府委員 ソレハ先程カラモ大分申上ゲマシタ通りニ、兎ニ角技術上ノ關係カラ申スト大量生産デナケレバ引合ハナイサウデアリマス、ソレデ大量生産ノ標準ヲ何處ニ置イタカト云フト、是ハ技術上ノ問題デアリマシテ、ソレニ付テハ野田技監カラ先程申述ベタ通り、一日百廻爐ガ基デ、此百廻爐ニ依ルナラバ採算ガ取レル、換言スレバ大量生産ノ最低ガ日ニ百廻、一年ニ三萬五千廻デアアル、此モノニ對シテノ獎勵金ヲ交付シテ、サウシテ其基礎ヲ確立セシメル、是ガ獎勵法ノ大眼目デアリマス、併ナガラ今個別毎ニ見マズレバ、一萬廻ノ銑鐵一貫主義ノ施設者モアルデアリマス、或ハソレ以下ノモノモアルカモ知レマセヌガ、ソレヲ抛ットクカ、斯ウ云フ問題デアリマス、併シ政府

トシテハ大局カラ觀察ヲシテ、サウシテ此點ナラバ將來基礎ニ確信ガアルト云フ意味合ニ於テ之ヲ得タノデアリマス、併ナガラ獎勵金ガウント出シ得ベキコトデアリマシタナラバ、ソレハ小サイモノニモヤツタ方ガ宜シイデセウガ、獎勵金ノ方面カラ見マシタ所デ、中サウハ參リマセズ、又實際ニ於テ三萬五千廻以下ノモノハ除去シテ居ル、ソレハドウ云フ譯カト言ヘバ、算盤ガ取レヌカラデアアル、算盤ガ取レヌ結果ハ、詰リ損害ガ甚シイト云フコトニナルニ相違ナイ、少シデモ算盤ガ取レバ當業者ハ無理ヲシテデモヤルガ、無理ヲシテモヤルコトガ出來ナイノハ、即チ其損害タルヤ餘程甚シイモノデアアル、斯様ニ一般的ニ見ルノガ當然デアラウト思フ、併ナガラ先ノ御話ノ自分ノ所デ拵ヘタ五百廻ノ銑鐵ヲ鋼鐵ニスルト、銑鐵一貫主義ノ此銑鐵ニ對シテハ、補助ガ無クテ、ドウモ權衡ガ取レナイデハナイカト云フ御話デアリマスカ、賣ル方ノ銑鐵業者ノ銑鐵ハソレヲ鋼鐵ニスルト云フ前提ノ下ニ出來テ居ル銑鐵デアアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ其獎勵金ヲ受ケル者ハ、所謂五百廻ナラ五百廻ヲ一貫シテ行ク所ノ製鐵業者ニ與ヘルノデナクシテ、銑鐵カラ鋼鐵ニ移ス、其意味ニ於テ作製セラレタ銑鐵業者ニ與ヘルノデアアル、ソレデアアルカラソレガ地ニナラウガ、何ニナラウガ、矢張銑鐵一貫主義ノ趣旨ヲ

以テ獎勵ヲ與ヘルコトニナルノデアリマス、私ハ其點ニ對シテハ少シモ矛盾ガナイト信ジマス、唯問題ニナルノハ、金光君、森君ノ仰シヤツタ範圍ヲ擴ゲテヤッタラドウカ、一貫主義ナラバ一貫主義デ徹底的ニヤッタラドウカ、一貫主義ナラバ廻數ニ制限ヲ置カズニ總テ一貫主義デ、其廻數ヲ目安ニセズニ、兎ニ角銑鐵一貫主義ヲ總テニヤツタ方ガ利益デアナイカト云フ御意見デアッタノデアリマス、併ナガラ今申上ゲマスカヤウナ工合デ——成程ソレモ宜イカモ知レマセヌガ、先ヅ政府ト致シマシテハ大量生産デ、將來確實ニ基礎ガ定ルベキモノヲ目安ニシテヤツタ譯デアリマス、其以外ニ於キマシテハ或ハ意見ノ相違ガ多少アルカモ知レマセヌケレドモ、先ヅ政府ノ探リマシタ標準ハ今申上ゲルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ百廻爐ト云フコトニ付テ先程來色ノ議論ガアリマシタガ、是ハ技術上ニ屬スルコトデアリマスカ、野田技監ノ申シタ通りデアアルト考ヘテ居リマス

○永田委員 此間關稅定率法ヲ通シマス時ニ、商工大臣ガ二回程——一回ハ祕密會、一回ハ懇談會ヲ開イテ、大部旨ク出來テ居ルト思ッテ實ハ安心シタルデアアルガ、愈之ニ掛ッテ見ルトオカシイト思フ所ガ多イ、ドウモ只今政府委員ノ御説明ガアリマシタガ、元々出方ガ少シオカシカッタカラ迷ッテ居ッタガ、今ノ點ナドモ十萬廻ノ製鋼能力ガアッテ

一萬颯ハ自分ノ所デ「ホットメタル、システム」デアル、サウシテ、ソレガ引合ッテ居ルカラヤルガ——休ンデ居ル所ハ別トシテ、ヤッテ居ルモノモ二三箇所アル、サウシテ只今政府ノ御説明ニナッテ家デ拵ヘタモノニハ三圓ノ補助金モ出サスト云フコトニナッテシマフト、今マデハ引合ッテ切角一萬颯ダケハ「ホットメタル、システム」デヤッテ居ルモノガ廢メテシマフ、今休ンデ居ル所ガ復活セヌノハ已ムヲ得ヌトシテモ、今ヤッテ居ルモノマデモ廢メテシマフノデアリマス、片方デハ五圓モ安イ「ズク」ガ買ヘルカ、家ガ一貫作業デアルガ、時ニハ一錢モ貰ヘナイノデヤリ切レナイ、ソレデ先程モ申ス通り關稅ナラバ市價ガ高クナルガ、獎勵ナラバ安クナルノデアル、「ホットメタル、システム」ラヤッテ居ル分ダケハ餘計殖エルコトニナッテ來ルガ、今迄ヨリモ狀態ガ悪クナッテ、却テ作業ノ繼續ガ出來ナイコトニナラウト思フ、ドウモ是等ノ點ハ何等カ救濟ノ方法ヲ御考ヘニナラナケレバイヤカヌダラウト思ヒマス

○野村政府委員 永田君ハ三萬五千颯以下ノ銑鐵ヲ現在ヤッテ居ルガ、ソレヲドウモ獎勵セヌノハ不都合デアアル、斯ウ云フ御説デアリマスケレドモ、實際ニ於テ三萬五千颯以上ノ銑鐵ラヤッテ居ルコトハ事實ニナイノデアリマスカラ、ソレニ獎勵金ヲ交付シナケレバナラヌ、斯ウ云フノハ金光君ハ獎勵金ヲ交付スレバ物ニナリハシナイカト云フ假定的議論ヲ挾マナケレバ、今ノ御議論ハ出テ來ナイノデアリマス、ドウカ此點ヲ御了解ヲ願ヒタイ

○森委員 私ハ永田君ノ例ハ一萬颯ト御取リニナッタカラ、今ノヤッテ居ルトカヤッテ居ラナイト云フ問題ガ起ル、大體此法案ハ三萬五千颯百颯爐トカ、規定スベカラザル數字ヲ規定セラレタ本案ガ抑不備デアルガ假ニ三萬五千颯ノ設備ヲ有スル整鋼所ガ、三萬五千颯ダケガ自分ノ所デ出來テ、ソレガ「ズク」湯トシテ冷サズニ使ヘル、ソレデ外ニ五千颯ト云フモノヲ他カラ冷エタ「ズク」ヲ買ッテ來ル、サウスルト五千颯ハ、補助ヲ貰フガ、自分ノ所ニ出來タ三萬五千颯ハ補助ガ貰ヘヌト云フコトニナル、殊ニ礦石ノ歩合ニ依テハ三十颯爐デモ、若シ一貫作業主義ニ働イタナラバ確ニ經濟ニナル、今回ノ補助ハ幅ガ狭イ、爲替ガ違ッタトカ、雜費ガ一寸違ッテ來レバ直チニ引合フ引合ハナイト云フ問題ガ起ッテ來ル、サウ云フ場合ニ冷サズニ使ヘバ五十颯爐デモ引合フト思フ、又特殊「ズク」ヲ使フモノモアルノデアリマスカラ、ソレニ對シテハドウ云フ方針デ爲サレカ、矢張三萬五千颯ト云フ數字ヲ當嵌メラレノデアルカ、ドウモ吾々ニハ分ラナイ、大體大量生産ガ主ダト云フガ、大量生産ト云ヘバ普通ノ「ズク」ヲ三萬五千颯ト云フヤウナ少サナ數字ニ制限サレルト

云フコトハイケナイ、ソレヲ唯不完全ナル、據ル可カラザル數字ニ當嵌ッタカラト云ッテ其一部ヲ無駄ニシテシマセウト云フコトハ、國家ノ能率ノ上ニ於テ非常ニ損デアアル、幸カ不幸カ此法案ノ中ニ補助ノ條件ト云フヤウナコトハ、勅令ヲ以テ定メラレル餘地ガアルノデアルカラ、其點ハ之ヲ有效ニ御使用ニナルコトニ御變更ニナルコトガ相當ト思フ、若シ政府デ以テ此點ヲ飽マデ固執サレルナラバ、吾々ハ法ノ不備ト云フ點ニ付テ賛成スルコトガ或ハ出來ナイカモ知レナイ、僅ニ三萬五千颯トカ、百颯爐トカ、百五十颯爐トカ言ハレタコトハ間違デアアル、技術上、實際上カラ間違デアアル、サウシテ此數字ニ準據シタ結果直ク問題ガ起ッテ來ル、是ハ私ハ、寧ロ質問デナイカ知ラヌガ、勅令ニ依ルト云フ條項ガアルノデ、幸ニ今金光君ガ指摘ニナッタヤウナ點ハ、政府ニ於テモ手加減ヲスル、サウシテ有效ニ既設備——新シク造ルノデハナイ、既設ノモノヲ過渡期ノ間活カス、而モ是ハ永久的ノ法律デナイ、年限ヲ十五年ニ限ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ一ツ御考慮ニナッテ、之ヲ無駄ニシナイ、利用シ得ルモノハ手加減ヲ以テ利用セラルルヤウニスルコトガ必要デナイカト思フ

○野田政府委員 今度ノ獎勵費デ三萬五千颯ニシマシテ、其本ヲ百颯爐ニ置キマシタコトガ甚ダ不當デアルヤウナ

森サンノ御意見デアリマシタガ、ドウモ自分ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、矢張今日ノ本邦ノ製鐵現狀ニ照シマシテ最低百颯爐トシマシテモ、必ズ一日ニ百颯出來ルノデハナイ、百颯ノ計畫ヲ以テ立テタモノ、年三萬五千颯ヲ造リ得ル計畫ヲ以テ立テタ爐ト云フコトニ致シタコトハ、正シイト思ッテ居リマス、ソレハ或ハ百五十颯デモ宜カラウ、二百五十颯デモ宜カラウト云フコトニナリマスケレドモ、ソレハ何處へ一本線ヲ引カト云フコトハハッキリシマセヌノデ、詰リ三萬五千颯ヲ年々造リ得ル計畫ニ依テ出來テ居ル爐ト云フコトニシタノデアリマス、一日二十颯出來ル爐ヲ持ッテ居ルカラ、其爐モ働カシテ熔銑ヲ造ッタラドウカト云フ御説モ、銑鐵ノ價格ガ外國カラ來マスモノガ、大戰中ノ如ク非常ニ高イ時代ニハ出來マス鑛滓ガ非常ニ價デ賣レマシタ時代ハ宜カッタカモ知レマセヌケレドモ、今日外國カラ優秀ナ安イモノガ段々這入ッテ來ル時ニ當ッテ、又一方印度ノ安イ銑鐵ガ這入ッテ來ル時ニ當ッテ、「コトクス」ガ非常ニ澤山要リマス、其爲ニ又「コトクス」ヲ買ハナケレバナラヌ、或ハソレダケノ爲ニ鑛石モ集メナケレバナラヌ、運搬ニシマシテモ何ニシマシテモ、總テノ點ニ於テ不便デアリマス、一日二十颯三十颯ト云フヤウナ爐ハ到底將來ノ競争場裡ニ立ッテ行ケナイト當局ハ見テ居ルノデ

云フコトハイケナイ、ソレヲ唯不完全ナル、據ル可カラザル數字ニ當嵌ッタカラト云ッテ其一部ヲ無駄ニシテシマセウト云フコトハ、國家ノ能率ノ上ニ於テ非常ニ損デアアル、幸カ不幸カ此法案ノ中ニ補助ノ條件ト云フヤウナコトハ、勅令ヲ以テ定メラレル餘地ガアルノデアルカラ、其點ハ之ヲ有效ニ御使用ニナルコトニ御變更ニナルコトガ相當ト思フ、若シ政府デ以テ此點ヲ飽マデ固執サレルナラバ、吾々ハ法ノ不備ト云フ點ニ付テ賛成スルコトガ或ハ出來ナイカモ知レナイ、僅ニ三萬五千颯トカ、百颯爐トカ、百五十颯爐トカ言ハレタコトハ間違デアアル、技術上、實際上カラ間違デアアル、サウシテ此數字ニ準據シタ結果直ク問題ガ起ッテ來ル、是ハ私ハ、寧ロ質問デナイカ知ラヌガ、勅令ニ依ルト云フ條項ガアルノデ、幸ニ今金光君ガ指摘ニナッタヤウナ點ハ、政府ニ於テモ手加減ヲスル、サウシテ有效ニ既設備——新シク造ルノデハナイ、既設ノモノヲ過渡期ノ間活カス、而モ是ハ永久的ノ法律デナイ、年限ヲ十五年ニ限ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ一ツ御考慮ニナッテ、之ヲ無駄ニシナイ、利用シ得ルモノハ手加減ヲ以テ利用セラルルヤウニスルコトガ必要デナイカト思フ

○野田政府委員 今度ノ獎勵費デ三萬五千颯ニシマシテ、其本ヲ百颯爐ニ置キマシタコトガ甚ダ不當デアルヤウナ

森サンノ御意見デアリマシタガ、ドウモ自分ハサウ云フ風ニ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、矢張今日ノ本邦ノ製鐵現狀ニ照シマシテ最低百颯爐トシマシテモ、必ズ一日ニ百颯出來ルノデハナイ、百颯ノ計畫ヲ以テ立テタモノ、年三萬五千颯ヲ造リ得ル計畫ヲ以テ立テタ爐ト云フコトニ致シタコトハ、正シイト思ッテ居リマス、ソレハ或ハ百五十颯デモ宜カラウ、二百五十颯デモ宜カラウト云フコトニナリマスケレドモ、ソレハ何處へ一本線ヲ引カト云フコトハハッキリシマセヌノデ、詰リ三萬五千颯ヲ年々造リ得ル計畫ニ依テ出來テ居ル爐ト云フコトニシタノデアリマス、一日二十颯出來ル爐ヲ持ッテ居ルカラ、其爐モ働カシテ熔銑ヲ造ッタラドウカト云フ御説モ、銑鐵ノ價格ガ外國カラ來マスモノガ、大戰中ノ如ク非常ニ高イ時代ニハ出來マス鑛滓ガ非常ニ價デ賣レマシタ時代ハ宜カッタカモ知レマセヌケレドモ、今日外國カラ優秀ナ安イモノガ段々這入ッテ來ル時ニ當ッテ、又一方印度ノ安イ銑鐵ガ這入ッテ來ル時ニ當ッテ、「コトクス」ガ非常ニ澤山要リマス、其爲ニ又「コトクス」ヲ買ハナケレバナラヌ、或ハソレダケノ爲ニ鑛石モ集メナケレバナラヌ、運搬ニシマシテモ何ニシマシテモ、總テノ點ニ於テ不便デアリマス、一日二十颯三十颯ト云フヤウナ爐ハ到底將來ノ競争場裡ニ立ッテ行ケナイト當局ハ見テ居ルノデ

アリマス、ソレガ爲ニ三萬五千噸ト致シマシタノデ、ドウゾ其點ハ御諒承ヲ願ヒタイ

○森委員 私共ハ固執スルノデハアリマセヌガ、政府ハ何故ニ此點ヲ固執サレテ除外例ヲ御認メニナラナイカ、尙ホ政府ニ御尋シマスカ、假ニ三萬五千噸ノ設備計畫ガアル、其計畫ハ政府ガ御認メニナッタトスル、其量ガ三萬五千噸出ナイ場合ニモ、三萬五千噸以下ノ計畫ナリト政府ハ御認メニナツテ、所謂獎勵補助カラ除外サレルカ、事實ハ是ハ三萬五千噸或ハ四萬噸モ一年二年續イテ出ルト云フ例ハ、極ク容易ニ想像ガ、出來ルサウ云フモノニ付テハ如何ナル御取計ヒニナリマスカ

○野田政府委員 ソレハ外國ノ例ニ依リマシテ、凡テ今日ノ本邦ノ熔鑛爐ハ計畫サレテ居リマスルガ、其結果二百噸ノモノガ二百五十噸位出來ル場合モアリマスルシ、或ハ百噸モノガ僅ニ八十五噸位デ終ッタモノモアル從來ノ例デアリマス、ソレ等ノ經驗ト從來ノ知識ハ將來計畫ヲ審查シマス時ニ非常ナル經驗ニナツテ居リマスルノデ、ソレニ商工當局ノミナラズ、日本ノ製鐵所ノ各權威ノ色ミノ意見モ出テ居リマスルノデ、ソレ等ヲ綜合シマシテ今日ノ知識ニ依テ百噸ト認メルヨリ外任方ガナイト思ヒマス

○森委員 成程今日ノ知識ヲ集メラレテノ御判斷デアリマスカラ、間違ハナ

イノデアリマセウ、吾々ハ外國ノ例ハ知リマセヌガ、吾々ノ能ク知ツテ居ルノハ日本ノ現在ノコトデ、金光君ノ言フタノモ日本ノ國狀デアルト思ヒマスガ、ソレニ副ハスト云フノデアリマス、現ニ吾々ノ知ツテ居ルノハ東洋製鐵ノ爐ガ百五十噸デ、ソレガ數年間百噸位ニナツタノデアリマス、ソレカラ偶然ニモ百八十噸出タガ、今日ハ百六十噸此爐カラ出テ居リマセウ、ソレカラ本溪湖ノ大倉組ノ鑛爐ト記憶シテ居リマス、是ハ滿鐵ガ持ヘタノデアリマス、此爐ハ確カ百噸以上ト思ヒマスガ、是ハ暫ク百噸ナイデ數年間困ツテ居ッタガ、其後研究ノ結果初メテ役ニ立ッタト云フ爐デアリマス、進歩シタ外國ノモノデアレバ左様ナコトハナイカモ知レヌケレドモ、是ハ幼稚稚ナ日本ノ國狀ニ考ヘテ、金光委員ノ言ハルヤウニ特別ノ場合ヲ考ヘテ、無駄ノナイヤウニ過渡期ノ間、除外的ニ援助ヲ與ヘルト云フコトガ至當ト思ヒマス、ソレヲ茲ニ固執スルト云フコトハ實際ニ當嵌ラヌヤウニ思ヒマス、何故ニ斯様ニ固執セラルルノデアルカ、了解ニ苦ムノデアリマス

○野田政府委員 爐ノ容積ト能力ト云フヤウナコトハ各使ヒマス鑛石、其地方ノ空氣ノ濕度、ソレカラ、使ヒマス「コトクス」ノ品質等ニ依リ、只今ノ所デハ從來ノ經驗ニ依テ爐ノ容積カラ大略見當ヲ付ケルコトニ商工當局デハ考

ヘテ居リマス、是ヨリモ小サイ爐ニ付キマシテハ現在ヤツテ居リマセヌノデ、又經濟上ヤレナクナツテ居リマスノデ、日本ノ現狀ニ於テハ矢張當局ノ只今申シマシタ百噸ヲ程度ニシタイト思ツテ居リマス

○森委員 私共ハドウモ只今ノ政府當局ノ御答辯デハ満足スルコトガ出來ズ、此御答辯デヤツテ行ッタナラバ金光委員ガ指摘サレタヤウナ事柄ガ非常ニ無駄ニナリマス、其無駄ニナルト云フ原因ハ當局ガサウ云フヤウナ一ツノ方針ヲ立テラレテ、ソレヲ固執サレルト云フコトニ依テ生ズル結果デアラウト思ヒマス、即チ是ハ本法案ノ不備ト云フ結論ニナルノデアリマスカラ、私共ハ之ヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、是ハ當業者カラ金光委員ガ聞カレタコトニ依テモ、當業者ハ相當ニ見込ヲ立ツテ居ルニ相違ナイ、ソコデ前段申スヤウニ、勅令デ數字其他ヲ命ズルト云フヤウニ政府ガ強制的御見解ニ依テ認定セラレルノデアリマスカラ、此間ニ相當餘地ヲ取ツテ、除外例ヲ或ル程度マデ御認メニナツテ、實情ヲ一ツ救助サレルト云フコトニ御取計ヒアラシコトヲ御

勸メ申上ゲマス

○坂梨委員 私ハ本案ニ對シテノ質問ハ其途ニ知識ヲ有セラレル同僚先輩ガ質問サレマスノデ、私ハ質問ヲスル考ハ持チマセヌデアリマシタガ、先刻ノ商工省ノ參與官大藏省ノ參與官ノ御答

辯ニハ、私ハ甚ダ驚キマシタ、殊ニ大藏省ノ參與官ノ御答辯ニ付キマシテハ、ドウモ私ナドニシテ見マス、滿蒙ノ政策ノ此理想ノ上ニ大ナル影響ヲ來シハセヌカト云フ虞ヲ持チマスノデ、極ク簡單ニ一言御質問ヲ致シマス、此滿蒙政策ノ理想ノ實現ガ洵ニ遲々トシテ進ミマセヌコトヲ遺憾トシテ居リマスルガ、外務省邊リニ付テ質シマスト如何ニモ歐米列強ノ爲ニ思フヤウニイカスト云フコトガ、何時モ私共ノ質問ニ答ヘラレル言葉デゴザイマスガ、私ナドノ考デハサウモアリマセウガ、ソレヨリモ寧ロ此内ニ一致ヲ見ナイコトニ恐ラク原因シテ居ルノデアラウト思フ、或ハ前ノ内閣ト後ノ内閣ハ一向意見ガ一致ヲシナイ或ハ外務省ノ意見ト陸軍ノ意見ト一致ヲシナイト云フガ如キ、内ノ一致ヲ見ナイガ爲ニ滿蒙政策ノ理想ノ實現ガ後レテ居ルト云フコトハ、屢滿洲ニ參リマス私ト致シマシテハ、痛烈ニ之ヲ感ジテ居ル一人デゴザイマス、此二十一箇條ノ條約ノ中ノ、殊ニ商租問題ハ、條約ガ大正四年ニ締結サレテ居リマスノニ、今日尙ホ其實現ヲ見ナイト云フガ如キコトハ、如何ニモ私ナドハ奇怪千萬ニ思フノデアリマス、私ハ屢滿洲ニ參リマスガ、昨年モ二三箇月許リ哈爾濱カラアノ邊ヲ調べテ來マシタガ、當時商租問題ノ解決ヲ望ンデ、之ヲ當テニ滿鐵ニ居ル者ガ多ク

タノデアリマスカ、是ガ實現ヲ見ナイ

ガ爲ニ、今日デハ段々逆戻リノ姿ニナッテ居リマス、哈爾濱ハ多イ時ニハ一萬五千人モ居ッタガ、今日デハ三千人位ト云フヤウナ、沿線各地ハサウ云フ狀況デアルノヲ私ハ甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、是ハ今申上ゲタヤウナ内ノ不一致ノ爲ニ是ガ實行ガ出來ナイ、是ハ歐米ノ列強ガ如何ニ言フタ所デ一致ヲ見テ、國運ヲ賭シテヤッタナラバ、既ニ條約ガ出來テ居リ、協定ガ出來テ居ル以上、實行ガ出來ナイト云フコトハナイト思ヒマス、私ナドハ豫テ滿洲ニ於ケル工業商業ハ總テ日本ノ延長デナケレバナラス、寧ロ滿洲ニ於ケル工業ノ方ハ本家ヨリモ、例ヘバ工場ト致シマスレバ日本ノ工場ヨリモ良イ技師ヲ派遣シ、又將來内地ノ商人ヨリモ餘計ナ資本ヲ持ッテ居ル者ガ向フニ行クト云フコトニ力ヲ入レテヤリサヘスレバ、是ガ一番良イコトト思ヒマス、先刻大藏參與官ノ御答辯ニ付テハ甚ダ私遺憾ヲ感ジマシタガ、永田君、森君ノ御質問ニ對シテ商工參與官ノ御答辯ハ稍私満足ノ意ヲ表スルコトガ出來タノデアリマスカラ、是以上質問ヲ申上ゲルコトハナイト思ッテ居リマシタガ、大藏參與官ノ御答辯ニ依リマス、甚ダ不滿遺憾ノ點ガアルヤウニ心得ヘマス、此滿洲ニ於テハ工業ハ日本ノ工業ノ延長ト見テ御出デニナルノデゴザイマセウカ、マルデ別ナモノト見テ居ルカドウカ、之ヲ御尋致シマス、ソレカラ斯ウ云フ

重大ナ事ニ關シテ、農林省當局ト大藏省當局トガ一致シタ意見ヲ御持チナラヌコトハ、不審ト思フノデアリマスガ、ドウ云フコトデサウ云フ一致ヲ見ナイヤウナ御答辯トナッタノデアリマスガ、此點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス
○片岡國務大臣 私ハ先刻ノ問答ヲ直接伺ッテ居リマセヌノデ、一寸要點ガ分リ兼ネマスガ、問題ハ何デアッタノデセウ
○永田委員 先程斯ウ云フ問題ガ出來タノデアリマス、先般關稅委員會デ色製鐵ニ關スル内容ノ御話ガアリマシテ、其際ニ本溪湖並ニ鞍山ノ兩製鐵所ハ、矢張日本ノ製鐵所豫算ノ範圍内ニ這入ッタモノト當局ハ認メル、併ナガラソレニ對スル補助、保護ノ方法ハ、法律關係モ異ッテ居ルノデアルカラ、同ジヤウニハ行カヌ、同ジヤウナ形式ニハ行カヌガ、其精神ハ同ジダト云フ御話ヲ承ッテ居ッタノデアリマス、其點ヲ商工參與官ニ御尋致シマシテ、ソレニ對スル明確ナル御答辯ガアッタ、續イテソレニ對シテ戸澤君カラ、既ニ本日出シタ案ノ中ニ、第一段ニハ六圓、第二段ハ五圓、第三段ハ三圓、斯ウ云フコトヲ勅令ヲ以テ定メルト政府ガ説明ヲサレタガ、サウ云フ風ニ率マデハキリナッテ居ル以上ハ、此本溪湖並ニ鞍山製鐵所ノ銑鐵ニ對スル補助ニ對シテモ、其率ガドコニアルカ、大體ソレハ等シイモノデアアルカドウカ、斯ウ云フ事ヲ御尋

シタ譯デアリマス、ソレニ對シテ大藏參與官ハ、趣旨ハ認メルガ、マダ一向其點ハ極ッテ居ラヌ、且ツ其率ヲ同ジニスルト云フヤウナコトハ、全然考ヘテ居ラヌ、斯ウ云フ事ヲ申サレテ、且ツ此法案ハ關稅増率ノ點ヲ不明ニスル爲ノ案デアアルカラ、單ナル滿洲ニ於ケル銑鐵ヲ專門トシテ居ル二ツノ製鐵所ニ關係シテ、此法律ガ十分ニ當嵌マルカドウカト云フコトニモ、多少疑ガアルト云フヤウナ口吻ノ下ニ、此率ヲ今日定メル譯ニ行カヌ、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、其際ニ於キマシテ非常ニ強ク此法案ガ出タカラ、ソレニ適合シナイモノハ後トカラ考ヘルト云フ意味デアッテ、頗ル此兩製鐵所ニ對スル政府ノ御考ガ洵ニ輕イ意味ニ取扱ハレテ居ルヤウナ口吻デアッタノデアリマス、ソレデ森君カラモ私カラモ更ニ御尋シタト云フ次第デアリマス、又野村參與官カラモ御話ガアリマシタガ、ドウモ野村參與官ハ餘程其點ハ御同情ヲ持ッテ居ルヤウデアアルガ、大藏省ハ其方ハ冷淡デ、即チソレニ當ラヌモノハ、成ベク人デモ減ラシテ見タイト云フヤウナ頭デ居ラレルト云フヤウニ受取レタ、其點デ遂ニ其問題ニ對スル質問應答ハ中止ヲセラレマシテ、更ニ商工大臣ノ御出席ヲ願ッテ、是等ニ對シテ御明答ヲ煩ハシタ方宜カラウト云フコトニナッテ居リマス
○片岡國務大臣 御質問ノ要旨ハ、鐵

ノ方ガ主デアラウト存ジマスガ、例ニ滿洲租借地ノ事ヲ御述ベニナッタノデアリマス、是ハ御尋ノ主眼デハナイト存ジマスカラ、其點ニ向ッテハ敢テ答辯致シマセヌガ、併シ是ガ解決ガ付カナイノハ、内ガ不一致デアルト云フコトニ基イテ御述ニナリマシタガ、是ハ必シモサウデハナイノデアリマス、此問題ハ洵ニ長キ事デアリマシテ、左様ニ思召スノモ必シモ無理デナイカモ知レマセヌガ、御承知ノ通り支那ノ状態ハ内亂打續キ、又時トシテ排外運動等ヲ繼續スルト云フヤウナコトデ、之ヲ徐ロニ解決スル所ノ相手サエ、確カナ相手トシテ掛ルベキモノスラ捉ヘ難イト云フガ如キ狀況ガ續イテ來テ居ルノデアリマシテ、滿洲ノ將來ニ對シテノ發展ヲ期スルニハ、アア云フ問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フガ如キコトハ、商工省トシテモ頻々憂慮致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ畢竟相手方ノ國ノ状態ガ鎮マラス所ヨリシテ、解決ヲ見ルニ至ラヌト云フコトガ主ナ原因デアッテ、内ガ一致シナイデ解決ガ出來ナイト云フコトデハナイノデアリマス、今御尋ニナリマシタ滿洲方面ノ鑛業ヲ日本ノ鑛業ノ延長ト見ナイカ、是ハ簡單ナ御尋デハアリマスガ、其通リト御答シタイヤウナ心持モシマスガ、サウ御答スル方ガ穩當カ不穩當カ、兎ニ角日本ノ勢力範圍デアッテ、日本人ガ日本ノ金ヲ以テ仕事ヲ致シテ居リマスカラ、之

ヲ内地ニ與フルノ保護誘掖ト同ジ程度ニ、彼ノ地ニ及ボサナケレバナラヌカト云フコトハ、同一デアルト思フテ居リマス、隨テ個々ノ問題ニ至リマシテモ、

滿洲ニハ御承知ノ通り鞍山ニ於テ銑鐵ガ出來ルヤウニナツテ、今後一年ニ二十萬噸位ハ出來ルヤウニナラウ、斯ウ云フ見込ヲ立テ居ルヤウナ次第デアリマス、又本溪湖ニ於キマシテモ、今日マデ銑鐵ハ御承知ノ通り出來テ居ルノデアリマス、今回鐵ノ國策樹立ノ際ニ當ツテ、是等ヲ度外視スルコトヲ許サナイコトハ勿論デアリマス、サリナガラ滿洲ハ我が領土デナイ、其領土ニ施行スル法規ヲ彼ニ直ニ適用スルコトガ出來ナイノハ、是ハ當リ前ノ事デアアル、ソレカラ又既ニ領土ヲ異ニスル國ニ於テモ、日本ノ事業家ニ依テ銑鐵ガ出來テ居ル、之ニ對シテ相當ノ補助成金ヲ遣ルト云フ、斯ウ云フコトニスルト假定シタナラバ、ドウスルカト云フ問題ニナル、之ヲ放任スルハ怪シカラヌト云フ論モ起ル、是ハ理窟ヲ以テ行ク譯ニハ行キマセヌ、唯一言ヲ以テ申セバ、日本ノ製鐵事業其モノハ、滿洲ヲ度外視スルコトヲ許サヌ、即チ包含シテ考ヘネバナラス、是ダケ申シテ宜シイ、而シテ其方法ハ是ハ別途ノ考慮ニ俟ツベキモノデアアル、今ノ獎勵法ノ通りニ、即チ金何圓トカ、何圓トカヲ請求スルト云フコトハ、露骨ニ言ヒ現ハスベキモノデナイ、而シテ之ヲ別途ニ考慮スルト云

フコトニ付テハ、大藏大臣ト私ノ意見ノ相違ハ致シテ居リマセヌ、是ダケ申上ダレバ御諒察下サルコトガ出來マセウ

○戶澤委員 御言葉尻ヲ捉ヘル譯デアリマセヌガ、私ハ商工大臣ノ御答辯ニハ實ニ驚イタノデアリマス、今日ノ滿洲ト日本内地トノ關係ハ、最初ノ御言葉ノ中デハ、商工省トシテハ内地同様ノ取扱ヲ以テ臨ミタイ、同等ノ程度ヲ以テ臨ミタイト云フ御言葉デ、洵ニ御尤デアアル、然ルニ其後段ニ至リマシテハ、倍テ鐵ノ問題ニ關シテ滿洲ヲ内地同様保護スルカト云フコトハ、滿洲ハ我が領土デナイ、ソレ故内地ノ法規ヲ適用スルト云フコトハ無理デアアル、是ハ尤デアアル、併シ我カ内國ノ人ニシテ印度ニ於テ鐵ノ製作業ヲ營ンデ居ル者ガアル、滿洲ヲ日本同様程度ニ保護シタラ、印度ニ於ケル者ガ理窟ヲ云フ、此御言葉ハ吾々商工大臣ト心ヲ同ジクスル者ガ聽ケバ、凡ソ其意味ノ間違ッテ居ルノデナイコトハ分リマセヌガ、緣ノ遠イ者ガ聽ケバ非常ニ間違ッテ聽ク、何故ニ日本ノ商工大臣ハ對滿洲ト對印度ト同ジ程度ニ取扱ハヌカ、是ハ言語同斷デアルト云フ誤解ヲ招ク虞ガアリマス、私ハサウ云フ御言葉ノ意味デハナイト考ヘマスカラ、其點ニ付テハ只今ノ御答辯ニ關シテモウ一ツ明確ニ商工大臣ヨリ聲明サレタ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、是ガ私ノ意見デアリマス、鐵ニ關スル問題ハ、今日内地ニ斯ノ如キ法規ヲ適用シテモ、滿洲ハ無論我が日本ノ領土デハナイガ、日本ノ特殊ノ事業地トシテ、是ハ支那ニ對シテ、毫モ遠慮サレナイ特殊ノ事業地トシテ、内地同様ノ方法程度ニ依テ事業ノ助成ヲシテ行キタイト云フコトヲ、責任アル御言明ヲ當局カラナサルコトガ、對外的ニモ差支ナイノミナラズ、他ノ方面ノ内地人、又之ニ關係ノ吾等ニ對シテモ、洵ニ今ノ點ヲ明ニシテ置イテ戴キタイ、今回内地ニ此補助法案ガ出來マセヌガ、更ニ滿洲ノ事ヲ考慮サレルニ付テハ、其滿洲ニ於ケル事業ノ保護ノ程度ハ、内地ト同様ノ程度ニ保護シヤウト云フ御意見デアアルノカ、更ニ又其御意見ノ内容ハ、其方法手段ヲ如何ニスルカハ別問題トシテ、大正十六年度カラ實現サレヤウト云フ御意見ヲ持ッテ居ラレルノカ、其點ヲ明瞭ニシテ戴クコトガ出來レバ非常ニ好都合デアルト考ヘマセヌ

○片岡國務大臣 單純ナル理論上カラ言ヘバ、御尋ノヤウナコトモ御無理トハ思ヒマセヌ、併ナガラ是ハ冷靜ニ御考下サルト、私ノ申シタ意味ガ能ク分ルト存ジマス、要ハ滿洲方面ニ於ケル當業者ガ、是デ差支ナイト云フコトデ満足スレバ先ツ宜シイ、詰リ誤解ガ起ルトカ起ラヌト云フヤウナ程度ノ所ガ、甚ダ是ガ宜シキヲ得タ所デ、味ヒノアル所デアリマス、大正十六年ヨリヤ

ルカト云フ御尋ニ對シテハ、無論十六年度ヨリヤラナケレバ、本年度ハモウ間ニ合ハズ致方ガナイ、十六年度ニ於テ考慮スル積リデアリマス

○森委員 三木大藏參與官ノ御答ト、野村商工參與官ノ御答トノ間ニ相違シテ居リマシタ點デ、只今永田君竝ニ戶澤君ノ御指摘ニナリマシタ點以外ニ尙ホ一點アルノデアリマス、ソレハ三木君ハ、滿洲ニ於ケル鐵事業ヲ内地同様ニ發達獎勵サスト云フ意思ハ、持ッテ居ラレナイヤウデアアル、即チ内地ノ銑鐵一貫主義ノ下ニ發達サセルト云フ其目的ノ助成トシテ、滿洲カラ來ル銑鐵ニハ援助ハ吝マナイガ、滿洲其モノニ於テ銑鐵一貫主義ノ下ニ發達シタ製鐵事業ハ、内地ト同様ニ取扱フ意思ハナイト云フ意味ノ御答デアッタノデアリマス、ソレデ問者、即チ永田君、戶澤君ノ御意見ハ、滿洲ニ於ケル製鐵事業ハ、銑鐵一貫主義デアルト否ト問ハズ、其發達ハ内地同様望ム、斯ウ云フ御考デアルト私ハ思フ、此點ニ付テ大藏當局ノ御答辯ト商工當局ノ御答辯ハ違フノデアリマス、私ガ之ヲ三木君ニ指摘シテ問フタラ、是ハ一ツ商工大臣ノ出席ヲ求メテハッキリサセテ吳レタ方ガ都合ガ好イト云フ「サゼシヨシ」ガアッタカラ、ソレデ特ニ御質シ致シタ次第デアリマス、ソレデ此點ニ對シテ御答ヲ得タイノデアリマス、是ハ或ハ問題外デ、他ノ諸君ニハ御迷惑デアアルカモ知レマ

セヌガ、今ノ坂梨君ノ御言葉ニ對シテ
 商工大臣ノ御答ニナツテ居ル中デ、吾ミ
 ガ甚ダ妙ニ感シタ點ガアル、又將來ニ
 是ハ重大ナ關係ガアルト思ヒマスカ
 ラ、此際商工大臣ハ此點ヲ、若シ御便宜
 デアッタナラバ御取消ニナリ、御訂正下
 スッタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、滿
 洲ノ租借地ノ事件ガ片付カナイノハ、
 坂梨君ハ内ノ不統一ニ困ルノデアルト
 言ハレ、商工大臣ハ内ノ不統一デハナ
 イ、是ハ對手方ニ依ルノダ、支那政府ガ
 惡イカラソレデ極ラナイト云フ御答デ
 アッタ、所ガ外務省ハ、滿蒙ノ問題ニ對
 スル支那政府、即チ對手方ハ確カデア
 ルト云ウテ居ル、現ニ其見地デ鐵道ノ
 問題トカ、關稅問題トカ、治外法權撤去
 問題トカ、色々重大ナ國家問題ヲ吾ミ
 ハ認メテ、不確デアルト云フ商工大臣
 ト同ジ意見ヲ以テ支那ヲ相手ニヤツテ
 居ル是ガ商工大臣ノ支那政府觀、外務
 大臣其他ノ國務大臣ノ支那政府觀ト非
 常ニ違フ點デアアル、是ハ非常ニ大キナ
 處デアルト思フ、是ハ今直接關係アリ
 マセヌガ、偶々此處ニ出マシタ問題デ
 アリマスカラ、尙ホ一ツ國務大臣トシ
 テ責任アル御辯明ヲ願ヒタイト思ヒマ
 ス

ナガラ相手ガ弱イカラトカ何トカ云フ
 コトハ、言ヒ過ギタカモ知レマセヌガ、
 是ハ一國ガ存シテ居ル以上ハ、左様ナ
 コトニ互リマシタ言葉ガアリマシタナ
 ラバ、ソレハドウカ御取消ヲ願ヒタイ、
 兎モ角内爭打續キ、條約ノ根本ハ作ッテ
 居リマスカ、之ヲ實行スルマデノ相互
 ノ疏通ヲ進メテ行クト云フ時期ニ到達
 スルコトガ彼ノ國ノ内情ガ紛擾打續ク
 爲ニ斯ル問題ヲ常ニ持出シテ行クト云
 フ時期ガ自然ニ後レテ行クト云フコト
 ハ私ノ觀察デアリマス、國務大臣トシ
 テモ別ニ變リマセヌ、併ナガラ事柄ニ
 依テ、今關稅ノ改正等ノ話ヲシテ居ル、
 ソレガ出來ルナラバ是ガ出來ルト云フ
 ガ如キ、理窟ヲ言ヘバ相當理窟ハ立チ
 マセウ、是ハ又人々ノ見ル所ニ任スヨ
 リ外ゴザイマセヌガ、私ハ左様ニ考ヘ
 テ來テ居ルノデアリマス、ソレカラ三
 木參與官ガ御答ヲ致シタコトニ付テ、
 御疑念ヲ御懷キニナツタト云フコトハ、
 是ハ承ツテ見ルト無理カラヌコトデア
 リマス、私ハ大藏大臣語合フコトハ、マ
 ダ三木君ノ所マデ徹底シテ居ラヌカモ
 知レマセヌト思ヒマス、大藏大臣ガ出
 席シテ居レバ、此處へ出席ヲ求メテ私
 ト意見ガ違ッテ居ルカドウカ御確メ下
 サレバ能ク分ルノデアリマスガ、生憎
 昨夜以來咽喉ヲ痛メテ寢テ居ラレト
 云フコトデアリマス、是ハ商工省ガ此
 問題ノ當局者デアリマスカラ、御信任
 ハ出來惡イカモ知レマセヌガ、御信任

下サルコトヲ望ミヤス
 ○永田委員 商工大臣ノ本溪湖、鞍山
 製鐵所ニ對スル御辯明ヲ得マシテ、非
 常ニ信念ノアル強イ御意思ノ發表ガア
 リマシテ、私ハ深ク喜ビ、安心致シマシ
 タ、兎角大藏省ハ金ヲ出スコトヲ嫌フ
 ノデアリマス、仍テ商工省ニ餘程強ク
 御決心ヲ願ハヌト云フト、又ドウモ妙
 ナ風ニナリマスト甚ダ残念デアリマス
 カラ、今日御決心ヲ承リマシテ、深ク安
 心致シマシタ、此際此問題ハ大抵濟ン
 ダヤウデゴザイマスカラ、此程度デ打
 止メテ置キマスカ、尙ホ附加ヘマシテ、
 ドウカ今日ノ御發表ノ意思ノ通りノ事
 ヲ御運ビ下サイマシテ、坂梨君ノ御心
 配シテ居ルヤウナコトモ、矢張滿洲ニ
 於ケル事業ガ一ツ々々旨ク行カヌ、蹉
 躑ヲスル斯ウ云フコトニナリマスレ
 バ、全ク滿蒙ニ於ケル特殊ノ利權ハ口
 バカリト云フコトデ、實質ハ段々ニ無
 クナツテシマフノデアルカラ、ドウカサ
 ウ云フヤウニ御健闘アランコトヲ切ニ
 希望致シマス

○山本委員 只今商工大臣ガ御説明ニ
 ナリマシタ點ニ付テ、一二疑義ノ點ニ
 付キ質疑致シタイト思ヒマス、此獎勵
 案ノ趣旨ヲ伺ツテ居リマシタガ、此獎勵
 案ノ根本ニ付テ政府ガ銑鐵ト鋼鐵トニ
 對シテ、製鐵國策上カラ見ラレタル重
 要ナル程度、取扱ノ鄭重、即チソレニ依
 テ此案ガ構成セラレタモノデアルト承
 知シテ居リマス、政府ハ先達テノ關稅
 改正案ニ於テ銑鐵ニ對シテハ、從來一
 割五分ノ稅金ヲ一割八分、大體重要鐵
 材ニ對シテハ一割八分ノ改正ノ案ガ出
 マシタ、ソコデ此度茲ニ出マシタ案ガ
 今朝參與官ノ御内示ニ依リマスカレバ、
 一貫シタル銑鐵ニ對シテハ六圓、各別
 ニ最後ニ連結スベキ鋼鐵ニ對シテハ
 〔加藤委員長席長席ヲ退キ與
 村理事代リ着席〕
 五圓、單ナル銑鐵ニ對シテハ三圓ト云
 フコトノ御内示デゴザイマシタ、之ヲ
 以テ只今私ガ申上ゲタ鋼鐵ニ對スル改
 正案ノ率ト比較シテ見マスト、銑鐵ニ
 對シテハ現行率ハ百斤ニ付テ十錢、即
 チ一噸一圓六十八錢、今回ノ銑鐵ニ對
 スル獎勵金ハ三圓、合計シテ四圓六十
 八錢、今日ノ銑鐵ノ市價ニ比較シテ、此
 二ツノモノヲ合セタル金額ハ約一割ニ
 當ルノデアリマス、ソコデ政府ハ國產
 ノ全般ニ互テノ生産ノ獎勵、特ニ其中
 ノ鐵ニ對シテ最モ重要視セラレテ、此
 法案ガ作製セラレタノデアリマスル
 カ、私共ハ理解スルコトガ出來ヌノハ、
 何故ニ鋼鐵ニ對シテ一割八分ノ課稅ヲ
 爲シ、銑鐵ニ對シテハ一割ニ之ヲ止メ
 テ、左様ニ大キナ懸隔ガ銑鐵ト鋼鐵ノ
 間ニ置カレマシタト云フコトハ、甚ダ
 理解ニ苦シムノデアリマス、私共ノ見
 地カラ致シマスト、日本ニ於ケル鑄
 物用ダケデモ、銑鐵ダケノ需用四十萬
 噸、是ハ鋼鐵ニハ關係ナイモノデアリ
 マス、更ニ銑鐵ヲ基礎トシナケレバ鋼

鐵モ出來ヌト云フコトハ、是ハ明カデアラウト思フ、唯政府ガ理想トシテ銑鐵ヲ獎勵スルト同時ニ、專ラ銑鋼ト連絡シタ一貫作業ヲ獎勵スルト云フ一ツノ理想ノ下ニ、此度ノ獎勵案ニ對シテハ斯クナツテ居ルノデアアルガ、併ナガラ銑鐵ト云フモノハ、只今申上ゲタ通り、銑鐵其モノノ使命モ極メテ重要デアアルガ、又鋼鐵ニシテモ銑鐵ナクシテ鋼鐵ノ出來ル理由ガナイ、若シ鋼鐵ニ對シテ一割八分ノ稅率ヲ課シ、銑鐵ニ對シテ輸入稅及此度付與セラルルト云フ獎勵金ヲ加ヘテモ、是ガ一割ニ過ギナイト云フノデアアリマスナラバ、鋼鐵ハ國造ルコトヲ獎勵スルガ、銑鐵ハ之ヲ外國カラ買ツテモ宜イデヤナイカ、關稅ノ數字ノ上カラ考ヘレバサウ見ラレナイコトモナイノデアアリマスガ、私共ハ銑鐵ト稱シ、鋼鐵ト稱シテ甲乙之ニ置クベキモノデナイト考ヘテ居ル、銑鐵ヲ國內デ造ルト云フコトハ、鑛石ノ幾部分ガ國內ニ於テ産スルト云フ點モ、更ニ銑鐵ヲ内地ニ於テ造ルト云フコトハ、石炭ト勞働賃銀ハ悉ク内地ノモノヲ用ヒルカラ、銑鐵ヲ國內デ製造スルト云フ點ニ於テハ、鋼鐵ニ銑鐵ガ劣ルモノデナイト固ク信ジテ居ルノデアアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、此度ノ獎勵案ノ點カラ見テ、何故ニ關稅改正ニ際シテ鋼鐵ノ方デハ一割八分ニシテ、銑鐵ニ對シテハ一割ニセラレタト云フ、大ナル二ツノ差ガ此所ニ現レマシタ御

趣旨ガ、甚ダ不徹底ノヤウニ思ヒマス、此點ニ付テ商工大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○片岡國務大臣 計數ニ互ルコトデアリマスカラ政府委員ヨリ御答サセマスマ
「此是奥村委員長代理退席加藤委員長復席」
○野田政府委員 只今ノ計數ノ問題ニ付テ御答シマスガ、商工省當局デハ約七圓ノ保護ガアリマスレバ、内地ノ銑鐵ハ成立ツト同時ニ、又鑄物ノ需用者ノ方ハ成タケ安イ銑鐵ヲ使ヒタイノデアリマシテ、其所ニ考慮シテ從來ノ一圓六十七錢ヲ法律案カラ引去リマシテ、五圓三十三錢トシ、ソレヲ獎勵法デ銑鐵カラ鋼ニ行クモノニ交付スルト云フ風ニ計算シタノデアリマス、尙ホ續イテ申上ゲマス、鑄物ニ付テ三圓ト申シマスノハ、今回ノ獎勵法ハ鑄物銑鐵ニハ特ニ獎勵金トシテハ出シテ居ラヌノデアリマス、大體銑鐵カラ鋼ニ行キマス爲ニ、造ツテ行キマス今日ノ日本ノ狀態デ冷銑ニナリマス鑄物ニ相當スルモノニモ、獎勵金ヲ鑄物「ストック」ニナリマスモノニモ與ヘマセスト、鋼ニナル銑鐵ノ獎勵ニナラヌト云フ見地カラ、其方ニモ三圓宛ヲ交付スルコトニナツタンデアリマス、ソレデ鑄物ノ方ニハ銑鐵デ造ル場合ノモノニハ、今日ノ獎勵法ハ與ツテ居ラヌノデアリマス

○山本委員 只今ノ答辯ヲ承リマシテ私共ハ甚ダ迷フノデアリマス、私共ハ此法案ノ御趣意モ、國策トシテノ根本ノ方針ト云フモノヲ承ツテ居ルモ、銑鐵竝ニ鋼鐵ニ對シテ國策トシテ共ニ相俟テ之ヲ獎勵シナケレバナラヌガ、唯獎勵ノ仕方ニ於テ斷片的部分的ニ言ヘバ、或ハ銑鋼ヲ一貫スル方ガ經濟的作業デアルカラ、成ベク獎勵ノ方法ヲソレニ導ク、斯ウ云フ事ハ之ニ依テ現ハレテ居リマスケレドモ、何故ニ鋼鐵ニ重クシテ銑鐵ヲ無視シタカト云フコトノ理由ハ、只今ノ御說明デハ一向分リマセヌ、如何ナル素人、如何ナル者ガ見マシテモ、鋼鐵ト銑鐵トハ同一ニ保護ヲシナケレバナラヌガ、或ル意味ニ於テハ銑鐵ハ全ク勞働ノ固マリデアアル、鑛石ノ採掘ト云ヒ、若クハ國內ニ於ケル石炭ヲ使フコトト云ヒ、又ソレニ要スル勞働ノ賃銀ノ如キモ、皆國內ノ收益ニ歸スルト云フヤウナ重大ナモノデアリマス、單ニ「ヅク」鐵ヲ輸入シテソレヲ鋼ニ加工スル工業ト異ナリ、國ニ於ケル原産物ヲ多量ニ使用スル、重要鑛業ノ一ツデアアル、銑鐵ヲ輕クシテ鋼鐵ダケガ重クナツタト云フ御趣旨ハ、鐵ノ國策ノ根本ニ於テ、左様ナ事ハ有リ得ベカラザルコトデアルト云フコトハ、何人ガ見テモ異論ノナイコトデアハ、銑鐵ト鋼鐵ト同一ニ獎勵シ、同一ニ發達ヲ圖ルコトガ國ノ經濟上最モ必要デアアルコトハ私ガ論ズルマデモナラウト信ズルノデアリマス、サウナケ

レバナラヌ、然ルニ此法案ヲ見ルト、銑鐵ニ對シテハ獎勵金ト云フモノハ——特ニ輸入稅ニ觸レズシテ特ニ獎勵金ヲ付與セラレル、其金額ハ只今申上ゲマシタ通り、銑鐵ニ對シテ三圓、輸入關稅ニ於テ一圓六十八錢ト云ヘバ、四圓六十八錢ニシカ過ギナイ、今日ノ時價ニシテ一割ニシカ過ギナイ、或ハソレ以下ニナルカ知ラヌガ、一方ニ於テハ即チ條及管ノヤウナ一般ノ商品ノ基礎材料タルモノニ對シテ、一割五分乃至一割八分ニ上ゲラレテ、其他ノモノハ二割乃至二割八分ニ及ンデ居ル、サウシテ鋼鐵ヲ重クシテ銑鐵ニ對スル保護ハ無視サレテ居ルガ、我國ノ鑛業カラ言ヘバ、鐵鑛石ノ埋藏シテ居ル量ハ、學者ノ調査ニ依レバ二千五百萬噸乃至三千萬噸デ、石炭ハ少クトモ三十億噸ヲ埋藏シテ居ル、鐵一噸ニ對シテ四噸乃至五噸ノ石炭ヲ有スル石炭ノ有ル國ニハ製鐵事業ガ盛デアアルト云ハレテ居リマスカラ、此銑鐵ニ對シテハ寧ろ鋼鐵ヨリハ重要視セララルベキ、此國ノ經濟狀態デアルト私ハ考ヘテ居ル、只今政府委員ノ話モゴザイマシタガ、ソレデハ甚ダ不徹底デアアル、私共ハ御尤ナルコトデアルトモ申上ゲ兼ルノデ、國ノ鐵ノ政策ヲ樹テル根本ノ出發點ニ於テ御方針ガアラネバナラナイカラ、是ハ大臣カラ斯ウ云フ譯デ此策ヲ樹テタノデアルト云フ御說明ヲ承リタイノデア

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

リマス

○片岡國務大臣 我國ノ銑鐵業者ガ設備不十分デアルト云フコトハ、既ニ山本君ノ御認ニナッテ居ルコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ銑鐵ハ銑鐵ノミヲ造リ、鋼鐵ハ鋼鐵ダケヲ造ルト云フ如キ、別々ニ作業ヲスレバ不經濟ニナルト云フコトモ考ヘラレルダラウト思ヒマス、又ソレカラ世界ノ大勢ガ終始一貫ノニ進ンデ來テ居ル、ソレニ依テ生産品モ安クナリ、經濟的ニ鐵ガ出來ルト云フコトモ是ハ御異論ナイト思ヒマス、サウシテ見ルト日本ノ鐵製造業者ヲ銑鐵ヨリ鋼材ニ至ル迄一貫シテヤルト云フコトニ付テハ、先刻御述ニナリマシタ通り、御異議ナイヤウデアリマスガ、併シ是ハ餘程熟考ノ上ニ督勵ヲ加ヘナケレバ、今日日本ノ鐵業者ガ、是ハ極ク早く申シマスト若干ノ躰立ヲシテ、其躰立通りニ履行スルモノト見テ、此補助法ヲ行フヨリ外ニ仕方ガナイ、其躰立ヲ果シテ實行スルカ否ヤニ依テ、或ハ一遍渡シタ金ヲ沒收スルカモ知レナイ、斯ウ云フコトニシテ初メテ獎勵ノ實ガ舉ル、即チ計畫ノ通りニ實行サレルト思フ、此事ガ段々行ハレテ來テ、獨立シテ行ケレバ躰立ハ其處デ打切ル、斯ウ云フヤウニシテ進メテ行クコトガ一番希望スル所デアアル、今自分デ拵ヘル銑鐵ヲ、自分ノ所デ鋼材ニ拵ヘテシマフト云フ設備サヘモ缺イテ居ル、此時ニ當ッテ銑鐵ハ銑鐵デ尙ホ別々ニ立行クモノデアルト云フ風ノ獎勵

ヲ致スコトハ、一貫シタル仕事ヲ進メルニハ當ラ得タモノデナイ、或ハ他日山本君ノ言ハレルガ如キコトノ必要ナ行クカ、獎勵法デ行クカト云フコトモ起ルデアリマセウ、關稅デ行クコト云フコトデアレバ、繼續的ノ調査機關ニ依テ其不備ヲ補ッテ行クコト云フ手段ニ出ルヨリ仕方ハアリマスマイ、差當ッテノ所ハ、此程度ガ我國ノ鐵工業ヲシテ改善ノ途ヲ進メテ行クニ適當ナルモノト信ジテ居ルニ外ナラヌ、凡ソ物ト云フモノハ數年ヲ經ツタナラバ、多少ノ變化ヲ見ルコトハ無論アリマセウ、變化ガアレバ其變化ニ對シテハ、又ソレニ應ズル手段ヲ執ラナケレバナリマセウガ、只今ノ場合ニ於テハ、銑鐵ハ銑鐵デ別ニ拵ヘテモ構ハヌト云フヤウナ獎勵法ハ、當ラ得テ居ラヌ、是ガ眼目ニナッテ居ルノデアリマス

○山本委員 只今商工大臣ノ御述ニナリマシタコトハ度々承ッテ居ル、是ハ世界ノ製鐵業ノ進歩ガ、銑鐵一貫シタ事業ニナッテ來テ居ル、ソレガ故ニ我國ニ於テモ銑鐵一貫主義ニ向ッテ獎勵スルノデアアル、而シテ鋼鐵ヲ造ルニハ、銑鐵ト鋼鐵ト一貫主義デアルト云フナラバ、是ハ尤デアアル、併シソレヲ以テ鋼鐵ダケニ對スル御議論ト承ルコトハ出來ナイ、只今御述ニナリマシタ所ニ依ルト、銑鐵ハサウ一遍ニ出來ルモノデナイ、先ヅ鋼鐵ヲ造ルニハ、ドウシテモ銑鐵

カラ造ラナケレバナラヌ、而シテ獎勵ヲスルニハ銑鐵一貫デアルト云フコトノ當局ノ御議論ニ歸結シタノデアリマシガ、我國ノ總テノ狀態ハ、銑鐵ハ銑鐵其モノトシテ進マナケレバナラヌ、日本ハ鋼バカリ要ル國デハナイ、昨今ニ於ケル日本ノ鐵工業ノ進展ノ狀況ニ付テ見マシレバ、或ハ鑄物工業ニ使フ鐵ガ、他ノ機械工業ヨリ多クノ鐵ヲ要スル狀況デアアル、鑄物工業トハ何かト云フト、銑鐵ヲ基本ニスル工業デアアル、鍋釜等ノ日用品、其他社會生活ニ最モ必要ナル生産ノ工業デアアル、而シテ銑鐵ハ今日四十萬噸ヲ使ッテ居ル、是ダケノ銑鐵ハ國內ニ於テ必要トシテ居ル、而モ鑄物工業ガ銑鐵ヲ要スルコトハ、他ノ鍊鐵ヨリハ多イト云フノガ實際ノ狀況デアアル、此狀況ハ尙ホ年ト共ニ進ムコトハ明デアアル、此場合ニ於テ鐵ニ對スル獎勵案ヲ出ス、若クハ之ニ對シテ關稅ヲ課スルト云フ場合ニハ、只今御話ノヤウニ製鐵ヲ獎勵スルニハ銑鐵一貫、ソレガ世界ノ大勢デアルト云フ、私モサウデアラウト考ヘマスガ、此國ノ産業保護、此國ノ鐵政策ヲ考慮シテ見ル時ニハ、銑鐵其モノヲ極メテ重大ナル問題トシテ吾々ハ考ヘナケレバナラヌト思フ、其重要ナル銑鐵ヲ造ルニハ何ガ要ル、國內ニハ鐵ノ原料ハ無イカト言ヘバ、先刻モ申シマシタ通りニ澤山アル、石炭モ相當豊富デアリマス、又國外デ得ル途モアリマス、更ニ百萬噸内

外ノ製鐵ノ設備モアル、ソレガ今日ハ僅ニ六十萬噸位動イテ居ッテ、四十萬噸バカリノ熔鑪爐ハ遊ンデ居ル、一方ニ於テハ此不況ニ沈ンデ居ル熔鑪事業、一方ニハ國內ニ於テ銑鐵其ノモノガ斯ウ必要デアアル、此時ニ於テ鋼鐵ダケヲ主眼ニシテ此獎勵案ガ出來タト云フコトハ、私ニハ了解ガ出來マセヌ、只今御說明ヲ承リマシタケレドモ、私ハ只今ノ御話ノコトヲ離レ、銑鐵ト云フモノハ鋼鐵ト等シク、若クハソレ以上ニ保護スル必要ガアルト思フ、此點ニ付テ此案ヲ御更正ニナル御意思ハナイカ、重ネテ今一應極メテ重大ナコトデアリマスカラ伺ヒマス

○片岡國務大臣 山本君ノ御意見ハ、一種ノ御意見デアリマス、私ノ意見ハ山本君程ニ切離シテ銑鐵ヲ餘計拵ヘルコトヲ獎勵スルニ傾カナイ方ガ宜イト思フ、即チ銑鐵ハ無論必要デアアルガ、其銑鐵ト同時ニ一貫シタル躰立ヲシテ、製鋼ヲ導クコトガ今日ハ急デアアル、然ラバ銑鐵ヲ全ク無視スルカト云フト、是ハ獎勵法ニ於テ受クル利益モアリマシ、ソレカラ更ニ三圓ノ獎勵金ガ得ラレルト云フコトデゴザイマスレバ、現在ノ關稅ト相並ンデ是ガ全減ニ歸スルモノトハ思ハヌ、相當進ンデ參ルモノト思ッテ居リマス、唯々違フ點ハ鋼鐵ト同ジ程度ニ何故シナイカト云フノデアアルガ、ソレハ今直ニソレヲヤレバ、銑鐵ハ銑鐵デ別々ニ出來テ行クコトニナ

ツテ、一貫シタ獎勵ノ目的ヲ達スルニ
或缺ル所ヲ生ズル、其點ニ於テ意見ニ
或ル程度ノ相違ヲ生ズルニ過ギナイト
思フ、御議論トシテハ確ニ承ルノデア
リマスガ、政府トシテハ只今ノ案ガ我
ガ國情ニ適スルモノト信ジテ居リマ
ス

モ是ガ繼子扱サレテ居ルト云フコトハ
甚ダ遺憾デアリ、且ツ私共ガ承ツタ所デ
モ、嘗テ商工大臣ノ御意見トシテ果シ
テ定價マデ具體的ニ御提案ニナツタカ
ドウカ知りマセヌガ、銑鐵ノ輸入税ヲ
七圓ニマデ上ゲルト云フ御意見ガアッ
タヤウニ承ツテ居ル、私共ハ尙ホ以上保
護シナケレバ日本ノ銑鐵ハ振興セヌト
云フヤウニ考ヘマシタガ、セメテ七圓
デモ是ガ關稅改正ニ依リ上ツタナラバ、
此仕事モ大ニ進ミハセンカト考ヘテ居
ツタノガ、此度ノ獎勵案ノ三圓ト云フ
コトヲ拜見致シマシテ、何故銑鐵ヲ左
様ニ嫌ツテ繼子扱ニスルカ、此國ノ需要
ガ殘ラズ鋼鐵デ濟ムナラバ宜イガ、銑
鐵ガ非常ニ要ル、其必要ノ程度ハ鋼鐵
ト較ベテ違ハヌト云フコトハ何人モ認
メテ居ル、然ルニ一方ハ厚キ保護ヲ受
ケテ其越旨ヲ一貫シテ居ルノニ、一方
ニ對シテハ極メテ冷酷ナル扱ヲ受ケル
ト云フコトハ、政策ノ上カラ見、國ノ產
業ノ大策ノ上カラ見テ、甚ダ不徹底ノ
ヤウナ感シガ致シタノデアリマス、併
シ是レ以上ハ只今御述ベノ通り私共ノ
見ルヤウニサウ必要デヤナイ、鋼鐵ダ
ケ銑鐵一貫主義デ行ケバ、日本ノ鐵ノ
國策足レリト云フ御意見デアレバ、是
レ以上申上ゲマシテモ仕様ガアリマセ
ヌカラ、私ノ其點ニ關スル質問ハ是デ
打切ツテ置キマス、更ニ是ハ技術ノコト
デアリマシテ、私共不明ニシテ分ラヌ
所ガアルカラ、一、二條文ニ就テ承ツテ

見タイト思ヒマス、第四條ニ「一定ノ期
間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五
十噸以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新
設シタル鍛鋼品又ハ鑄鋼品又ハ鑄鋼品
製造事業者ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準
用ス」ト云フコトガ書イテアリマス、此
五千二百五十噸以上ノ製鋼能力ヲ有ス
ル鋼鍛品ト云フノハ、「ステイール」ヲ
「ジンダ」ノコトト思フ、下ガ「ステイ
ールカスチング」ノコトト思ヒマスガ、
ドウ云フ御趣旨カラ一年五千二百五十
噸以上ト云フコトニ御決メニナツタノ
デアリマスガ、ソレニ關聯シテ其次ノ
「主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間内
ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百噸以上
ノ製鋼能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備
ヲ新設シタル低燐銑鐵製造事業者、坩
埚製鋼事業者及電氣製鐵事業者ニ付亦
前項ニ同シ」ト云フノハ、一年二千五百
噸以上ト云フコトニドウシテ御限定ニ
ナツタノデアリマスガ、是等ノ鋼鐵ハ皆
特殊鋼ニ屬シテ居ルモノト承知シテ居
ル、先達テ御提出ニナリマシタル關稅
改正案ノ中ノ四百六十二ノ「乙」ス
ピーゲルアイゼン、フエロマンガニ
ス、其ノ他ノ不可鍛性鐵合金」ト云フヤ
ウナ種類ノモノ、其他ノ特殊鋼ガ大方
第四條ニ掲ゲラレマシタ種類ノモノヲ
指シタモノト考ヘマス、是等ノ鐵ハ私
共素人ノ考カラ見マシテモ、小サイ電
氣爐デアアル、若クハ小サイ木炭燐鐵爐、
左様ナ設備ニ依ツテ特殊ノ鋼ガ出來テ

居ルノダラウト思フ、隨テ是等ノ能率
ハ極メテ小サイノデ、一噸爐デモ、二噸
爐デモ、三噸爐デモ電氣爐ナドハ行ク
ヤウニ承知シテ居ル、之ヲ前ノ三萬五
千噸問題ト等シク矢張噸數ヲ御決メニ
ナツタト云フコトハ、必ス何カノ御趣旨
ニ依テ出デタト思ヒマスガ、此噸數ヲ御
決メニナツタ御趣旨ニ付テ御伺シテ置
キマス

○山本委員 只今ノ御話ヲ承リマスル
ト、銑鐵ニ對シテハ今度ノ三圓ト云フ
獎勵金ガ得ラレ、關稅ニ於テ一圓六十
八錢ヲ取ルカラ、銑鐵其モノニ對スル
保護ハ足レリト云フ御意見デアリマ
ス、是ハ甚ダ不徹底デアアル、鐵ニ對スル
問題ハ唯鋼バカリデハナイ、銑鐵モ極
メテ必要デアアル、御話ノ通り銑鐵一貫
シテ行ケバソレガ理想デアアル、然ルニ
銑鐵ハ別個ノ問題デアアル、一方ハ一割
八分デアアル、一方ノ方ハ獎勵金ヲ加ヘ
テ一割ニ過ギナイモノデアアッテモ宜シ
イト云フ御意見デアアルナラバ、ソレハ
ソレマデデアリマスガ、鐵ノ問題ヲ論
ズルニ當ツテ、只今ノヤウナ御話デハ如
何ニモ不徹底デアアル、一貫シタル主義
ノ下ニ鐵ノ政策ヲ行ハウト云フノニ、
俗ノ言葉デ言ヘバソレデ銑鐵ヲ繼子扱
ニスルノデアアル、サウシテ鋼ノ方ハ獎
勵ヲシテ金モ餘計ニ遣ル、關稅モ上ゲ
テヤル、銑鐵ノ方ハ是ハ餘リ急グコト
ハナイ、オ前ハ此邊デ我慢シテ置ケト
云フヤウナ御話ニナルノデアリマスケ
レドモ、國內ニ於テ燐鐵爐ノ遊ンデ居
ル、所モアリ國內ニ鑛石モアル、如何ニ

モ是ガ繼子扱サレテ居ルト云フコトハ
甚ダ遺憾デアリ、且ツ私共ガ承ツタ所デ
モ、嘗テ商工大臣ノ御意見トシテ果シ
テ定價マデ具體的ニ御提案ニナツタカ
ドウカ知りマセヌガ、銑鐵ノ輸入税ヲ
七圓ニマデ上ゲルト云フ御意見ガアッ
タヤウニ承ツテ居ル、私共ハ尙ホ以上保
護シナケレバ日本ノ銑鐵ハ振興セヌト
云フヤウニ考ヘマシタガ、セメテ七圓
デモ是ガ關稅改正ニ依リ上ツタナラバ、
此仕事モ大ニ進ミハセンカト考ヘテ居
ツタノガ、此度ノ獎勵案ノ三圓ト云フ
コトヲ拜見致シマシテ、何故銑鐵ヲ左
様ニ嫌ツテ繼子扱ニスルカ、此國ノ需要
ガ殘ラズ鋼鐵デ濟ムナラバ宜イガ、銑
鐵ガ非常ニ要ル、其必要ノ程度ハ鋼鐵
ト較ベテ違ハヌト云フコトハ何人モ認
メテ居ル、然ルニ一方ハ厚キ保護ヲ受
ケテ其越旨ヲ一貫シテ居ルノニ、一方
ニ對シテハ極メテ冷酷ナル扱ヲ受ケル
ト云フコトハ、政策ノ上カラ見、國ノ產
業ノ大策ノ上カラ見テ、甚ダ不徹底ノ
ヤウナ感シガ致シタノデアリマス、併
シ是レ以上ハ只今御述ベノ通り私共ノ
見ルヤウニサウ必要デヤナイ、鋼鐵ダ
ケ銑鐵一貫主義デ行ケバ、日本ノ鐵ノ
國策足レリト云フ御意見デアレバ、是
レ以上申上ゲマシテモ仕様ガアリマセ
ヌカラ、私ノ其點ニ關スル質問ハ是デ
打切ツテ置キマス、更ニ是ハ技術ノコト
デアリマシテ、私共不明ニシテ分ラヌ
所ガアルカラ、一、二條文ニ就テ承ツテ

見タイト思ヒマス、第四條ニ「一定ノ期
間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五
十噸以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新
設シタル鍛鋼品又ハ鑄鋼品又ハ鑄鋼品
製造事業者ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準
用ス」ト云フコトガ書イテアリマス、此
五千二百五十噸以上ノ製鋼能力ヲ有ス
ル鋼鍛品ト云フノハ、「ステイール」ヲ
「ジンダ」ノコトト思フ、下ガ「ステイ
ールカスチング」ノコトト思ヒマスガ、
ドウ云フ御趣旨カラ一年五千二百五十
噸以上ト云フコトニ御決メニナツタノ
デアリマスガ、ソレニ關聯シテ其次ノ
「主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間内
ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百噸以上
ノ製鋼能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備
ヲ新設シタル低燐銑鐵製造事業者、坩
埚製鋼事業者及電氣製鐵事業者ニ付亦
前項ニ同シ」ト云フノハ、一年二千五百
噸以上ト云フコトニドウシテ御限定ニ
ナツタノデアリマスガ、是等ノ鋼鐵ハ皆
特殊鋼ニ屬シテ居ルモノト承知シテ居
ル、先達テ御提出ニナリマシタル關稅
改正案ノ中ノ四百六十二ノ「乙」ス
ピーゲルアイゼン、フエロマンガニ
ス、其ノ他ノ不可鍛性鐵合金」ト云フヤ
ウナ種類ノモノ、其他ノ特殊鋼ガ大方
第四條ニ掲ゲラレマシタ種類ノモノヲ
指シタモノト考ヘマス、是等ノ鐵ハ私
共素人ノ考カラ見マシテモ、小サイ電
氣爐デアアル、若クハ小サイ木炭燐鐵爐、
左様ナ設備ニ依ツテ特殊ノ鋼ガ出來テ

居ルノダラウト思フ、隨テ是等ノ能率
ハ極メテ小サイノデ、一噸爐デモ、二噸
爐デモ、三噸爐デモ電氣爐ナドハ行ク
ヤウニ承知シテ居ル、之ヲ前ノ三萬五
千噸問題ト等シク矢張噸數ヲ御決メニ
ナツタト云フコトハ、必ス何カノ御趣旨
ニ依テ出デタト思ヒマスガ、此噸數ヲ御
決メニナツタ御趣旨ニ付テ御伺シテ置
キマス

○野田政府委員 是ハ現行法ノ通りヲ
踏襲シタノデゴザイマシテ、現行法ハ
此前既ニ皆様ノ御協賛ニ依テ出來タモ
ノデ其儘ヲ踏襲シタノデ、別ニ今回新
シクシタノデアアリマセヌ

○山本委員 サウスルト只今ノ御說ニ
依ルト、現行法ノ噸數即チ前ノ獎勵法
ヲ其儘繼承サレタト云フ御話デアリマ
スガ、ソレハ改正スル必要ヲ御認メニ
ナラナカッタト云フ意味ニナルノデア
リマスガ、私共ハ只今申上ゲタ通り此
特殊ノ所謂「ツールスチール」トカ
「フライジリト」トクリシブル」ト云フヤ
ウナ種類ノモノハ極メテ小サイ燐鐵爐
デ出來テ行クモノデアリマスガ、此
噸數ハ一年ニ五千二百噸ト云ヘバ約十
五噸爐トカ何トカ云フ意味ニナリマセ
ウ、ソレカラ一方モ八噸内外ノモノニ
ナリマセウガ、是ハ今少シク二千五百
噸ト云フヤウナモノヲ千噸以上トカ、
片方ノ五千二百五十噸ト云フノヲ二千
五百噸以上ト云フヤウナコトニ御改正
ニナルコトガ、日本ノ工業ノ實際ノ狀

見タイト思ヒマス、第四條ニ「一定ノ期
間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百五
十噸以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新
設シタル鍛鋼品又ハ鑄鋼品又ハ鑄鋼品
製造事業者ニ付テハ第二條ノ規定ヲ準
用ス」ト云フコトガ書イテアリマス、此
五千二百五十噸以上ノ製鋼能力ヲ有ス
ル鋼鍛品ト云フノハ、「ステイール」ヲ
「ジンダ」ノコトト思フ、下ガ「ステイ
ールカスチング」ノコトト思ヒマスガ、
ドウ云フ御趣旨カラ一年五千二百五十
噸以上ト云フコトニ御決メニナツタノ
デアリマスガ、ソレニ關聯シテ其次ノ
「主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間内
ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百噸以上
ノ製鋼能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備
ヲ新設シタル低燐銑鐵製造事業者、坩
埚製鋼事業者及電氣製鐵事業者ニ付亦
前項ニ同シ」ト云フノハ、一年二千五百
噸以上ト云フコトニドウシテ御限定ニ
ナツタノデアリマスガ、是等ノ鋼鐵ハ皆
特殊鋼ニ屬シテ居ルモノト承知シテ居
ル、先達テ御提出ニナリマシタル關稅
改正案ノ中ノ四百六十二ノ「乙」ス
ピーゲルアイゼン、フエロマンガニ
ス、其ノ他ノ不可鍛性鐵合金」ト云フヤ
ウナ種類ノモノ、其他ノ特殊鋼ガ大方
第四條ニ掲ゲラレマシタ種類ノモノヲ
指シタモノト考ヘマス、是等ノ鐵ハ私
共素人ノ考カラ見マシテモ、小サイ電
氣爐デアアル、若クハ小サイ木炭燐鐵爐、
左様ナ設備ニ依ツテ特殊ノ鋼ガ出來テ

居ルノダラウト思フ、隨テ是等ノ能率
ハ極メテ小サイノデ、一噸爐デモ、二噸
爐デモ、三噸爐デモ電氣爐ナドハ行ク
ヤウニ承知シテ居ル、之ヲ前ノ三萬五
千噸問題ト等シク矢張噸數ヲ御決メニ
ナツタト云フコトハ、必ス何カノ御趣旨
ニ依テ出デタト思ヒマスガ、此噸數ヲ御
決メニナツタ御趣旨ニ付テ御伺シテ置
キマス

況カラ見マシテ、我國ノ是等特殊ノ工業ヲ獎勵スル意味ニ適シテ居ルト云フ御考ハアリマセヌカ、之ヲ承ッテ置キマス

○野田政府委員 是モ現在既ニ動イテ居リマス、或ハ現在仕事ヲシテ居リマスノヲ大略標準ニ取りマシタノデ、之ニハ別ニ爐ノ單位モ決メテ居リマセヌ、此低燐銑、坩堝、電氣爐ナドハ丁度二千五百程度ガ宜カラウト云フノデ現行法其儘ニ取ッタノデ、餘リ小サナモノデ永久的ノモノガ出来マシテモ、ソレハ矢張經濟的ニ引合ヒマセヌコトハ戰時中ニ其例ガ幾ラモアリマスノデ、是位ガ適當ト認メテ居ルノデアリマス

○山本委員 更ニ第五條ニ「第一條乃至前條ニ規定スル製鐵事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、一寸私共ニ製鐵事業ノ範圍ト云フコトガ不明瞭ノ感ジガ致シマスガ、簡單ニ御説明ヲ願ヒマス

○野村政府委員 只今ノ製鐵事業ノ範圍ト云フノハ大體ドウ云フコトヲ言フノデアリカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ現行ノ製鐵業獎勵法ニモ矢張同一ノ規定ガアルノデアリマシテ、マダ勅令ヲ以テ其範圍ヲ定メテハ居リマセヌケレドモ、大體ニ於キマシテ矢張現行ノ製鐵業獎勵法施行令ノ第一條ト同ジ趣旨ニ於テ範圍ヲ定ムル積リデアリマス、而シテ現行ノ法令ハ「製鐵業獎勵法

ニ依リ他人ノ土地ヲ收用又ハ使用シ得ベキ製鐵事業ハ銑鐵、鋼鐵、壓延鋼材、鍛鋼製品若ハ鑄鋼製品ノ素材又ハ農商務大臣ノ指定シタル副生物ノ製造ニ關スル事業トス營業稅及所得稅ノ免除ヲ受クヘキ製鐵事業亦同シ」斯ノ如ク大體ノ範圍ヲ定メテアリマス、尤モ今度ハ幾ラカ違ッテ居リマスカラ、其違ッタル點モ加味致シマシテ、大體ニ於キマシテハ、現行獎勵法施行令ノ定義ト同一ノモノニ勅令ヲ致シタイ考デ居リマス

○山本委員 只今ノ御話ハ一寸私ニハツキリ致シマセヌガ、製鐵事業ノ範圍ト云フモノハ、此ニ第一條カラ第四條マデノ間ニ列記シテアリマス、此外ニ色々ノモノニ擴張サレルト云フ意味デ、其擴張ノ範圍ヲ更ニ勅令デ定メルト云フ意味デアリマスガ

○三井鑛山局長 只今ノ製鐵事業ノ範圍ハ、大體ハ本法ニ定マッテ居リマスケレドモ、色々ナ副生物ガゴザイマスノデ、ソレ等ノモノハ此製鐵事業ノ範圍ニ入ルカ入ラヌカト云フ疑ガゴザイマス、從來勅令ヲ以テ定メテ居リマスノデ、矢張今回モ其儘ニ定メル積リデアリマス、例ヘバ製鋼設備トカ、製銑設備ト云フヤウナ事ハ、本法ニ現ハレテ居リマスレドモ、今度ソレガ壓延鋼材等ヲ造リマスノニ、ドノ邊マデ行クカト云フコトハ、本法ニ謳ッテアリマセヌ、壓延鋼材等ハドノ程度迄ヲ製鐵事業ノ

範圍トスルカト云フコトハ、今日マデ勅令或ハ勅令ノ委任ニ依ル省令ヲ以テ定メタノデアリマス、ソレハ從來カラヤッテ居リマス

○山本委員 サウスルト製鐵事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトハ、勅令ニ依テハ或ハ「ブリキ」板デアルトカ、或ハ鐵ノ他ノ――茲ニ列記シタルナイ種類ノ範圍ニ擴張サレルコトガアル、其擴張サレタモノハ本法ノ中ニ包含セラレルト云フコトガ、勅令デ定メレバ出来ルト解釋シテ宜シイノデスカ――ソレハ只今デナクテモ、若シ前例デモアリマシタラ御取調ヲ願ッテ、明日デモ宜シウゴザイマス――次ニ第八條ノ三デアリマス、「二以上ノ製鐵事業者ノ事業ニシテ作業ノ狀況ニ依リ第一條ニ規定スル製鐵事業ニ準スヘキモノ」ト云フノハ、實例ヲ以テ云ヒマストドウ云フ事ヲ意味スルノデアリマセウカ

○野田政府委員 是ハ午前中ニ申上ゲマシタ繼續的ニ銑銑ヲ送ッテヤルト云フ其仕事ノ事ヲ申スノデアリマス

○山本委員 サウスルト「二以上ノ製鐵事業者ノ事業」ト云フコトハ、ハッキリシテ居リマスガ、其作業ノ狀況ニ依リ第一條ニ規定スル製鐵事業ニ準スベキモノト云フノハ、其單ナル意味デアリマスガ、二ツノ異ナル事業者ガ同一ノ事業ヲ扱ッタクハ、第一條ノ通り之ヲ認メルト云フ意味ニナッテ居リマスカ

○野田政府委員 丁度三萬五千噸ノ一貫作業ヲ持ッテ居ルモノト、實體ガ同ジニナルモノト云フ意味デアリマス

○山本委員 今一ツ第九條デアリマス、是迄ハ外國カラ輸入スル船舶用ノ材料ハ輸入稅ヲ戻スト云フコトニナッテ居ル、今回此第九條ヲ挿入セラレマシタル、今同此第九條ヲ挿入セラレマシタル、内地ニ於テ出来ル所ノ鋼材ガ、輸入稅ヲ引上ゲタコトニ依リ、若クハ獎勵金ヲ與フルコトニ依テ、市價ニ變動ヲ起ス、從來ノ戻稅カラ言ヘバ、造船材料ハ成ベク外國ノ物ヲ買ヘト云フコトニナッテ居ッタガ、ソレハ一體根本ノ主義トシテ甚ダ面白クナイ、不適當ノ事デアアル、故ニ今回ハ帝國内ニ於テ製造シタル鋼材ヲ造船材料ニ使ッタ場合ニハ、命令ノ定ムル所ニ依テ其鋼材ノ製造者ニ對シテ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得トアリマスガ、鋼材ノ製造者ニ對シテハ獎勵金ハ既ニ出テ居ル、第八條ニ明ニ規定セラレテ、所謂三圓、五圓、六圓ト云フ保護ヲ與ヘルコトガ規定サレテ居ル、更ニ第九條ニ於テ造船材料ニ用ヒラレル鋼材ノ製造者ニ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得ルト云フノハ、第八條ニ規定サレタ以外ニ、更ニ之ヲ離レテ船舶ノ原料ニスル鋼材ニ對シテハ、獎勵金ヲ交付スルト云フ意味ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○三井鑛山局長 第八條以外ニ、從前カラノ造船用ノ鋼材ノ保護ハ、其儘ニ

○野田政府委員 是ハ午前中ニ申上ゲマシタ繼續的ニ銑銑ヲ送ッテヤルト云フ其仕事ノ事ヲ申スノデアリマス

○山本委員 サウスルト「二以上ノ製鐵事業者ノ事業」ト云フコトハ、ハッキリシテ居リマスガ、其作業ノ狀況ニ依リ第一條ニ規定スル製鐵事業ニ準スベキモノト云フノハ、其單ナル意味デアリマスガ、二ツノ異ナル事業者ガ同一ノ事業ヲ扱ッタクハ、第一條ノ通り之ヲ認メルト云フ意味ニナッテ居リマスカ

○三井鑛山局長 第八條以外ニ、從前カラノ造船用ノ鋼材ノ保護ハ、其儘ニ

○野田政府委員 是ハ午前中ニ申上ゲマシタ繼續的ニ銑銑ヲ送ッテヤルト云フ其仕事ノ事ヲ申スノデアリマス

ヤッテ行ク積リデアリマス、從來造船用ノ材料ハ輸入税免除ニナツテ居リマス、其物ニ對シマシテソレヲ造船材料ニ使ヒマス場合ニハ、其輸入税ダケヲ補助スル、ソレハ矢張今後モ續ケテ行ク積リデアリマス

○山本委員 只今御話ヲ承ルト少シオカシイト思ヒマスルガ、關稅ノ規則ヲ拜見スルト、法文第十條ハ、アレハ活キテ居リマス、今度ノ關稅改正ニ對シテモ繼續サレテ居リマスガ、ソレニ依ルト只今ノ御話ノヤウニ、船舶ノ建造ノ爲ニ外國カラ材料ヲ輸入シタトキハ、戻稅ト云フカ、アレハ活キテ居リマス、此獎勵金ト云フ意味ト、只御話ノ輸入税ヲ戻スト云フ意味トハ別個ノ問題ト思ヒマス、アレハ明ニ法文デ輸入税ヲ戻スト云フコトガ活キテ居リマス、更ニ今度第九條ニ帝國内ニ於テ製造シタル鋼材ト云フコトニナツテ居リマスガ、アノ輸入税ニ付テハ、第九條ハ關係ガ別ノモノデアリマス、若シ外國カラ輸入シタモノヲ船舶ノ製造ニ使フ場合ニ、戻稅ハ活キテ居ル、今度國內デ

帝國内デ製造シタル鋼材ガ船舶ノ鋼材ニ使ハレタ場合ニハ、政府ノ命令ノ定スル所ノ製造者ニ獎勵金ヲヤルト云フノデアリマスカラ、是ハ輸入品ニ關係ガナイ、國內ニ於テ製造スル鋼材デアリマス、之ヲ與ヘルトスレバ、ドウ云フ意味デドウ云フヤウナ程度デ與ヘラレルト云フ意味ニナリマセウカ、ソレヲ

承ツテ置キタイノデアリマス
○三井鑛山局長 船舶用鋼材ハ、主トシテ外國カラ輸入シテ居リマシテ、其外國輸入ノ鋼材ヲ以テ船舶ヲ造ッタ場合ニハ、其鋼材ノ輸入税ハ話リ御承知ノ通り免除ニナルノデアリマス、サウ

致シマスト内地デ同ジ鋼材ヲ拵ヘマシテ、ソレヲ造船所ガ使ヒマシテモ、内地ノ鋼材ハ輸入税ノ掛ツタ價格ヲ以テ、矢張ソレハ賣ラレナクテハナラヌ、或ハソレヲ使用シナクテハナラヌ、デアリマスカラ、輸入税ノ免除ヲ致シマスト共ニ、内地ノ鋼材ヲ船艦ニ使ヒマシタ場合ニハ、ソレニ對シテハ輸入税ダケノ獎勵金ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居リマスノデ、ソレヲ矢張其儘踏致シテ居リマス

○山本委員 只今ノ御話ハ外國品ヲ使ツタトキニハ戻稅ヲヤル、内地ノ鋼材ヲ使ツタ場合ニハ戻稅ト同額ノ補助ヲヤルト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○三井鑛山局長 戻稅デナイ、輸入税免除デアリマス

○戶澤委員 例ヘバ今日ノ輸入税ガ一噸ニ付テ二十圓、之ヲ造船所ガ使ツタ場合ニ二十圓ハ戻稅ヲ造船所ニ與ヘラレテ居ル、若クハ戻稅ヲ免除サレタト同ジデアリマス、即チ二十圓ダケ安イモノデアリマス、此第九條ハ、内地ニ於テ製造シタル鋼材ヲ、造船業者ガ建設材料ニ使ツタ場合ニ獎勵金ヲ與ヘル、鋼材ノ製造者ニ對シテ獎勵金ヲ與ヘルト云

フコトハ、輸入税ニ全ク關係ガナイ、此獎勵金ノ額ハ輸入税ト同一ノ額ヲ鋼板ノ製造業者ニ獎勵金トシテ與ヘルト云フ御趣旨デアリマス、之ヲ私ハ御尋スルノデアリマス

○三井鑛山局長 其通りデアリマス
○戶澤委員 サウスルト第九條ノ、政府ハ命令ノ定ムル所ト云フ命令ト、第八條ノ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトハ、命令ノ内容ガ違フ、命令ガ別個ニ出來ルノデアリマスカ、私ガチヨット讀ンデ感ジタコトハ、本法ノ補助ヲ受ケル者ハ年額三萬五千圓以上ノ者ハ補助サレルノデアアツテ、ソレ以下ノ小サナ者ハ保護ヲ受ケナイコトニナツテ居リマスカラ、船舶ノ材料ニ用フルモノハ、其大小工業ニ拘ラズ、第九條保護ヲ受ケルト云フ意味カト思ツテ居リマシタ、所ガ只今ノ御説明ニ依ルトサウデナイ、船舶ノ建造修繕ニ使用セラレル場合ニ於テハ、第八條ノ一般ノ補助ヲ受ケルモノトハ全然違フ金額ノ補助ヲ受ケルト云フヤウニ聞エマス、サウスルト非常ニ妙ニ聞エマスガ……

○野村政府委員 私モ初メハ此其疑ヲ持ツタノデアリマスガ、段々研究スルト造船材料ノ爲ノ鋼材ハ戻稅ヲスルカ免稅スルカ、隨テソレニ相當スルダケハ大正十年ノ改正ノ法律ニ依テ補助ヲ受ケテ居ル、船舶ヲ造ル鋼材ニ對シテ、是ハ現ニ今日ト雖モ船舶ヲ造ル所ノ關係ニ於テハ現ニ受ケテ居ル、ソレハ其儘

○野田政府委員 八條ノ三項ニ矢張第一條ニ準ズルト云フコトヲ、政府ハ國ノ製鐵事業發達ノ爲ニ必要ナコトト考ヘテ居リマス、矢張クドイヤウデアリマスガ、三萬五千噸設備ノモノデナケレバ到底引合ハナイ、又ソレヲ獎勵シテモ、ドウモ姑息ニ陥ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドウゾ其點ニ於テ御諒承ヲ願ヒマス

○加藤委員長 獎勵法ニ付テノ御質問ハ大抵盡キタヤウデアリマスガ……

○森委員 モウ一ツ伺ヒマス、先程モ御質問ガアツテ、如何ニモ要點ニ觸レテ居ルト思ヒマスガ、今第八條ノ第三項、即チ「認メタルトキ」ト云フ字ガアル、例ヘバ神戸製鋼所ノ場合ヲ考ヘルト、其處ノ鑄鋼爐ハ三十噸デ、サウシテ足リナイ物ハ外カラ買フ、此二ツノ行爲ヲ一貫作業ト御認メニナルト云フコトハ想像ガ出來ナイノデアリマセウカ、殊ニ製鋼所ノ造ツタ品物ガ、造船材料ニ使用サレタ場合ニ……

○野田政府委員 八條ノ三項ニ矢張第一條ニ準ズルト云フコトヲ、政府ハ國ノ製鐵事業發達ノ爲ニ必要ナコトト考ヘテ居リマス、矢張クドイヤウデアリマスガ、三萬五千噸設備ノモノデナケレバ到底引合ハナイ、又ソレヲ獎勵シテモ、ドウモ姑息ニ陥ルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ドウゾ其點ニ於テ御諒承ヲ願ヒマス

○森委員 マダ外務大臣其他ニ對シテ
保留サレテ居リマス

○加藤委員長 ソレハ明日ニスルヨリ
仕方ガナイ、其他ノ特別會計法、大正九
年ノ法律五十三號中改正法律案、之ニ
付テ御質問ガアレバ成ベク終了シテ置
キタイト思ヒマス、ナケレバソレデ宜
シウゴザイマス

○森委員 第三ニハ吾々ノ方ニハアリ
マセヌ

○加藤委員長 第二モアリマスマイナ
○森委員第一第二ハアリマス

○加藤委員長 アレバ、今イケマセヌ
カ

○加藤委員長 ソレデハ斯様ニ致シタ
イト思ヒマス、明日午前十時カラ開會
致シマシテ、サウシテ午前中ニ質問ヲ
終了シテ、午後一時ニ再ビ委員總會ヲ
開ク、斯ウ云フコトニシテ置キマス、ソ
レデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後五時四十二分散會